

2015(平成27)年度

事業報告書

学校法人 麻布獣医学園



2015 (平成27) 年度 事業報告書

目次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 設置する学校	1
3. 沿革	2
4. 将来に向けてのビジョン[学校法人麻布獣医学園中期目標・中期計画]	4
5. 機構図	6
6. 役員・評議員	7
(1) 役員	7
(2) 評議員	8
7. 学生・生徒の状況	9
(1) 入学定員, 収容定員, 学生・生徒数, 収容定員充足率	9
(2) 専任教員一人当たりの学生数	10
(3) 留学生数	10
(4) 社会人学生数	10
(5) 非正規課程履修者	10
8. 教職員の状況	11
(1) 大学教員(常勤)	11
(2) 高等学校教員(常勤)	11
(3) 職員(常勤)	11
(4) 非常勤教職員	12
(5) 年齢別大学教員数(常勤)	12
(6) 専任教員と非常勤教員の比率	12

II 事業の概要

1. 平成27年度事業計画の実施状況	13
2. 教育研究の概要	20
(1) 平成27年度の教育実施体制	20
(2) 教育に関する情報	21
① 入学者の選抜	21
② 教育課程	28
③ 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準	32
④ 平成27年度卒業生・修了者数及び進路状況	37
⑤ 国家試験合格率の推移	39
⑥ 退学者数・中退率・留年者数	40
⑦ 学習環境	41
⑧ 学生納付金	43
⑨ 学生支援と奨学金	45
⑩ 学生表彰制度	47
⑪ 学生の課外活動の状況	47
⑫ 国際交流	48
⑬ 産官学連携	49
⑭ 高大連携協定校	49

(3) 研究に関する情報	50
①競争的資金等受入状況	50
②学内競争的資金の状況	51
③知的財産データ	51
④受託研究等の受入状況	51
(4) 麻布大学附属高等学校に関する情報	53
3. 管理運営の概要	57
(1) 学園運営に係る会議等	57
(2) 会議等の開催状況	57
(3) 平成27年度 行事報告	67

III 財務の概要

1. 財務状況の推移	75
2. 財務比率の推移	77
3. 寄附金収入の推移	78
4. 経常費補助金の推移	78
5. 動物病院収入の推移	79
6. 資金残高	79

I 法人の概要

法人名	学校法人 麻布獣医学園
理事長名	柏崎 直巳
所在地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目的	教育基本法及び学校教育法に従い、大学教育及び高等学校教育を行う。

1. 建学の精神

学理の討究と誠実なる実践

本学は、創設者與倉東隆先生の建学の精神である、学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探求することを目的として、獣医学、動物応用科学及び生命環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしています。

2. 設置する学校

◆ 麻布大学

設置認可年月	昭和25(1950)年 2月
学 長 名	浅利 昌男
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目 的	[大 学]

◆ 教育研究の理念 ◆
地球共生系
～人と動物と環境の共生をめざして～

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献する。

[大学院]

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する。

◆ 麻布大学附属高等学校

設置認可年月	昭和36(1961)年 5月
校 長 名	高木 敬彦
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-5 0
目 的	教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施す。

3. 沿革

明治23 (1890) 年	9 月	東京獣医講習所開所 (現 東京都港区南麻布)
明治27 (1894) 年	4 月	麻布獣医学校開設
明治45 (1912) 年	3 月	麻布獣医畜産学校と改称
大正 9 (1920) 年	9 月	財団法人麻布獣医畜産学校設立
昭和 9 (1934) 年	4 月	実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置
		財団法人麻布獣医専門学校と校名変更
昭和19 (1944) 年	12 月	麻布獣医畜産専門学校と改称
昭和22 (1947) 年	6 月	現在地 (神奈川県相模原市) に移転
昭和25 (1950) 年	2 月	新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園
	4 月	麻布獣医科大学として開学
昭和26 (1951) 年	3 月	財団法人から学校法人へ改組, 学校法人麻布獣医学園となる
昭和27 (1952) 年	3 月	麻布獣医畜産専門学校廃止
昭和32 (1957) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設
昭和35 (1960) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院修士課程開設
昭和36 (1961) 年	5 月	麻布獣医学園瀏野辺高等学校開校
昭和37 (1962) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院博士課程開設
昭和40 (1965) 年	4 月	麻布公衆衛生短期大学開学
昭和51 (1976) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科開設
昭和53 (1978) 年	4 月	麻布獣医科大学環境保健学部 (環境保健学科及び衛生技術学科) 開設
	11 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止
昭和54 (1979) 年	6 月	麻布公衆衛生短期大学廃止
昭和55 (1980) 年	4 月	麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更
		獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更
昭和59 (1984) 年	4 月	獣医学教育6年制発足 (学校教育法の一部改正による)
昭和60 (1985) 年	10 月	瀏野辺高等学校を麻布大学附属瀏野辺高等学校に名称変更認可
昭和63 (1988) 年	4 月	麻布大学附置生物科学総合研究所設置
平成元 (1989) 年	12 月	獣医学部環境畜産学科, 環境保健学部 臨時定員増認可
平成 2 (1990) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科博士課程 (4年制) 開設
平成 5 (1993) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (修士課程) 開設
平成 6 (1994) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設
		麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組
		麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止
		麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設
平成 7 (1995) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (博士課程) 開設
平成 8 (1996) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (博士課程) 開設
平成 9 (1997) 年	7 月	麻布大学附属動物管理センター設置
		麻布大学大学学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更

平成10 (1998) 年	4 月	麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更
	12 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成11年度まで）
平成11 (1999) 年	3 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可
	4 月	麻布大学環境保健学部環境政策学科開設
	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成16年度まで）
		麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員の廃止に伴う収容定員増に係る学則変更認可
10 月	麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可	
平成12 (2000) 年	4 月	麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し，麻布大学附属学術情報センターを設置
平成15 (2003) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻（修士課程）開設
平成18 (2006) 年	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可
平成19 (2007) 年	4 月	麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更
		麻布大学附属教育推進センター設置
平成20 (2008) 年	4 月	麻布大学環境保健学部を改組し，生命・環境科学部臨床検査技術学科，食品生命科学科及び環境科学科を開設（環境保健学部健康環境科学科，衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止）
		麻布大学研究推進・支援本部を設置
平成25 (2013) 年	3 月	麻布大学環境保健学部（健康環境科学科，衛生技術学科及び環境政策学科）廃止
平成26 (2014) 年	4 月	麻布大学附属渋野辺高等学校を麻布大学附属高等学校に名称変更
平成27 (2015) 年	4 月	麻布大学地域連携センター設置
	9 月	麻布大学いのちの博物館開館
平成28 (2016) 年	3 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻（修士課程）廃止
	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程収容定員変更

4. 将来に向けてのビジョン

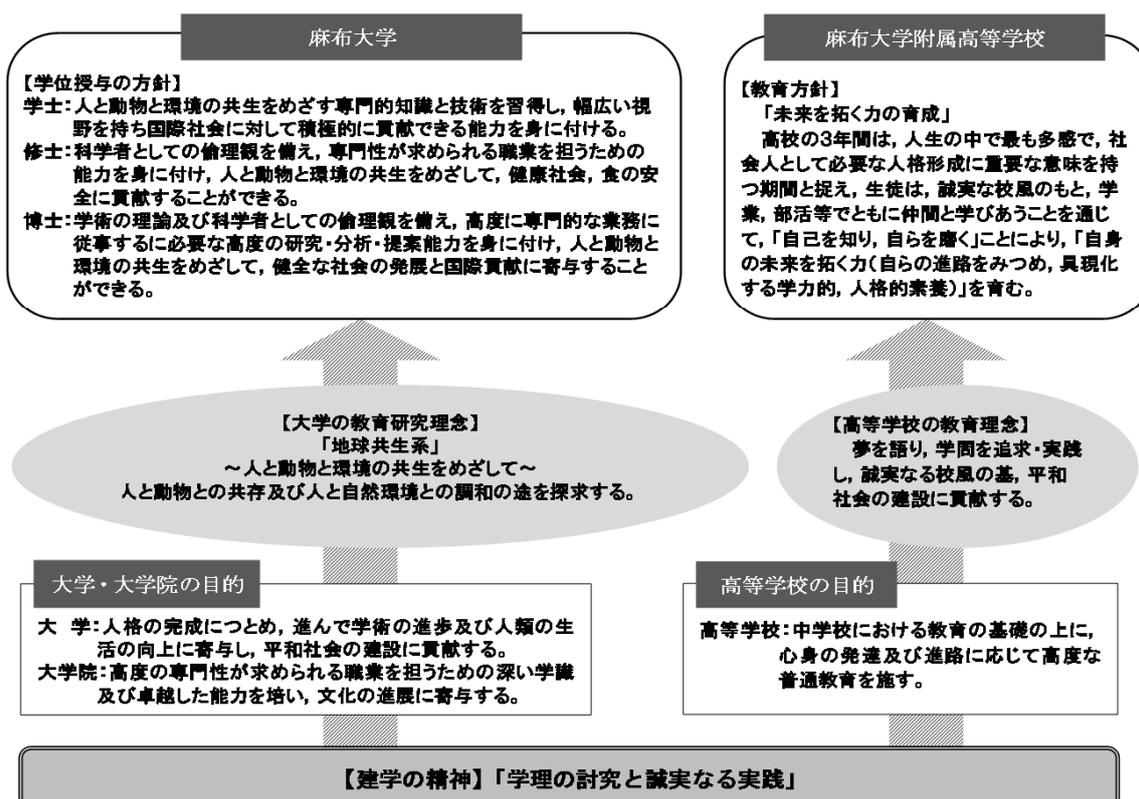
◆ 学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [平成27年度～平成32年度]

- 中期目標・中期計画は、「学校法人」「大学」「高等学校」が、平成27年度から平成32年度までに達成すべき事項を掲げたものである。
【平成27年5月28日理事会・評議員会決定】
- 中期目標・中期計画は、学校教育法に規定する認証評価機関が定めた大学における評価項目を基に取りまとめたものである。また、高等学校については、文部科学省が定めた学校評価ガイドラインに基づいた評価項目を基に取りまとめたものである。

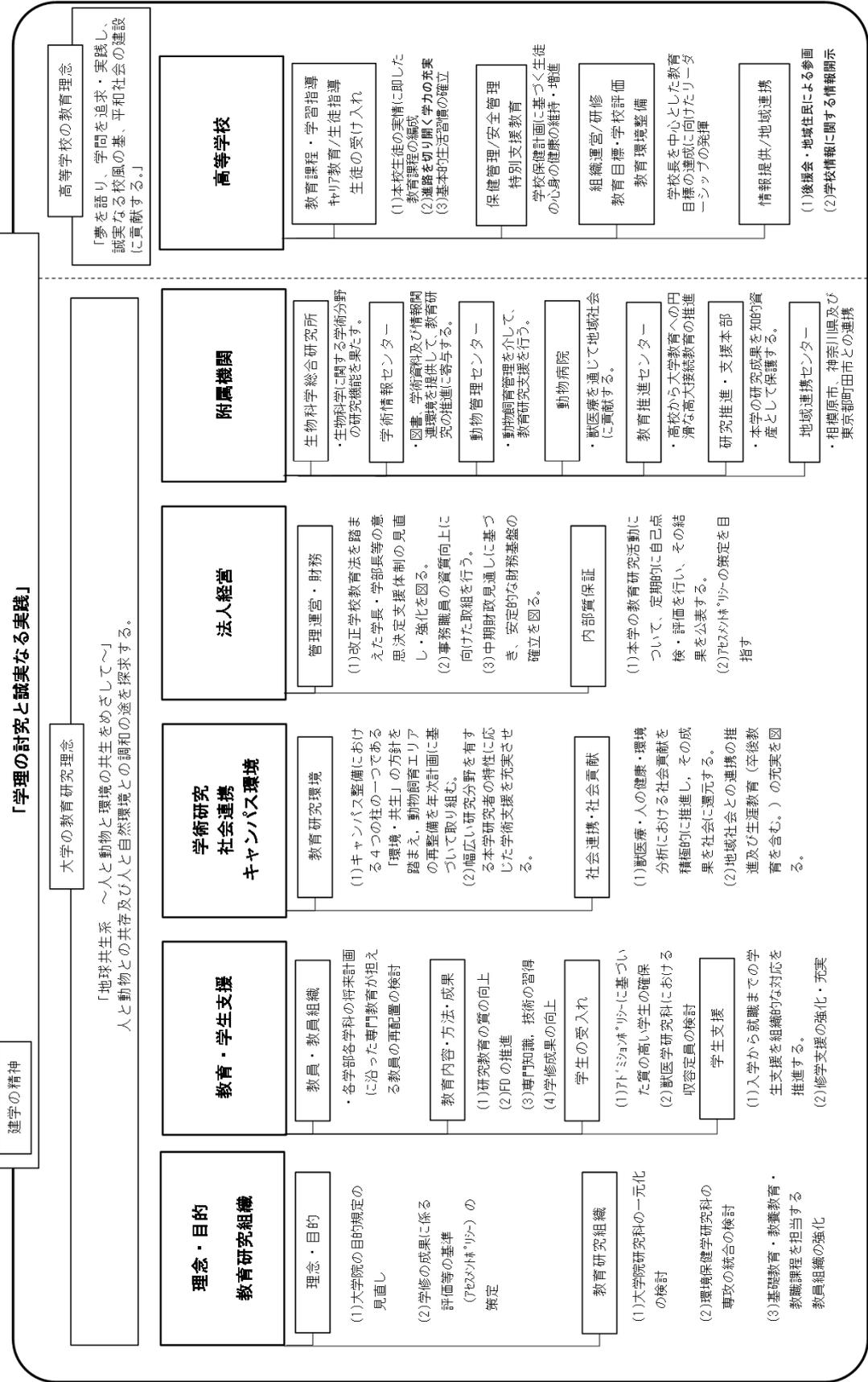
学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画〔平成27年度～平成32年度〕 将来に向けてのビジョン

麻布獣医学園では、学園の使命を遂行するに当たり、第3期中期目標・中期計画〔平成27年度～平成32年度〕期間の到達目標として6つのビジョンを設定し、これらのビジョンに基づいた重点戦略を策定し、具体的な活動を展開します。

VISION-1 教育・学生支援	法人の方針である「学生・生徒第一主義」の下、大学の教育研究理念に基づき、学位授与の方針に見合う、質の高い専門性を備えた人材の育成を目指します。	VISION-4 高等学校	法人の方針である「学生・生徒第一主義」の下、高等学校の教育理念に基づき、高等学校の教育方針に見合う、生徒自身の未来を拓く力を育む人材の育成を目指します。
VISION-2 学術研究	本学の教育研究者の特性に応じて、各教育研究者の能力が発揮されるよう、必要な学術研究支援体制の充実及び研究倫理の醸成に努めていくことを目指します。	VISION-5 キャンパス環境	大学の教育研究理念に基づき、人・動物・自然環境を意識するキャンパス整備を推進し、環境共生の調和を図りつつ、時を経るごとに価値を高めるキャンパスづくりを目指します。
VISION-3 社会連携	大学の教育研究理念に基づき、獣医療・人の健康・環境分析における教育研究成果を広く社会に還元することを目指します。	VISION-6 法人経営	建学の精神に基づいた健全経営の下、学納金収入はもとより、新たな財源確保の取組として、法人事業の創出など、安定的な財務基盤の確立を目指します。

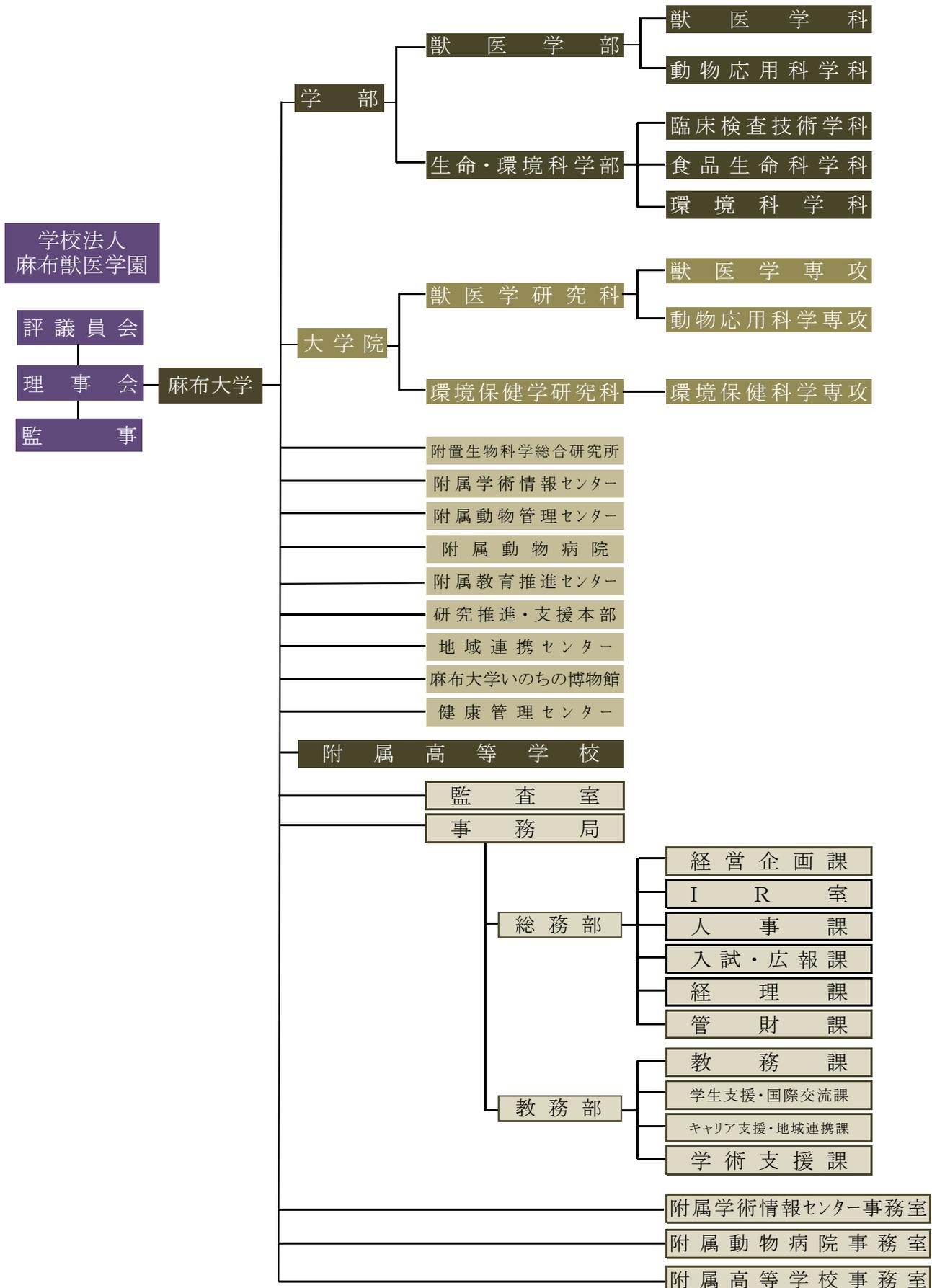


第3期 中期目標・中期計画〔平成27年度～平成32年度〕概要図



5. 機構図

平成28年5月1日現在



6. 役員・評議員

平成28年5月1日現在

	任期	定数	現員
理事	4年	10～11人	11人
監事	4年	2人	2人
評議員	4年	28～34人	33人

(1)役員

理事・監事 の区別	担当職務等	氏名	就任	選任区分等		常勤/ 非常勤	備考
			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分		
理事	理事長	柏崎直巳	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	平成26年6月25日 理事長就任
理事		浅利昌男	平成26年6月25日	第8条第1号	大学長	常勤	
理事	総務担当	村上 賢	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	財務担当	福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	改革, 教育・研究, 高校担当	山本雅子	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	総務副担当	高橋 徹	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	財務副担当	宮澤 宏	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革, 教育・研究, 高校副担当	田中克明	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革, 教育・研究, 高校副担当	横尾清文	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	平成15年6月1日～平成 21年5月31日 寄附行為第8条第2号 理事
理事		谷口隆良	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	
監事		小野口勝巳	平成24年6月1日	第9条		非常勤	
監事		宮島成郎	平成22年6月1日 (平成24年6月1日)	第9条		非常勤	

平成28年5月1日現在

(2) 評議員

氏名	就任	選任区分等		備考
	就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分	
武本成十	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	議長
白石政美	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	副議長
猪股智夫	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柏崎直巳	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
加藤政博	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
川上泰	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
田中秀和	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
土屋亮	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	
福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
三宅太	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
村上賢	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
村山洋	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柳原新太郎	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
山本雅子	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
高橋徹	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
勝見晟	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
保坂広	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
有賀誠	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
横尾清文	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
宮澤宏	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
田中克明	平9年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
松家芳実	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
長友士郎	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
谷川力	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
佐藤泰	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
加山俊夫	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
三東崇秀	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
塩田浩平	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
谷口隆良	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
中村滋	平成24年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
浅利昌男	平成24年6月1日 (平成26年6月25日)	第18条第4号	大学長	兼理事 平成24年6月1日～平成26年6月24日 寄附行為第18条第1号評議員
高木敬彦	平成27年4月1日	第18条第5号	高等学校長	

7. 学生・生徒の状況

平成28年5月1日現在

(1) 入学定員，収容定員，学生・生徒数，収容定員充足率

(人)

学部・学科等		入学定員	収容定員	学生・生徒数								収容定員充足率	
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計			
学部	獣医学部	獣医学科	120	720	151	152	155	137	145	153	893	124.0%	
		動物応用科学科	120	480	149	146	138	127	—	—	560	116.7%	
		小計	240	1,200	300	298	293	264	145	153	1,453	—	
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	80	310	101	106	85	86	—	—	378	121.9%	
		食品生命科学科	80	310	97	99	96	77	—	—	369	119.0%	
		環境科学科	80	340	98	86	107	101	—	—	392	115.3%	
		小計	240	960	296	291	288	264	—	—	1,139	—	
	学部計		480	2,160	596	589	581	528	145	153	2,592	—	
	研究科	獣医学専攻 博士課程	獣医学専攻 博士課程	10	40	9	8	2	5	—	—	24	
			動物応用 科学専攻	博士前期 課程	20	32	20	16	—	—	—	—	36
博士後期 課程				4	12	4	3	3	—	—	—	10	
小計			34	84	33	27	5	5	—	—	70		
環境保健 科学専攻		博士前期 課程	7	14	5	3	—	—	—	—	8		
		博士後期 課程	2	6	0	1	0	—	—	—	1		
		小計	9	20	5	4	0	—	—	—	9		
研究科計		43	104	38	31	5	5	—	—	79			
附属高等学校		258	774	529	497	337	—	—	—	1,363			
総合計		781	3,038	1,163	1,117	923	533	145	153	4,034			

※ 平成26年度から生命・環境科学部の各学科の入学定員を変更するとともに、編入学定員を廃止したことから、同学部各学科の平成28年度の収容定員は次のとおり。

臨床検査技術学科及び食品生命科学科：1年次 80人，2年次 80人，3年次 80人，4年次 70人

環境科学科：1年次 80人，2年次 80人，3年次 80人，4年次 100人

※ 平成28年度から獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程の入学定員を変更したことから、平成28年度の収容定員は次のとおり。

動物応用科学専攻博士前期課程：1年次 20人，2年次 12人

平成28年5月1日現在

(2) 専任教員一人当たりの学生数

学部・学科		専任教員一人当たりの学生数	
		(学生数/教員定数※1)	
学部 獣医	獣医学科 ※2	14.6 人	(14.0 人)
	動物応用科学科	31.1 人	(29.5 人)
生命 学・環 境科	臨床検査技術学科	25.2 人	(23.6 人)
	食品生命科学科	41.0 人	(28.4 人)
	環境科学科	30.2 人	(24.5 人)

※1 教員定数は、本学における教育研究上必要な教員数

※2 獣医学科専任教員は、附属動物病院及び附置生物科学総合研究所の専任教員を含む。

※ 特任教員は除く。

(3) 留学生数

獣医学科 0人，動物応用科学科 0人，
臨床検査技術学科0人，食品生命科学科0人，環境科学科0人

獣医学研究科獣医学専攻 3人
獣医学研究科動物応用科学専攻 2人

環境保健学研究科環境保健科学専攻 0人

(4) 社会人学生数

学部・学科		社会人学生数
学部 獣医	獣医学科	89
	動物応用科学科	6
生命 学・環 境科	臨床検査技術学科	5
	食品生命科学科	0
	環境科学科	0
合計		100

※ 平成28年4月1日現在で、満25歳以上の者
(入試区分の社会人選抜による入学者とは異なる。)

研究科・専攻		社会人学生数
研究 科 獣 医 学	獣医学専攻博士課程	21
	動物応用科学専攻 博士前期課程	2
	動物応用科学専攻 博士後期課程	10
学 環 境 保 健 科 健 研 究 科	環境保健科学専攻 博士前期課程	2
	環境保健科学専攻 博士後期課程	1
合計		36

(5) 非正規課程履修者

区 分	獣医学部	獣医学研究科	動物病院	生命・環境科学部	環境保健学研究科	合計
研究生	27	0	0	3	0	30
研修生	0	0	0	0	0	0
研修獣医師	—	—	62	—	—	62
聴講生	3	0	0	3	0	6
科目等履修生	0	0	0	0	0	0
外国人研究生	0	0	0	0	0	0
特別聴講学生(受入)	0	0	0	0	0	0
特別研究学生(受入)	0	0	0	0	0	0
聴講生徒	0	0	0	0	0	0
研究室体験生徒	0	0	0	0	0	0
合計	30	0	62	6	0	98

【注】

- 特別聴講学生，特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は，両研究科ともになし
- 聴講生徒及び研究室体験生徒の受入れの決定時期については，7月上旬を予定。
[平成27年度の実績は，聴講生徒15人，研究室体験生徒76人(獣医学部42人，生命・環境科学部28人，附属動物病院6人)]

8. 教職員の状況

平成28年 5月 1日 現在

(1) 大学教員 (常勤)

(人)

学部・学科等	学長		教授		准教授		講師		助教		助手		特任教員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学長	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
獣医学部	獣医学科	—	—	15	3	13	2	11	5	4	1	0	0	0	54
	動物応用科学科	—	—	8	1	6	0	1	2	0	0	0	0	1	19
	基礎教育系	—	—	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	6
	小計	0	0	24	4	21	2	15	7	4	1	0	0	0	79
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	—	—	5	0	4	1	3	2	0	0	0	0	0	15
	食品生命科学科	—	—	3	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	9
	環境科学科	—	—	4	0	3	1	5	0	0	0	0	0	0	13
	教職・学芸員課程	—	—	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	寄附講座	—	—	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1(2)
	小計	0	0	13(2)	2	8	2	11	2	1	0	0	0	0	40(2)
大学院	獣医学研究科	—	—	(25)	(4)	(19)	(2)	(8)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(60)
	環境保健学研究科	—	—	(8)	(2)	(3)	(2)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(19)
	小計	(0)	(0)	(33)	(6)	(22)	(4)	(11)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(79)
附置生物科学総合研究所	—	—	(2)	0	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(3)
附属学術情報センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物病院	—	—	2(2)	0	1	0	2	0	1	0	0	0	4	6	16(2)
附属教育推進センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
研究推進・支援本部	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
地域連携センター	—	—	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
健康管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
合計	1	0	39	6	31	4	28	9	6	1	0	0	4	8	137

【注】 ()は、兼務者を表す。ただし、同一部門内兼務者を除く。

(2) 高等学校教員 (常勤)

(人)

	校長		副校長		教頭		教諭		契約講師		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
附属高等学校	(1)	0	(1)	0	1	0	25	12	8	0	46

(3) 職員 (常勤)

(人)

校名等	事務局長		部長		課長 事務長 室長・主監		補佐		主査		主任		一般職		契約職員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麻布大学	1	0	2	0	11	3	5	1	5	3	13	4	16	8	2	6	80
附属高等学校	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	6
合計	1	0	2	0	12	3	5	1	6	3	14	4	17	9	3	6	86

常勤教職員

男 203 人 女 66 人 総合計 269 人

【注】 常勤教職員の合計欄は、実人数である。

平成28年5月1日現在

(4) 非常勤教職員

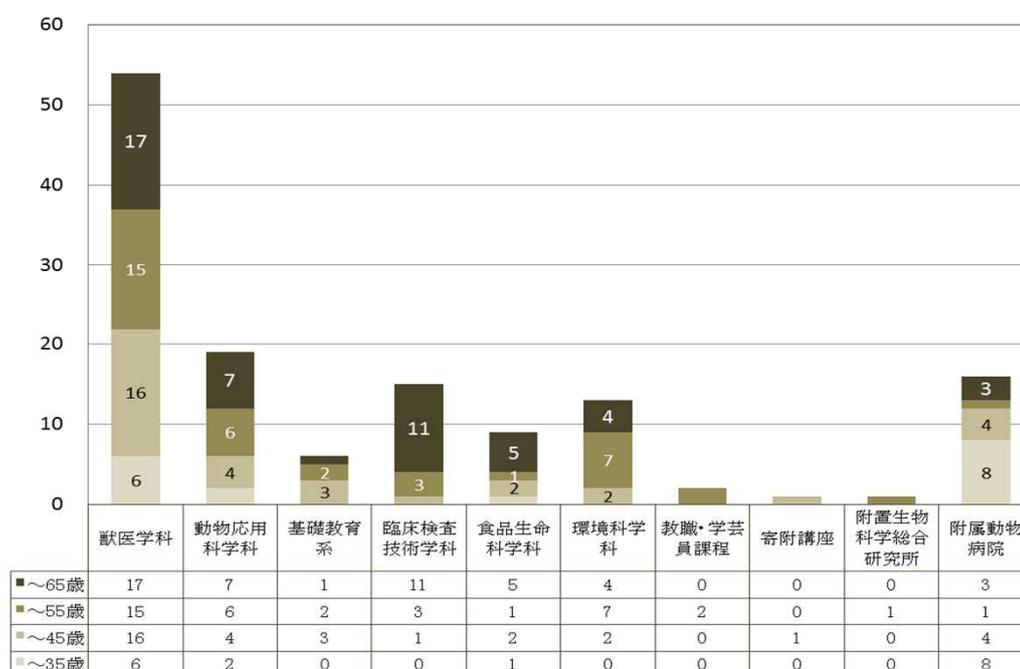
(人)

学部等	非常勤講師	非常勤職員	合計
獣医学部	54	21	75
生命・環境科学部	63	3	66
附属高等学校	37	1	38
事務組織	0	27	27
合 計	154	52	206

- 【注】1.非常勤講師欄は、獣医学部、生命・環境科学部及び附属高等学校を兼務する者を含む延べ人数である。
 2.非常勤講師には、業務委託による講師を含む。
 3.非常勤職員には、派遣職員を含む。

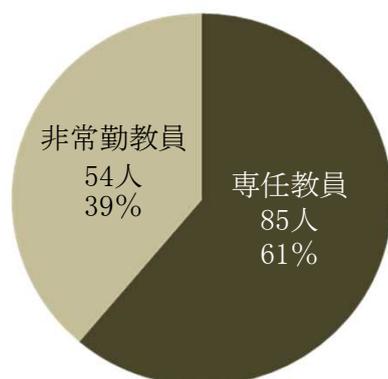
(5) 年齢別大学教員数（常勤）

(人)

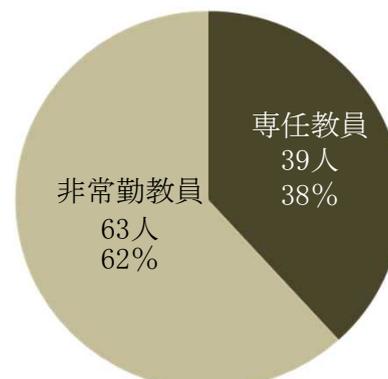


(6) 専任教員と非常勤教員の比率

■ 獣医学部



■ 生命・環境科学部



- 【注】1.獣医学部の教員には、獣医学科、動物応用科学科、基礎教育系、附置生物科学総合研究所、附属動物病院を含み、特任教員を除く。
 2.生命・環境科学部の教員には、臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科を含み、特任教員を除く。

II 事業の概要

1. 平成27年度事業計画の実施状況

- 平成27年度事業計画〔平成27年2月24日開催の理事会及び評議員会で承認〕は、平成27年度に学園全体として事業を推進するに当たり、学園の中期目標・中期計画〔平成27年度～平成32年度〕を基に、本学園の役員及び教職員が共通の認識に立って学内外ともに明確にしておかなければならない事項を取り上げたもので、その実施状況は、次のとおりである。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況	
1. 優秀な教職員の確保	決算額 3,012	予算額 3,106
(1) 将来展望を見据えた教職員の計画的採用と人材の適正配置	<p>【大学】 教育研究組織の人員構成を見据えながら、教育及び研究活動を継続的・安定的に維持できるよう、人員の配置及び退職者の補充・確保に努めた。 獣医学部では獣医学科教員構成の将来構想の検討がなされ、生命・環境科学部では平成27年度に新たな研究室体制となった。</p> <p>【附属高等学校】 附属高等学校では、生徒数の増加に伴い、安定的な教育力の提供ができるよう、人員の配置及び教員の増員に努め、平成27年度には教諭5人、契約講師4人を採用し、教育体制を整備した。</p>	
(2) 獣医学教育モデルコアカリキュラムに基づく参加型臨床実習に対応した附属動物病院人員体制の充実	<p>専任教員の指示の下で診療及び臨床実習教育の補助を担う新たな職種として特任教員Ⅱ種(特任助手)を平成26年度に設け、従前からあった特任教員Ⅰ種(特任助手)と併せて人員確保に努め、平成27年度は、特任教員Ⅱ種(特任助手)を追加採用し合計7人を附属動物病院における獣医臨床の研鑽を目的に所定の臨床プログラムに参加させた。 しかしながら、特任教員Ⅱ種(特任助手)の人員枠を充足できなかったこともあり、今後も引き続き、附属動物病院人員体制の充実に努める。</p>	
(3) 学園職員の資質の向上に向けた人材育成の推進	<p>【職場内外の各種研修】 大学教員におけるファカルティ・ディベロップメント(FD)活動については、これまで、各学部及び各研究科にそれぞれFD委員会を置いていたが、平成27年度には全学組織のFD委員会に集約した。当該委員会の中に15の部会を設け、各部会が主催する特色ある研修会や講演会等を全17回開催し、積極的な資質向上に努めた。 全学的にハラスメント防止に関する問題意識を喚起するよう、教育講演会及び研修会を3回開催し、ハラスメントに関する資質向上に努めた。 事務職員においては、課長等を対象に外部講師による管理職研修を行い、リーダーシップ、マネジメント、コミュニケーション等に関する本質、構造、キーポイントについて、講義、演習を通して理解修得に努めた。</p> <p>【高等学校における教員能力向上への取組】 生徒数増加に伴い、新規教員が増加していることに加え、生徒の学力レベルの向上に伴い、求められる教育力の質も年々上がっていることから、教育力の向上を喫緊の課題と捉え、各種研修の実施に努めた。主な研修内容は以下のとおりである。 ・入職前初任者研修会の実施 ・初任者対象研究授業の実施 ・中堅若手教員対象研究授業及び授業研究会の実施 ・全教員による教員相互授業参観週間の設置及び実施 ・神奈川県私学協会主催初任者研修会への参加 ・他校への授業見学研修の実施 ・各種研修会への参加</p>	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況	
2. 教育事業の見直し・活発化	決算額 828	予算額 835
(1) 大学共通		
(改正学校教育法施行に伴う対応) ① 学長の意思決定支援体制の見直し, 強化	平成27年4月1日付けで改正・施行された学校教育法(以下「改正法」という。)に基づき, 学内規程の総点検を行い, 改正法及び改正法に基づく施行通知に照合して, 学長の意思決定支援体制の見直し, 強化を考慮し, 不備のある規程の改廃を行った。	
② 学部長等の各部署長の意思決定支援体制の見直し, 強化	大学の教育研究の実施に当たって, 教職員の適切な役割分担及び組織的な連携体制の確保並びに教育研究に係る責任の所在の明確化を図る目的に, 新たに麻布大学運営規程を制定して, 学部長等の各部署長の意思決定支援体制の見直し, 強化を図った。	
(教育の質保証の取組) ③ 平成29年度実施の大学評価(認証評価)受審への対応準備	平成29年度に学校教育法に規定する認証評価を受審するため, 平成29年1月末の申請に向けて, 平成23年度から平成27年度の過去5か年分の基礎データの収集及び調書を作成, これに基づく自己点検・評価報告書(第一次案)の作成に取り組んだ。	
④ 大学共通の教員評価基準(指標)策定の推進	前学長からの引継事項として, 「教員の新評価基準の構築の取組」を新たな取組課題に掲げ, 「教員評価ワーキンググループ」を設置して, 平成26年3月27日付けで前学長に報告された「教員評価基準に関する検討委員会報告書」を基に, 再度精査を行い, 実効性のある評価基準として取りまとめた。	
⑤ 全学共通のコアカリキュラム(麻布スタンダード)の構築	平成27年度から次のとおり実施した。 ・麻布大学が教育理念としている「地球共生系」について, 臨床検査技術学科以外の四学科において, 「地球共生論」を開講した。 なお, 臨床検査技術学科は, 他学科履修にて対応した。 ・全ての学科において, 「基礎科学英語」を必修科目として開講した。	
⑥ FD活動の推進	麻布大学ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「FD委員会」という。)において, 今後の活動方針を決定した。 第1回FD委員会(平成27年12月16日開催) 第2回FD委員会(平成28年3月31日持ち回り開催) 平成27年度のFD活動については, 各部会を中心に次のとおり実施した。 ① 教育推進センター部会 ・在学生調査2014結果報告会 (平成28年1月20日開催) ・平成28年度麻布大学非常勤講師FD研修会 (平成28年3月18日開催) ② 研究推進・支援本部部会 ・「今, 研究者が知っておかなければならないコンプライアンス ～転ばぬ先の知識と意識～」 (平成27年10月5日開催)(獣医学部会と合同開催) (平成27年10月13日開催)(生命・環境科学部会と合同開催) ・「日本の研究倫理教育を取り巻く現状」 (平成27年11月24日開催) ・「研究分野における画像処理スキルの重要性について」 (平成27年12月10日開催) ③ 学園広報部会 ・教職員研修会～本学の入口と出口の強みと弱みを知り, 次に活かす～ (平成27年6月1日開催) ④ IR・EM部会 ・「私立大学をめぐる現状と課題(～明治大学の取り組み事例を素材に～)」 (平成27年8月26日開催)	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況
⑦ 就職支援の強化・充実	キャリア形成の一環として、本学の学びに関連した企業人事担当者とのパネルディスカッション講座を開催した。また、ハローワーク相模原と連携して、平成27年10月に未内定学生を対象とした「さがみはら新規大学等卒業予定者就職面接会」を開催した。
⑧ 高大接続改革実行プランの施行に伴う大学教育改革及び入学者選抜改革の実施(教学三方針の法定化への対応、教員養成課程改革への対応に向けた検討、認証評価への取組対応など)	関連する報告文書又は通知文書が当初想定していた時期と異なったため、これらの対応は平成28年度に取り組むこととする。
⑨ 競争的資金の適正管理、倫理教育の実施	麻布大学競争的資金等の運営・管理に関する規程、麻布大学競争的資金等執行マニュアル、麻布大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程に基づき、競争的資金の適正管理に取り組んだ。また、倫理教育として、全教員、全大学院学生、公的研究費を取り扱う事務職員(経理課・管財課・学術支援課)に対して、CITI Japanのe-ラーニングプログラムの受講を要請し、誓約書の提出を求めている。そのほか、外部講師を招き教職員を対象にした研究倫理教育の研修会・説明会を企画し、本年度は「研究分野における画像処理スキルの重要性について」と題し、画像処理の知識と方法に関するセミナーを開催した。
(2) 学部	
① 入学定員超過率・編入学者数比率の改善 ・入学定員超過率を全学部で1.20以下に抑制	事業計画に基づき、平成28年度の全学部の入学者について、入学定員超過率を1.20以下になるよう取り組んだ。 「環境特別入学試験」の廃止に伴い生命・環境科学部環境科学科の「一般入学試験」の入学定員を変更した。
② 入学前・入学時修学指導の充実	推薦等入学許可者と父母を対象にした学科説明会を開催した。入学前準備教育の説明、入学前教育の課題、専任教員の紹介、学科・教育課程の概要説明等を実施した。併せて、教育推進センターと両学部の協働により、高校での主要科目について全体的に復習する教育プログラムを10日間にわたって実施した。 入学時には4月に3日間、入学者オリエンテーションを実施し、カリキュラム、学生生活、科目履修、各学科の進級基準、卒業要件等大学生活に必要な事項の説明を行ったほか、初年次を対象とした授業内でもカリキュラムや履修方法等の説明を行った。
③ 高大一貫及び高大連携教育の推進	【高大一貫教育の推進】 附属高等学校生徒に対し、今年度も高大一貫授業(114人受講)及び夏期体験実習(57人参加)を開講した。また、高等学校教育と大学教育の連携強化のため、合同研修会「これからの求められる学力ー高大接続教育・新入試制度・大学の役割・高校の役割ー」を実施した。 【高大連携教育の推進】 高大連携協定校7校(県立相模原高等学校、県立麻溝台高等学校、県立川崎工科高等学校、県立相模原高等学校、県立座間高等学校、県立城山高等学校、県立大和東高等学校)と協定に基づく、研究室体験生徒の受入れ(19人参加)及び演習講座・教養講座(56人受講)を開講した。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況
<p>④ 各学部の取組</p> <p>【獣医学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獣医学教育モデルコアカリキュラムに基づく参加型臨床実習への対応準備 ・獣医学教育評価制度導入への対応準備 <p>【生命・環境科学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品生命科学科及び環境科学科の新教育課程の実施 ・食品生命科学分野の充実検討 	<p>1. モデルコアカリキュラムに対応した新たなカリキュラムを平成30年度から導入することとし、これを検討した。</p> <p>2. 平成29年度から実施する参加型臨床実習に向け、共用試験トライアル実施委員会の下にvetCBTトライアル実施委員会及びvetOSCE準備委員会を設置した。各委員会において、トライアルを実施し、実施に伴う問題点の洗い出しを行った。平成28年度も7月にトライアル試験を実施予定としている。</p> <p>1. 学科の教育理念に基づき、食品生命科学科及び環境科学科において平成27年度から新たなカリキュラムを導入した。</p> <p>2. これまで食品生命科学科で培ってきた教育研究成果をより社会に役立たせるとともに志願者に対して学科の理念・目的及び卒業後の進路をより明確にするため、平成30年度からの改組を目処として、科学的根拠に基づく栄養学(EBN)及び栄養疫学を実践することによって、地域における生活の質(QOL)の向上と健康寿命の延伸に貢献する栄養士養成課程の設置に向けて検討を進めることとした。</p>
<p>(3) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育の一元化に向けた検討の推進 	<p>前学長からの引継事項として、「大学院両研究科の統合の検討」を新たな取組課題に掲げ、大学院組織の一元化の在り方について検討させるため、両研究科構成員の代表からなる「(仮称)麻布大学大学院教員の資格審査基準」の見直し及び大学院一元化に向けての検討ワーキンググループを設置して、大学院一元化におけるメリット、デメリットなどを中心に慎重な検討を行い、当面の課題解決策として、大学院教育の充実方策を取りまとめた。</p>
<p>(4) 高等学校</p> <p>① 入学定員の確保と全教員による募集活動の推進及び適正管理への取組</p> <p>② 学習指導要領改訂に伴う新教育課程の完全実施(完成年度)</p> <p>③ 高大一貫及び高大連携教育の推進</p> <p>④ 高大接続改革実行プラン施行に伴う生徒の主体的・協働的な学習・指導方法の充実に向けて必要な方策への対応</p>	<p>平成27、28年度ともに500人を超える入学者を確保した。中学校の内申基準を上げても、募集が極めて堅調なため、平成29年度以降は基準変更を含む入試制度の更なる改正が必要である。</p> <p>平成25年度に完全実施されているが、本校生徒の実態に合わせて教育課程の一部変更を2回実施した。</p> <p>麻布大学との高大一貫教育は引き続き推進しているが、他大学との高大連携は、現在の本校の事情に見合っていないため、活動自体を停止している。</p> <p>「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」や主体性をもって多様な人々と協働する態度などの真の学力の育成・評価のために、以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻布大学教員による「生命の授業」を実施し、生命の大切さについて考えさせた。 ・年2回の小論文模試の受験による思考力・表現力の伸長を図った。 ・第1学年では多くの職業を学び、レポートにまとめることで、思考力、表現力を涵養した。 ・体育祭での応援合戦や文化祭でのステージ発表企画の立ち上げ、部活動への参加奨励などの取り組みで、多様な人々と協働する態度を養った。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況		
<p>(5) 学生・生徒募集のための広報活動の効果的実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生及び生徒の募集強化のための全学体制の構築 	<p>【大学】</p> <p>首都圏を中心とした高校訪問の強化及び関東エリアで開催する高校内進路相談会、高校内模擬授業等の要請に対して積極的に参加すること、並びに学内における高校教員対象大学説明会及び理科実験技術研修会を実施し、高校教員に対しての広報活動も併せて強化することで、志願者数の確保と同時に、次年度以降の志願者の獲得を行うことができた。</p> <p>【附属高等学校】</p> <p>HPなどのインターネット環境の更なる拡充を行った。特にオープンスクールでのイベント予約など、ネット上での利便性を向上させることで募集強化を図った。</p>		
<p>(6) 社会貢献活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域・国際交流の活性化 	<p>【キャリア支援・地域連携の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民大学講座 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ①『人と動物、動物同士 同じところ、違うところ』(平成27年7月29日～9月2日 毎週水曜日、全5回) ②『食のベネフィットとリスクについて考える』(平成27年7月30日～9月3日 毎週木曜日、全5回) さがまちカレッジ 1講座 <ul style="list-style-type: none"> 『あなたの愛犬にもできる！～ゲームを通じた科学的ドッグトレーニングを体験～』(平成27年11月14日) オーサーズカフェ 1講座 <ul style="list-style-type: none"> 『麻布大学いのちの博物館ができるまでとこれから 一人も子供も学べる場を目指して』(平成28年2月13日) <p>【学術交流協定校との連携の実施】</p> <p>今まで学術交流協定がなかったヨーロッパ圏のベルン大学(スイス連邦)と獣医学間で学術交流協定を締結した。</p> <p>ベルン大学を含む学術交流協定校(以下「協定校」という。)6大学(ペンシルヴァニア大学・ベルン大学・国立台湾大学・国立中興大学・チェンマイ大学・北京農学院)へ18人の学生を派遣した一方で、協定校6大学(国立台湾大学・国立中興大学・北京農学院・ベルン大学・ペンシルヴァニア大学・チェンマイ大学)から17人の学生及び研究者を受け入れ、充実した学術交流を行った。</p>		
<p>3. 研究活動の活発化</p>		<p>決算額 380</p>	<p>予算額 385</p>
<p>(1) 研究推進・支援本部を中心に、学術研究・産学官連携等の活動の推進</p>			
<p>① 学内競争的資金の効果的活用</p>	<p>本年度は、45歳未満の若手教員が行う研究に対し、本学の先導的研究となり、かつ両学部へ渡る横断的で新しい学内研究ネットワークの構築を目的とする「若手育成プロジェクト」や、若手の自由な発想を支援する「若手育成パーソナル」のプログラムを実施した。また、本学初の知財の展開と活用を図る研究に対する「知財展開研究」も継続して支援した。</p>		
<p>② 外部資金獲得の推進</p>	<p>外部資金獲得のために、今年度も外部講師によるセミナーを開催した。科研費については、申請率100%を目指して全教員に対して個々に働きかけを行うほか、教員が作成した申請書については、課員の複数の眼を通して内容を確認し、教員と共にブラッシュアップを図った申請を行う等、外部資金獲得を推進している。また、各種助成金の公募情報を取りまとめ、隔週で教員にメール通知し、情報提供を行っているため、年々その申請数も増加の傾向にある。</p>		
<p>③ 知的資産の蓄積及び活用と産学官連携の推進</p>	<p>教員からの権利化に係る研究成果相談への対応や、大学の知的資産を顕在化させることを目的に、実用化が見込まれるシーズの発掘から特許出願、権利化・維持管理を行った。また、保有している知的資産の社会還元(技術移転)を進め、更なる研究資金の獲得や各種イベントへの出展を通して研究アクティビティPRによる大学のブランド価値向上に働きかけた。共同研究・受託研究等を積極的に推進するために、企業等との交渉・契約を一元的に執り行い、研究の加速化及び研究費の獲得を推し進めた。</p>		
<p>④ (仮称)ビッグリサーチセンター構想の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導方法の充実に向けて必要な方策への対応 	<p>教職員からなるワーキンググループが平成28年2月に学長の下に設立され、(仮称)ビッグリサーチセンター設立目的等の骨子の作成から、獣医師向けトレーニングプログラムの企画、受講生向け動物実験倫理プログラムの企画、オペレーション体制、ブタの管理、連携企業とのMD向けトレーニング等に関する検討を実施中。</p>		

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況	
4. 附置・附属施設の充実	決算額 872	予算額 882
(1) 生物科学総合研究所の備品の更新	生物科学総合研究所では、動物福祉対策を考慮した、US規格に準拠したイヌケージを導入した。一方、設立後27年が経過に伴い、施設・設備の老朽化が進んでいるものの、全学的な予算縮小の観点から、緊急度を精査しつつ最小限の修繕対応を原則として進めた。また、共用性の高い設備や備品の修繕や更新については、競争的資金等管理委員会で協議し、競争的資金による間接経費による対応も実施した。	
(2) 学術情報センターの機能の充実等	事務組織業務の円滑化及び本学園全体の安全かつ効率的な情報化環境の推進のために、事業計画及び情報化グランドデザインの理念に基づき、以下の情報環境の整備・拡充及びリプレイスを実施した。 ① 共通情報基盤の新規構築(仮想化基盤を用いた全体最適化によるサーバ機器の統合) ② ネットワーク機器の最適化リプレイス ③ 教育支援システム(9号館PC教室, eラーニングシステムなど)の最適化リプレイス	
(3) 動物病院の医療用器具・機械の計画的整備	医療用機器備品の整備計画にあわせて、パラフィン包埋ブロック作成装置、自動血球計数装置等の検査にかかわる機器を更新し、ウォームエアユニット、動物生態モニターの導入によって手術におけるリスク軽減を図った。さらに、腹腔鏡・関節鏡を導入し、患畜の負担軽減、及び高度医療への対応に努めた。また、臨床センター内にある高圧滅菌器3台の内2台が修理不能な状態で使用できず、残り1台も不完全な状態であったことから、緊急に洗浄・滅菌・保管を一貫する計画を立て、補正予算によって、医療機器洗浄機を設置するとともに平成28年度設置を予定している大型高圧滅菌器導入に向けた一次側工事を完了させた。	
5. 教育研究環境の整備	決算額 1,244	予算額 1,448
(1) 安全・良質な施設の構築		
① 新キャンパス・マスタープラン第Ⅱ期計画に基づく施設整備	平成25年度から3か年計画で着手した新キャンパス・マスタープランにおける第Ⅰ期事業の残り第Ⅱ期事業としての(仮称)新5号館・新食堂等の整備計画のうち、平成27年度には、ウインドチャイム、ドッグラン、南門守衛所などが完成し、新キャンパス・マスタープラン第Ⅱ期事業は完了した。	
② 豚実習場の整備, 高等学校の施設設備	平成27年度の事業計画に基づき、豚実習場及び附属高等学校3号棟の建築を行った。	
③ 新キャンパス・マスタープラン第Ⅲ期計画の策定	新キャンパス・マスタープラン第Ⅲ期計画は、動物飼育エリアの整備を盛り込み策定する予定であったが、建物規模等を鑑み、中期目標・中期計画における整備事業として実施することとしたため、未策定である。動物飼育エリアについては、動物飼育エリア将来構想等検討委員会において検討を行い、動物飼育エリア整備計画を学長に答申した。	
④ 参加型臨床実習施設の整備計画の策定	参加型臨床実習で使用する予定の7号館1階の改修工事については、改修計画案を獣医学科で検討してきたが、最終調整が確定されていないため、未策定である。	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成27年度事業計画	実施状況	
6. 業務運営の改善・効率化	決算額 298	予算額 324
(1) 創立125周年記念事業への取組・推進〔記念式典・記念祝賀会の開催〕	<p>創立125周年記念事業委員会の下に設置した実行委員等において、支援者の協力を得ながら、各記念事業を取り進め、9月12日に麻布獣医学園アリーナにて、公官庁、関係大学、企業からの来賓、大学同窓会、父母会、教職員等500人を超える出席者の下、記念式典・祝賀会を挙行了。出席者には、各実行委員会で編纂・作成した年史、記念映像(DVD)その他の記念品を配付した。</p> <p>記念式典当日は、「麻布大学いのちの博物館」を開館、動物の骨格標本や歴史資料等が所狭しと並べられ、麻布大学の新たなシンボルとなるものとなった。</p> <p>このほか、沿線の駅におけるポスター掲示や特設のホームページサイトにおける歴史コンテンツの公開等の広報活動、創立125周年記念募金を平成27年度末まで行い一定額以上の寄附者の銘板をテラスいちょうに設置、学園創立記念日の9月10日には、本学に関係のある研究分野をテーマとして外部から2人の講師を招聘して学園関係者、学生・生徒、一般聴講者も含め600人を超える参加者の下、記念講演を開催するなど、滞りなく記念事業を取り進めた。</p>	
(2) 学園評議員選挙への取組	<p>平成28年5月で任期満了となる学園評議員について、平成27年10月以降、選挙管理委員会の下、学園寄附行為第18条第1号及び第2号評議員の選任手続を行った。</p>	
(3) 事務組織の見直し	<p>平成27年度から第3期中期目標・中期計画を開始し、「学生・生徒第一主義」を「将来に向けてのビジョン」として掲げる中、より一層の円滑な学生支援の取組の充実、教学に係る事務組織の効率性及び機能性の向上を目的に、事務組織の一部を改組し、併せて施設の一部改修及び執務室の一部移転を行った。また、この改組を行うに当たっては、私立大学等改革総合支援事業の選定に向けた取組にも対応するため、平成27年4月1日付けで設置した臨時の事務組織である総務部IR室を常時の事務組織に改めたほか、新たに設置した地域連携センターに関する事務を、キャリア支援・地域連携課が担当することを明確にした。</p>	
(4) 学内規程の整備	<p>学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律が平成26年6月27日に、また、学校教育法施行規則の一部を改正する省令が平成26年8月29日にそれぞれ公布され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、各学校法人の長及び各大学長に対して、「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律及び学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令について(通知)」及び「内部規則の総点検・見直しの実施について」(以下「文科省通知」という。)が通達された。</p> <p>これに基づき、文科省通知に即して、大学の意思決定権者を学長とすることを明確にするほか、文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が共同で実施する「私立大学等改革総合支援事業」に対応した大学改革に取り組むため、内規等の細則レベルまでの諸規程も含め、大学の諸規則の制定、改正及び廃止を行った。</p>	
(5) 競争的資金の適正管理、倫理教育の実施	<p>麻布大学競争的資金等の運営・管理に関する規程、麻布大学競争的資金等執行マニュアル、麻布大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程に基づき、競争的資金の適正管理に取り組んだ。</p>	
合 計		決算額 6,634 予算額 6,980

2. 教育研究の概要

(1) 平成27年度の教育実施体制

平成27年5月1日現在

①教員及び学生数

(人)

学部・学科等		教員								学生					
		大学設置基準上の教員数		常勤教員数		常勤教員の学位取得状況			非常勤教員数	入学定員	編入学定員	収容定員	学生数		
		総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	博士	修士 (6年制含む)	学士							
学部	獣医学部	獣医学科	19	10	53(1)	18(1)	53(1)	0	0	57	120	—	720	891	
		動物応用科学科	10	5	17	9	17	0	0		120	—	480	558	
		基礎教育系	—	—	6	1	4	2	0		—	—	—	—	
		小計	—	—	76(1)	28(1)	74(1)	2	0		57	240	—	1,200	1,449
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8	4	15(1)	5(1)	13(1)	1	1	75	80	4年次 5	305	365	
		食品生命科学科	8	4	9	5	9	0	0		80	4年次 5	305	360	
		環境科学科	10	5	14(1)	3(1)	9(1)	5	0		80	4年次 4	364	424	
		教職・学芸員課程	2	1	2	1	2	0	0		—	—	—	—	
		寄附講座	—	—	1(2)	(2)	1(2)	0	0		0	—	—	—	—
		小計	—	—	41(4)	14(4)	34(4)	6	1		75	240	4年次 14	974	1,149
大学設置基準上、大学全体で必要な教員数		23	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
学部 計		80	43	117(5)	42(5)	108(5)	8	1	132	480	—	2,174	2,598		
研究科	獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	8	4	(36)	(17)	—	—	—	0	10	—	40	24	
		動物応用科学専攻	博士前期課程	6	3	(15)	(9)	—	—		—	12	—	24	41
			博士後期課程	8	3	(15)	(9)	—	—		—	4	—	12	9
		小計	22	10	—	—	—	—	—		0	26	—	76	74
	環境保健学研究科	環境保健科学専攻	博士前期課程	12	4	(19)	(6)	—	—	—	0	7	—	14	8
			博士後期課程	12	4	(17)	(6)	—	—	—		2	—	6	1
		環境衛生政策専攻修士課程※	3	2	(4)	(1)	—	—	—	7		—	14	0	
		小計	27	10	—	—	—	—	—	0		16	—	34	9
	研究科 計		49	20	—	—	—	—	—	0	42	—	110	83	
	附属動物病院		—	—	18(2)	1(2)	7(2)	11	0	0	—	—	—	—	
附置生物科学総合研究所		—	—	1(3)	(2)	1(3)	0	0	0	—	—	—	—		
総合計		—	—	136	43	116	19	1	132	522	—	2,284	2,681		

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

②職員数

(人)

	常勤職員	非常勤職員	合計
麻布大学	79	42	121

- 【注】 1. ()は、兼務者を表す。
 2. 非常勤教員は、獣医学部、生命・環境科学部、大学院、附属高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。
 3. 非常勤教員には、業務委託による講師を含む。
 4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

(2) 教育に関する情報

① 入学者の選抜

◆ 麻布大学

○ 各学部学科の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求めている。

1. 人や動物、自然が好きな人
2. 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人
3. 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人

◇ 動物応用科学科

本学科の教育理念を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して人間と動物と社会の接点で通用するキャリアを身に付け、動物応用科学の諸領域で活躍したいという強い意志と意欲を持った人物を募集する。なかでも次のような人物を求めている。

1. 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人
2. リーダーシップと協調性を有し、動物応用科学の社会的使命をよく認識している人

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念を十分に理解し、最後まで目標に向かって努力できる強い意志と意欲を持った次のような人を求めている。

1. 臨床検査技師として医療分野において活躍したい人
2. 臨床検査値と疾病についての関係について広く興味がある人
3. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力(特に数学、化学、生物)を有する人

◇ 食品生命科学科

高等学校までの中等教育で学んだ基礎学力、特に化学、生物、英語の学力を有し、次のような人を求めている。

1. 本学科の教育理念を理解し、食に関する問題とその科学的究明に強い関心を持っている人
2. 自ら考えて問題解決に積極的に挑戦する意欲を持った人
3. 食の安全・安心確保の見地から、正義感と責任感にあふれている人

◇ 環境科学科

高等学校までの教育で学んだ化学、生物、英語などの基礎学力を有し、次のような志向を持つ人を求めている。

1. 環境保全や環境問題に強い関心がある人
2. 環境科学やその対策技術について学習意欲がある人
3. 環境科学科の教育理念、教育方針、教育内容等を理解し、環境保全や環境問題解決に貢献する強い意欲を持っている人

● 入学者の推移 (過去5年)

(人)

学部・学科		平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
獣医学部	獣医学科	145	138	139	138	146
	動物応用科学科	148	144	143	144	144
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	97	94	96	85	90
	食品生命科学科	94	96	97	84	91
	環境科学科	92	89	96	120	128
合計		576	561	571	571	599

* 編入学者は除く。

■ 獣医学部

(人)

学部 学科等	区分	募集人員	平成28年度												平成27年度			平成26年度			
			志願者				受験者			合格者			入学者			志願者					
			男	女	計	前年度比	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
獣医学部 獣医学科	推薦	25	33	56	89	97.8%	33	56	89	7	18	25	7	18	25	36	55	91	43	68	111
	附属	5人程度(推薦内)	3	1	4	40.0%	3	1	4	3	1	4	3	1	4	4	6	10	6	2	8
	帰国子女	若干名	0	1	1	—	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	若干名	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1
	外国人	若干名	0	3	3	—	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	地域枠	若干名	1	0	1	—	1	0	1	1	0	1	1	0	1	—	—	—			
	卒業生後継者	若干名	9	10	19	65.5%	9	10	19	3	2	5	3	2	5	15	14	29			
	AO	8	43	71	114	94.2%	43	71	114	2	6	8	2	6	8	43	78	121	61	91	152
	一般	75	693	699	1,392	92.0%	661	676	1,337	90	106	196	44	53	97	782	731	1,513	819	792	1,611
	センター利用	12	148	226	374	110.0%	142	223	365	30	52	82	2	3	5	147	193	340	204	248	452
計	120	930	1,067	1,997	94.9%	892	1,041	1,933	136	185	321	62	83	145	1,027	1,078	2,105	1,134	1,202	2,336	
獣医学部 動物応用科学科	推薦	25	6	31	37	123.3%	6	31	37	4	23	27	4	23	27	5	25	30	6	15	21
	附属	10人程度(推薦内)	2	5	7	53.8%	2	5	7	2	5	7	2	5	7	5	8	13	4	5	9
	帰国子女	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	AO	15	11	37	48	100.0%	11	37	48	4	13	17	4	13	17	7	41	48	7	34	41
	一般	55	154	252	406	98.5%	148	243	391	64	126	190	40	48	88	159	253	412	185	256	441
	センター利用(第I期)	25	136	230	366	101.1%	135	227	362	49	97	146	1	8	9	126	236	362	151	234	385
	センター利用(第II期)	若干名	1	0	1	14.3%	1	0	1	1	0	1	0	0	0	3	4	7	1	3	4
	計	120	310	555	865	99.2%	303	543	846	124	264	388	51	97	148	305	567	872	354	547	901
獣医学部 合計	推薦	50	39	87	126	104.1%	39	87	126	11	41	52	11	41	52	41	80	121	49	83	132
	附属	15人程度(推薦内)	5	6	11	47.8%	5	6	11	5	6	11	5	6	11	9	14	23	10	7	17
	帰国子女	若干名	0	1	1	—	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	若干名	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1
	外国人	若干名	0	3	3	—	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	地域枠	若干名	1	0	1	—	1	0	1	1	0	1	1	0	1	—	—	—			
	卒業生後継者	若干名	9	10	19	65.5%	9	10	19	3	2	5	3	2	5	15	14	29			
	AO	23	54	108	162	95.9%	54	108	162	6	19	25	6	19	25	50	119	169	68	125	193
	一般	130	847	951	1,798	93.4%	809	919	1,728	154	232	386	84	101	185	941	984	1,925	1,004	1,048	2,052
	センター利用(第I期)	37	284	456	740	105.4%	277	450	727	79	149	228	3	11	14	273	429	702	355	482	837
センター利用(第II期)	若干名	1	0	1	14.3%	1	0	1	1	0	1	0	0	0	3	4	7	1	3	4	
計	240	1,240	1,622	2,862	96.1%	1,195	1,584	2,779	260	449	709	113	180	293	1,332	1,645	2,977	1,488	1,749	3,237	

□ 獣医学部編入学

(人)

学部 学科	区分	募集人員	選抜区分	平成28年度												平成27年度	平成26年度				
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者				
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計				
獣医学部 獣医学科		若干名	第1次選抜	26	16	42	26	15	41	13	7	20									
			第2次選抜	13	7	20	13	7	20	0	3	3	0	3	3				46		52
獣医学部 動物応用科学科		若干名		0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1			0		0
合計		若干名		39	24	63	39	23	62	13	11	24	0	4	4			46		52	

■ 生命・環境科学部

(人)

学部	区分	募集人員	平成28年度												平成27年度			平成26年度						
			志願者				受験者				合格者				入学者			志願者			志願者			
			男	女	計	前年度比	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
生命・環境科学部	臨 床 検 査 技 術 学 科	推薦	20	14	33	47	120.5%	14	33	47	8	24	32	8	24	32	11	28	39	6	35	41		
		附属	5	3	3	6	50.0%	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	9	12	5	1	6		
		帰国子女	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		社会人	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		一般A	55	77	104	181	87.0%	75	98	173	21	36	57	9	18	27	60	148	208	43	137	180		
		一般B		33	39	72	52.2%	32	38	70	12	11	23	4	8	12	35	103	138	43	101	144		
		一般C		62	101	163	159.8%	50	87	137	16	28	44	5	15	20	26	76	102	42	122	164		
		センター利用(第1期)	5	42	57	99	86.1%	42	56	98	12	14	26	0	0	0	31	84	115	60	134	194		
		センター利用(第2期)	若干名	4	4	8	800.0%	4	4	8	1	0	1	0	0	0	1	0	1					
		計	80	235	341	576	93.7%	220	319	539	73	116	189	29	68	97	167	448	615	199	530	729		
		生命・環境科学部	食 品 生 命 科 学 科	推薦	25	4	5	9	90.0%	4	5	9	3	5	8	3	5	8	5	5	10	4	2	6
				附属	7	3	0	3	30.0%	3	0	3	3	0	3	3	0	3	6	4	10	2	0	2
				指定校	7	2	7	9	64.3%	2	7	9	2	7	9	2	7	9	7	7	14	4	8	12
				帰国子女	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人	若干名			0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般A	50			59	41	100	70.9%	57	37	94	25	26	51	14	13	27	73	68	141	66	65	131		
一般B				48	41	89	112.7%	45	39	84	21	22	43	6	8	14	50	29	79	42	33	75		
一般C				98	105	203	102.0%	91	96	187	46	52	98	17	9	26	100	99	199	57	67	124		
一般II期	若干名			10	5	15	100.0%	7	4	11	2	3	5	3	3	6	8	7	15	6	9	15		
センター利用(第1期)	5			79	92	171	103.6%	78	92	170	19	25	44	0	1	1	70	95	165	106	110	216		
センター利用(第2期)	若干名			6	3	9	180.0%	6	3	9	0	1	1	0	0	0	3	2	5	3	4	7		
計	80			309	299	608	95.3%	293	283	576	121	141	262	48	46	94	322	316	638	290	298	588		
生命・環境科学部	環 境 科 学 科			推薦	25	2	0	2	200.0%	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	4	5	9
				附属	7	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	6	6
		指定校	7	5	1	6	37.5%	5	1	6	5	1	6	5	1	6	10	6	16	5	11	16		
		環境特別															1	0	1	5	1	6		
		帰国子女	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		社会人	若干名	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		一般A	50	52	23	75	104.2%	47	22	69	34	18	52	16	9	25	55	17	72	74	29	103		
		一般B		42	25	67	103.1%	41	25	66	30	20	50	13	5	18	47	18	65	46	20	66		
		一般C		83	44	127	115.5%	79	41	120	67	38	105	23	8	31	79	31	110	62	30	92		
		一般II期	若干名	8	2	10	250.0%	7	1	8	4	0	4	4	0	4	2	2	4	9	9	18		
		センター利用(第1期)	5	67	50	117	97.5%	65	49	114	33	21	54	6	0	6	84	36	120	129	66	195		
		センター利用(第2期)	若干名	3	0	3	150.0%	3	0	3	1	0	1	0	0	2	0	2	13	3	16			
		計	80	262	145	407	103.3%	249	139	388	176	98	274	69	23	92	283	111	394	347	180	527		
		生命・環境科学部	合 計	推薦	70	20	38	58	116.0%	20	38	58	13	29	42	13	29	42	17	33	50	14	42	56
附属	19			6	3	9	36.0%	6	3	9	6	3	9	6	3	9	11	14	25	7	7	14		
指定校	7			7	8	15	50.0%	7	8	15	7	8	15	7	8	15	17	13	30	9	19	28		
環境特別																	1	0	1	5	1	6		
帰国子女	若干名			0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
社会人	若干名			0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般A	155			188	168	356	84.6%	179	157	336	80	80	160	39	40	79	188	233	421	183	231	414		
一般B				123	105	228	80.9%	118	102	220	63	53	116	23	21	44	132	150	282	131	154	285		
一般C				243	250	493	120.0%	220	224	444	129	118	247	45	32	77	205	206	411	161	219	380		
一般II期	若干名			18	7	25	131.6%	14	5	19	6	3	9	7	3	10	10	9	19	15	18	33		
センター利用(第1期)	15			188	199	387	96.8%	185	197	382	64	60	124	6	1	7	185	215	400	295	310	605		
センター利用(第2期)	若干名			13	7	20	250.0%	13	7	20	2	1	3	0	0	0	6	2	8	16	7	23		
計	240			806	785	1,591	96.6%	762	741	1,503	370	355	725	146	137	283	772	875	1,647	836	1,008	1,844		

□ 生命・環境科学部編入学

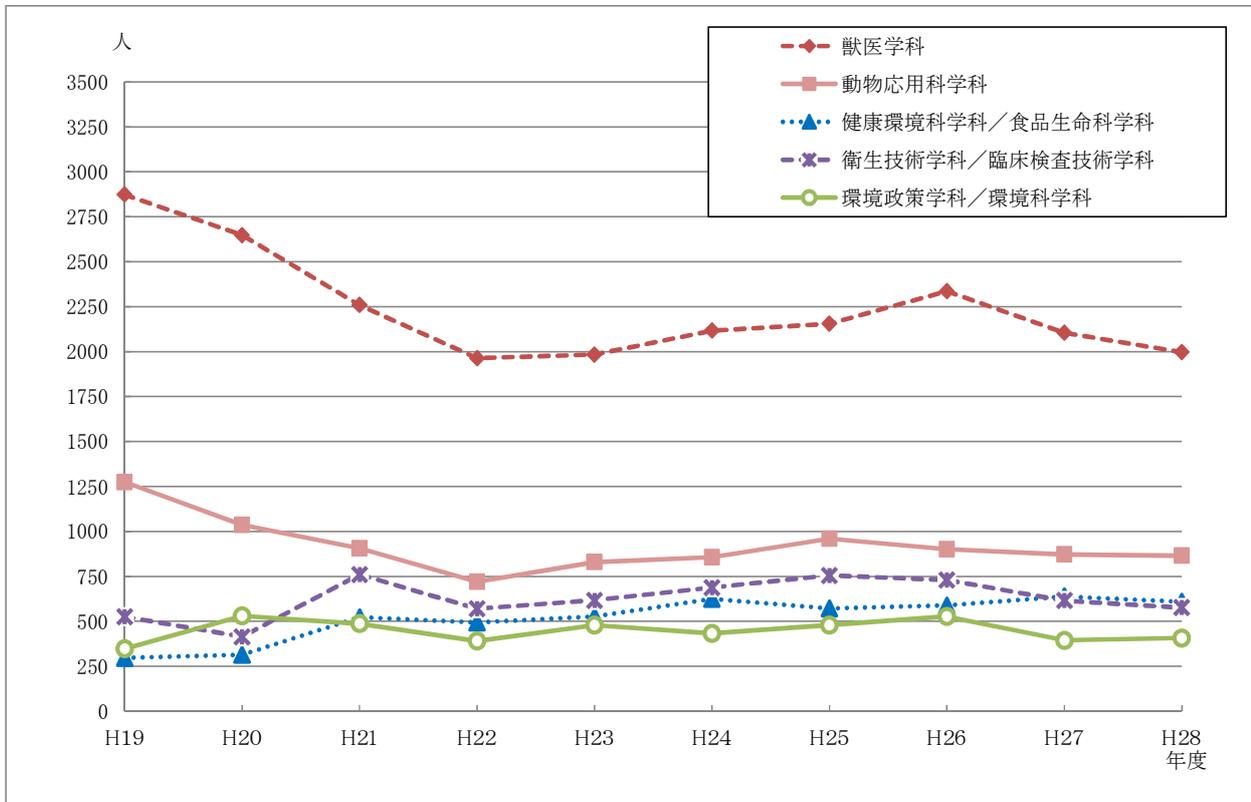
(人)

学部	区分	募集人員	平成28年度												平成27年度	平成26年度		
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
生命・環境科学部	2 年 次	臨床検査技術学科	若干名	3	3	6	3	1	4	3	0	3	2	0	2		1	1
		食品生命科学科	若干名	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1		2	3
		環境科学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	小計		5	3	8	4	1	5	4	0	4	3	0	3		3	4	
	3 年 次	臨床検査技術学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
		食品生命科学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
		環境科学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	3
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	3		
合計	若干名	5	3	8	4	1	5	4	0	4	3	0	3		3	7		

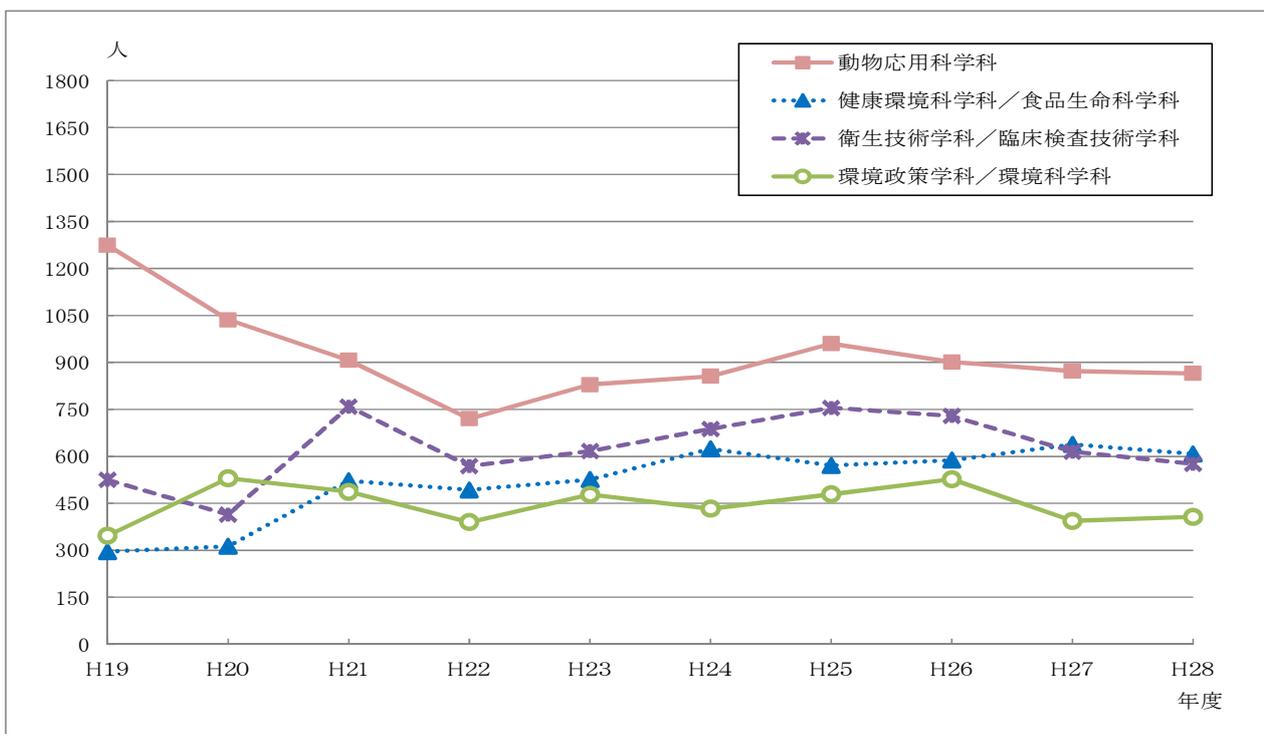
● 志願者の推移【麻布大学 過去10年】

■ 一般入学試験・推薦等入学試験・大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科

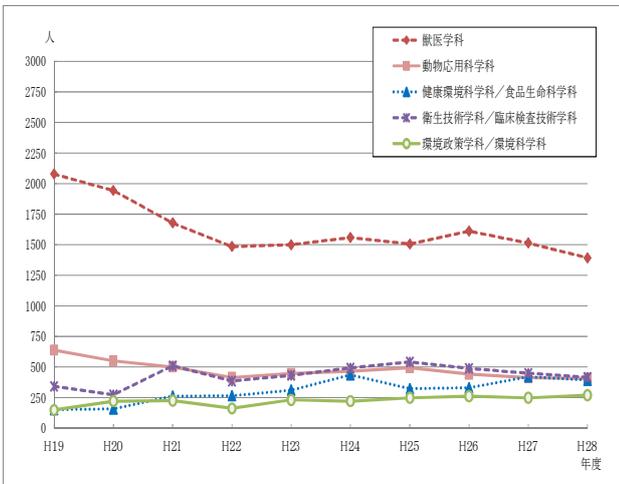


◇ 獣医学科を除く学科

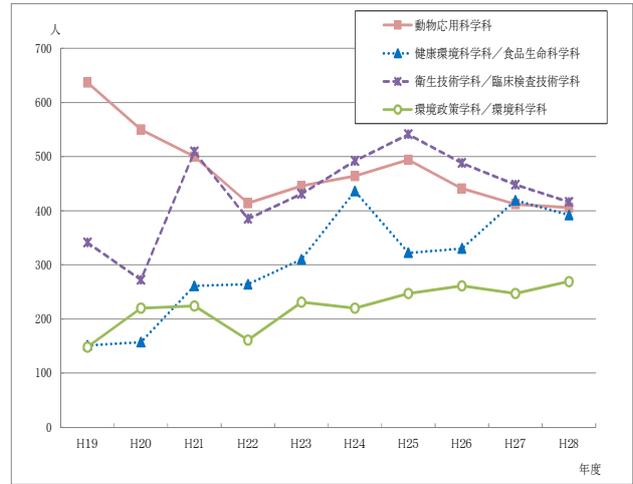


■ 一般入学試験

◇ 全学科

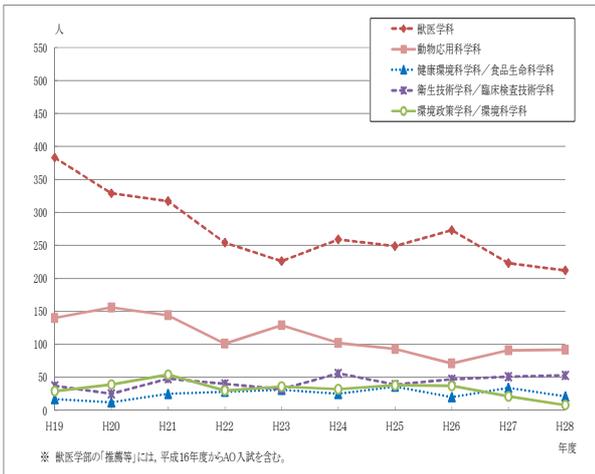


◇ 獣医学科を除く学科

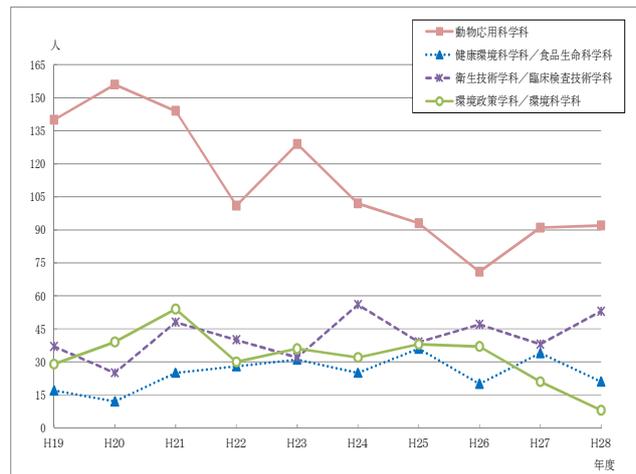


■ 推薦等入学試験

◇ 全学科

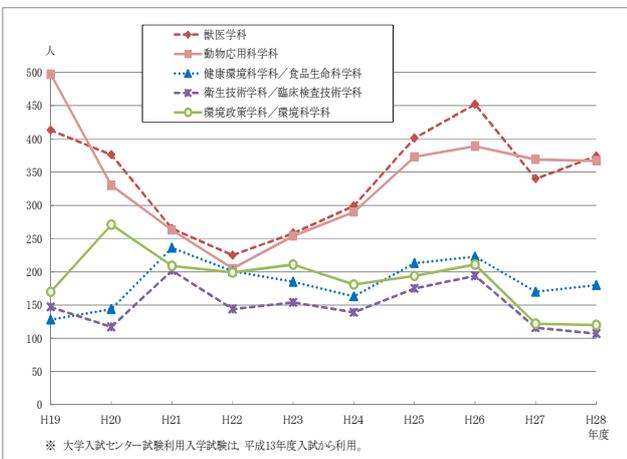


◇ 獣医学科を除く学科



■ 大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科



◆ 麻布大学大学院

○ 各研究科・専攻の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

獣医学専攻博士課程では、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 獣医学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ、国際的な視点を持ち合わせている人
2. 獣医学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取組、それによって人類と動物の健康維持に貢献しようとする意識のある人
3. 獣医学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に対しても果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

博士前期課程(修士課程)では、人と動物の健康社会を科学する高度な専門性職業人の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 学部の専門にかかわらず、人と動物の健康を科学する動物応用科学の基礎となる生物学、化学の基礎知識を持ち、かつ国際化に対応できるだけの語学力を備えている人
2. 動物応用科学に強い関心を持ち、新しい知識の吸収意欲があり、かつそれらの知識を科学的発見及び問題解決に結びつけようとする意識のある人
3. 動物応用科学の社会的使命をよく認識し、リーダーシップと協調性を持って問題解決に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程で修得した広い視野に立って、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 動物応用科学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ、国際的な視点を持ち合わせている人
2. 動物応用科学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取組、それによって人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献しようとする意識のある人
3. 動物応用科学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

博士前期課程では、国の内外を問わず、またこれまでの大学・学部での専攻学科にとらわれず高い基礎学力と、将来に対する明確な目標とそれぞれの各研究分野に対して強い興味を持った人物を求めている。

1. 環境保健科学に強い関心を持ち学習意欲に富んだ人
2. 社会人等でこれらの分野にかかわる業務に就いている人

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、専門分野あるいは関連する研究分野で修士号を取得した者又は取得見込みの者を求めている。

1. 高度な研究者、技術者あるいは統括指導者として活躍したい人
2. 社会人等でこれらの分野に関わる業務に就いている人

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程※

大学までに学んだ様々な分野の知見を踏まえて、更に環境衛生に関する専門的知見を身に付け社会全体の環境衛生レベルの向上について取り組みたい人物を求めている。

1. 人間社会にとって、人の健康と環境保全に関する、最も身近な政策である環境衛生政策に強い関心のある人
2. 自然科学・社会科学・人文科学など学問の全分野と深く関わった政策を検討しようとする意欲を持っている人

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

● 入学者の推移（過去5年）

(人)

研究科	専攻	年度等	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			4月入学	10月入学								
獣医学研究科	獣医学専攻博士課程		8	9	1	3	1	3	2	6	2	
	動物応用科学専攻博士前期課程		19	16	1	25	0	23	0	24	3	
	動物応用科学専攻博士後期課程		4	3	0	2	0	3	1	2	0	
環境保健学研究科	環境保健科学専攻博士前期課程		5	2	0	6	0	2	0	3	0	
	環境保健科学専攻博士後期課程		0	1	0	0	0	1	0	0	0	
	環境衛生政策専攻修士課程		—	0	0	0	0	2	0	0	0	
合計			36	31	2	36	1	34	3	35	5	

■ 獣医学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成28年度												平成27年度	平成26年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学	獣医学専攻博士課程	1期	10	3	2	5	3	2	5	3	2	5	2	2	4	5	4
		2期	若干名	3	2	5	3	2	5	2	2	4	2	2	4	6	2
		計	10	6	4	10	6	4	10	5	4	9	4	4	8	11	6
	動物応用科学専攻博士前期課程	1期	20	11	9	20	11	9	20	10	7	17	9	4	13	17	24
		2期	若干名	1	7	8	0	7	7	0	6	6	0	6	6	7	10
		計	20	12	16	28	11	16	27	10	13	23	9	10	19	24	34
	動物応用科学専攻博士後期課程	1期	4	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2
		2期	若干名	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	1
		計	4	2	3	5	2	3	5	2	2	4	2	2	4	3	3
計			34	20	23	43	19	23	42	17	19	36	15	16	31	1	43

平成28年度第1期合格者のうち、平成27年度10月期入学希望者は、平成28年度志願者、受験者及び合格者に含まれているが、平成28年度入学者に含まれていない。(獣医学専攻博士課程…男性1人、動物応用科学専攻博士前期課程…男性1人)

平成28年度第1期合格者のうち、動物応用科学専攻博士前期課程の女性3人は、辞退者。

平成28年度入学試験から、獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程の募集人員を12人→20人に変更。

■ 環境保健学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成28年度												平成27年度	平成26年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程	1期	7	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	6
		2期	若干名	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0
		計	7	4	2	6	4	2	6	3	2	5	3	2	5	3	6
	環境保健科学専攻博士後期課程	1期	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計			9	4	2	6	4	2	6	3	2	5	3	2	5	4	6

②教育課程

◆ 麻布大学

- 各学部学科の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

1. 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
2. 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
3. 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
4. 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

◇ 動物応用科学科

動物生命科学コースでは、分子、細胞、組織、器官、個体及び生態系と様々な段階における生命現象について、その機能を解析し、動物資源の利用・開発とその保全・増殖並びに人と動物に対する安全の観点から学際的な分野を含む広範な動物生命科学の総合的な知識と技術、バイオテクノロジーの多様な応用領域について幅広い知識と技術を身に付けた人材の育成を目標とする。

動物人間関係学コースでは、自然科学と人文科学・社会科学の境界領域の学問分野として、全ての動物を対象に人と動物のより良い関係を学び、動物と人の健康・福祉・教育への貢献、また人と野生動物とのより良い関係及び野生動物の生息地管理などについて幅広い知識を備えた人材の育成を目標とする。

このような基本方針に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムを用意した。

1. 初年次教育から卒業時まで在学期間全体を通して、社会人・職業人として必要な知識・技術の習得が可能となるようにキャリア形成科目を各年次に計画的に配分した。
具体的には、人文科学・社会科学など一般教養や英語を主とした語学力並びにコミュニケーション能力、情報処理能力などである。
2. 動物科学の基礎学力の向上を起点とし、2年次までに動物応用科学が目指す人と動物とのより良い共利共生につながる幅広い教育科目群を配当した。
1年次前期から生物学、化学、生態学などの科目配当で基礎学力を身に付け、その後段階的に専門基礎科目を配当し、動物の形態と機能、動物の特性及び基本的な病態について教育する。
また、本学科の全教員による動物応用科学概論、基礎ゼミなどを通じて、動物応用科学の広がりを認識し、その中で自らの修学意欲を高める教育を行っている。
3. 3年次以降においては、拡大・深化した動物応用科学の諸領域を動物の生命活動とその資源の利用・開発に関わる動物生命科学コースと、人と動物のより良い共利共生関係を目指す動物人間関係学コースの2コースの教育科目を設けた。

動物生命科学コースでは、遺伝子から、細胞、組織・臓器、微生物、個体、群集、生態系までの種々の段階における生命現象を、保全・増殖、機能解析、利用・開発並びに人と動物に対する安全の観点から、分子から個体までの多様なレベルで総合的に学ぶ。

動物人間関係学コースでは、伴侶動物、介在動物、野生動物を対象に、人の福祉や教育の現場に活用できるような、これらの動物の特性とその応用及び人と動物と環境の共生について総合的に学ぶ。

4. 4年次には、卒業論文や科学の伝達によってそれぞれの領域における動物応用科学の専門性の追求と、それを基礎とした人間社会への貢献の在り方を学ぶ。
具体的には、社会最先端の実験手法、それを基にした動物機能性製品や新たな動物飼育法、社会調査、フィールド・ワークの実場面を体験し、そのデータ解析やレポート作成などを通じて、最新の研究情報を社会へ発信する能力、逆に社会ニーズに対応するための問題発見・解決能力を兼ね備える人材の教育を目指す。

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念と教育目標を具体化したカリキュラムは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」第2条第3号に規定されている「臨床検査技師養成教育」に必要な専門科目80単位を基本とし、これに本学科独自の科目を加えて構成されている。すなわち、高い倫理観を養うための生命倫理学、科学英語論文を理解するための基礎科学英語や医学英語を取り入れた教養科目、及び疾病や遺伝的疾患を理解させるために臨床医学概論や基礎遺伝学、臨床遺伝学、遺伝子検査学を配当した。さらに、履修した科目の内容を総合的に理解させるとともに、早い時期から国家試験を意識させ、合格率を高めるために、教育の進行に合わせて総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、総合臨床検査学演習を開講する。

1. 1～2年次において教養科目のほか、解剖学、組織学、生理学、微生物学、生化学、病理学、免疫学、医動物学などの専門基礎科目(必修)及び臨床化学、病理検査学、検査管理総論などの専門科目(必修)を配当し、基礎学力並びに専門基礎学力を身に付ける。
2. さらに、3～4年次において臨床医学概論、衛生・公衆衛生学、医用工学概論などの専門基礎科目(必修、選択)のほか、臨床病理学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学、臨床生理学、臨床遺伝学、そして医療の安全についての科目として臨床検査リスクマネジメントを含め、専門科目(必修、選択)を配当し、臨床検査技師教育の専門分野を展開する。
3. 卒業論文は、2～4年次の3年間で履修する選択科目とした。学生は各研究室に所属し、研究テーマの決定、研究活動に必要な知識と実験手技の習得、文献の講読、実験の実施、データの解析・考察、論文作成などを通じて、問題に取り組む能力、必要な情報を収集する能力及びプレゼンテーション能力など社会で要求される幅広いコミュニケーション能力を身に付ける。

◇ 食品生命科学科

本学科の教育目標を達成するためのカリキュラムの設定方針として、次の項目に重点を置いている。

1. 確かな教養と豊かな構想力を身に付けるため、1年次前期には、基礎教養科目を配当し、多面的かつ倫理的に物事を考察できる能力が身に付くようにする。また、学習意欲をより増進させるために、基礎学力の強化と、実社会で活躍する企業人等が担当する科目を配当する。さらに、食の安全及び生命科学に関する専門基礎科目と実習を1～2年次から配当する。
2. 1年次から4年次にわたり、英語を主とした語学力の向上を図るとともに情報処理及びデータ解析能力の基礎を身に付ける。
3. 2年次以降においては、食のもたらす恩恵と危害の可能性についてその科学的根拠を総合的に学習する。具体的には、食育教育と食の健康・医療分野への応用を目指すフードアプリケーションサイエンス分野と行政機関・食品検査機関、食品品質検査などでの応用を目指すフードレギュラトリーサイエンス分野で、専門的に教育を行い食の安全安心教育の充実を図る。
4. 3年次から、研究室ゼミや卒業論文等に取り組むことより、食品生命科学領域の深さと広がり、食のレギュラトリーとアプリケーション領域の現状と可能性を認識し、最新情報を収集する能力と、問題発見・解決に関わるコミュニケーション能力並びにプレゼンテーション能力を身に付ける。

◇ 環境科学科

本学科の教育理念を達成するため、以下の事項を考慮してカリキュラムを編成している。

1. 1年次には、複雑な環境問題の全体像を把握し専門知識の導入を促すための基礎科学、一般社会活動や生活を営む上で重要な基礎人文社会学及び国際活動や専門科目の学習に必要な語学を主に配当している。これらに加えて、現在地球上で起こっている環境問題の全体像を理解するための環境基礎分野の専門科目を配当している。
2. 2年次及び3年次では、環境問題の解決や環境保全に必要な科学的知識、分析技術、結果の評価などの各能力を段階的に習得できるような専門科目を順次配当している。人間の健康と安全に関連するレギュラトリーサイエンスを対象とした環境衛生分野、環境問題を正確に分析し判断のできる能力を養うための環境分析分野、科学技術と実社会との調和・融合を通して持続的な社会発展を目指す実践型の環境評価分野及び健全な環境の維持を考える環境保全分野に各科目を配置編成している。

3. 環境調査や環境・衛生管理技術などの能力を習得し、専門家としての実力を養成するための各実習を1年次から3年次に配当している。
4. さらに、能動的思考や現実的な問題解決能力を養うため、卒業論文、課題研究などを発展・展開分野として配置し、その分野に配置している選択必修科目を6単位以上修得するよう卒業要件に定めている。これらのプロセスを通して、科学的根拠に基づいた的確な評価・判断・予測などの実践対応能力を養い、環境問題解決能力で社会貢献できる人材の育成を教育方針としている。

◆ 麻布大学大学院

- 各研究科・専攻の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

■ 獣医学研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 獣医学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に配当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. 各研究室において、それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取り組み、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 動物応用科学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に配当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. それぞれの指導教員の下、研究指導を受けながら研究課題に積極的に取り組み、修士論文としてまとめる。これにより、科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識及び実験手法について学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表及び論文発表会で発表させるとともに、学外の学会等において発表することを支援する。これにより、プレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. それぞれの指導教員との討論のもと、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取り組み、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
2. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 8つの専門分野のいずれかに所属し、必修科目として開講されている授業科目の講義、実験及び実習により、その専門分野の基礎となる幅広い知識を修得する(22単位)。
2. 他の専門分野の講義を4単位及び共通科目として開設されている「科学英語」(ネイティブスピーカーが担当)及び「科学者・研究者論」を含め8単位を修得させる(合計30単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、環境保健科学分野の幅広い基礎知識を修得させる。
4. 授業科目を2年間で修得するとともに、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密な指導を行う。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 各専門分野及び環境保健科学分野の基礎となる幅広い知識を土台に、更に高度な専門的知識を習得させる。
2. 所属する専門分野の「特別演習」及び「特別実験」を3年間にわたって履修させる(合計12単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、高度で専門的な博士(学術)にふさわしい学識を修得させる。
4. 授業科目を3年間で修得させるとともに、博士論文を完成させるが、入学後早期に1人の研究指導教員及び2人の副指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密かつ高度な研究指導を行う。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程[※]

1. 環境衛生政策を立案するために必要な自然科学的知識、社会科学的知識及び人文科学的知識に関わる授業科目の講義及び演習により習得させる(合計30単位)。
2. 世界の最新情報を身に付けるためのネイティブ教員による科学英語を開講する。
3. これらの学問を2年間で修得し、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による綿密な指導を行う。
4. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会で発表させるとともに、大学院を担当する全教員による総合的指導を行う。

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

③学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

◆ 麻布大学

● ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 学士課程のディプロマ・ポリシー

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学、健康科学、環境科学及び社会科学の教育に基づき、人と動物と環境の共生をめざす専門的知識と技術を習得し、幅広い視野を持ち国際社会に対して積極的に貢献できる能力を身に付け、所定の単位の修得及び所定の課程を修了して卒業を認められた者に対して、学士の学位を授与する。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の定められた教育課程を修了することで、次のような人材が育成されることを目標とする。

1. 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
2. 獣医師として、臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
3. 獣医師としての高い倫理観を有し、高度な専門職業人として責任をもった行動をとることができる。
4. 獣医師である高度な専門職業人として、課題発展能力・問題解決能力を習得し、獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に、持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

◇ 動物応用科学科

本学科の定めた教育課程に在籍し、本学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、演習や実習、フィールド・ワークや卒業論文作成等の科目が含まれる。この卒業要件を満たすことで、次のような人物が育成されることを目標とする。

1. 社会から求められる幅広い知識、教養と高い社会倫理を習得した人物
2. 社会から求められる語学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を習得した人物
3. 動物応用科学の領域の特性、その社会的責任、また動物応用科学の知識と技術を基に人間社会への貢献に寄与する人物
4. 動物応用科学における最新の科学技術に立脚した生命科学と社会の発展に貢献する、論理的で科学的な思考を習得した人物

□ 獣医学科（平成27年度入学者）

区分	単位数
基礎教育科目	
必修	7
選択必修	6
選択	23
専門科目	
必修	144
選択	5
計	185

取得可能学位 学士(獣医学)

□ 動物応用科学科（平成27年度入学者）

区分	単位数
基礎教育系科目群	
必修	19
選択必修	6
選択	12
専門共通科目群	}
動物生命科学コース科目群	
動物人間関係学コース科目群	
必修	65
選択	22
計	124

取得可能学位 学士(動物応用科学)

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科は、次のような能力・知識を有する卒業生を輩出する。

1. 臨床検査技師国家資格を取得できる学力
2. 医療従事者としての高い倫理観
3. 臨床検査成績と疾患との関連性を深く把握できる能力
4. チーム医療を理解し、実践できる能力
5. 自分の考えを論理的に表現できる総合的コミュニケーション能力

上記の能力・知識の習得について、定期試験・追再試験などを行い、厳格な単位認定を行う。また、必修科目108単位、選択科目16単位の計124単位を卒業要件とし、これを修得した者に対して卒業認定を行う。

◇ 食品生命科学科

本学科では、多くの実習・演習、また担当教員の指導の下に行う卒業論文の作成を通じて、食の分野の諸領域における幅広い知識と実践的な専門技術、研究方法を習得し、以下の3つを実践して社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのために、教養科目と専門科目を合計124単位以上修得することを義務付け、目標に到達した学生に対して卒業を認定する。

1. 生物学的及び化学的な分析の知識・技術に精通し、科学的根拠に基づいて得られた実験・調査成績を解析・評価できる。
2. 食の安全・安心分野で、広い見識を持ってリーダーシップを発揮し、問題の追求と解決に対して意欲的に取り組む。
3. 高い教養と倫理観を身に付け、人の健康に関わる専門分野で能力を発揮する。

◇ 環境科学科

卒業要件として、必修科目89単位、選択科目35単位(合計124単位)以上を修得し、選択科目には専門に係る科目の選択必修科目から6単位以上を含むことを義務付けている。環境科学科の教育課程を通して、次のような実践対応能力に優れた人材の育成を目標としている。

1. 環境因子を分析できる。
2. 環境の質を評価できる。
3. 環境因子の制御・管理ができる。
4. 健全な環境を創るため、環境の諸問題に対して持続的に取り組むことができる。

□ 臨床検査技術学科(平成27年度入学者)

区分	単位数
必修科目	108
選択科目	16
┌ 教養科目	4
└ 専門科目	12
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 食品生命科学科(平成27年度入学者)

区分	単位数
必修科目	84
選択科目	40
┌ 基礎・教養科目	10
└ 専門科目	30
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 環境科学科(平成27年度入学者)

区分	単位数
必修科目	89
選択科目	35
┌ 教養科目	16
└ 専門科目	19 ※
計	124

取得可能学位 学士(環境科学)

※ 選択必修科目6単位以上及び選択科目13単位以上を含む

◆ 麻布大学大学院

● ディプロマ・ポリシー（修了時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 修士課程のディプロマ・ポリシー

動物応用科学，畜産学，生命科学，健康科学，環境科学及び社会科学それぞれの専門領域において，広い視野を持って高度な専門知識及び研究技術並びに科学者としての倫理観を備え，所定の単位を修得し，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に対して，修士の学位を授与する。学位を授与される者は，専門性が求められる職業を担うための能力を身に付け，人と動物と環境の共生をめざして，健康社会，食の安全に貢献することができる。

■ 博士課程のディプロマ・ポリシー

獣医学，畜産学，動物応用科学，生命科学，健康科学，環境科学及び社会科学それぞれの専門領域において，深い学識及び卓越した高度な専門知識及び研究技術並びに社会的実践能力を備え，かつ，学術の理論及び科学者としての倫理観を備え，所定の単位を修得し，博士論文の審査及び最終試験に合格した者に対して，博士の学位を授与する。学位を授与される者は，研究者として自立した研究活動ができる，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究・分析・提案能力を身に付け，人と動物と環境の共生をめざして，健全な社会の発展と国際貢献に寄与することができる。

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 博士課程にあつては，所定の修業年限である4年以上在学し，必修20単位，選択10単位計30単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に，博士（獣医学）の学位を与える。
2. ただし，博士課程に3年以上在学し，定められた授業科目につき課程修了必要単位を修得し，かつ，特に優れた研究業績を上げ，指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し，博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には，修業年限の特例により博士（獣医学）の学位を与える。
3. また，博士課程修了にあつては，以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。
さらに，その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し，それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力，コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている
 上記3点の能力を通じて，獣医学における高度な専門性を持つ職業人，研究者及び教育者として社会に貢献できるようにする。

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程（修士課程）にあつては，所定の修業年限である2年以上在学し，必修・選択両科目を併せて30単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，かつ修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に，修士（動物応用科学）の学位を与える。
2. ただし，博士前期課程（修士課程）に1年以上在学し，所定の課程修了必要単位数を修得し，かつ特に優れた研究業績を上げ，指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し，修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には，修業年限の特例により修士（動物応用科学）の学位を与える。
3. 博士前期課程（修士課程）修了に当たっては，以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) 動物，微生物などに由来する遺伝子，細胞，タンパク質などの機能解析とその応用，食品科学における危険要因の低減，除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用，更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用，野生動物の保全・人間社会との軋轢の軽減などの研究領域に関する高度な専門知識を習得している。
 - 2) それぞれの専門領域における科学的な課題設定方法，論理的思考，各分野の先端的知識の収集及び実験手法など基本的な研究技術を習得している。
 - 3) それぞれの研究成果を学会等において公表するために必要なプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身に付けている。

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、所定の修業年限である3年以上在学し、必修科目12単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士(学術)の学位を与える。
2. ただし、博士後期課程に2年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士(学術)の学位を与える。
3. 博士後期課程修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識(専門的知識と見識)並びに研究技術を習得している。
さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。
4. 上記3点の能力を通じて、人と動物の健康社会に貢献する高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者としての資質を備えている。

□ 獣医学専攻 博士課程

区分	単位数
必修	20
選択	10
計	30

取得可能学位 博士(獣医学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(動物応用科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程にあつては、高い倫理観を養うとともに、コメディカルな分野に新しいバイオテクノロジーを導入した臨床検査技術学と生命科学及び環境科学にかかわる諸問題を解明する基礎的かつ応用的能力を身に付けて修了させる。
2. 高度な専門知識と技術を備えた有能な中堅研究者、技術者又は統括指導者を育てる。
3. 教育研究職等で活躍できる能力を持った人材を養成する。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、技術者又は統括指導者になる能力を身に付けて修了させる。
2. 自立した研究者、技術者又は指導者として活躍できる人材を養成する。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程[※]

1. 人間社会の身近な環境衛生政策分野に関連する自然科学・社会科学の両方の専門知識を備えた能力を身に付けて修了させる。
2. 環境衛生政策を直接担当する地方公共団体等の行政機関や環境衛生に関する一般企業において活躍できる能力を持った人材を養成する。

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

□ 環境保健科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(環境保健科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境保健科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境衛生政策専攻 修士課程

区分	単位数
必修	22
選択	8
計	30

取得可能学位 修士(環境衛生政策)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

● 博士・修士学位授与数 (平成27年度)

平成28年3月31日現在

研究科・専攻等	学位授与数 (人)			
	修士	博士(獣医学)	博士(学術)	
獣医学研究科	獣医学専攻	-	6	-
	動物応用科学専攻	25	-	2
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※1	-	1	1
	小計	25	7	3
環境保健学研究科	環境保健科学専攻	5	-	0
	環境衛生政策専攻※2	0	-	-
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※1	-	-	1
	小計	5	-	1
合計	30	7	4	

※【麻布大学学位規則】第3条第3項

博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

④ 平成27年度卒業生・修了者数及び進路状況

(人)

	麻布大学					麻布大学大学院				計
	獣医学科	動物応用科学科	臨床検査技術学科	食品生命科学科	環境科学科	獣医学専攻	動物応用科学専攻*	環境保健科学専攻*	環境衛生政策専攻	
卒業生・修了者数	142	136	77	79	113	6	27	5	0	585

進路状況

就職	109	102	57	72	96	6	23	3	0	468
進学	10	25	7	4	8	0	2	1	0	57
その他(浪人等)	23	9	13	3	9	0	2	1	0	60

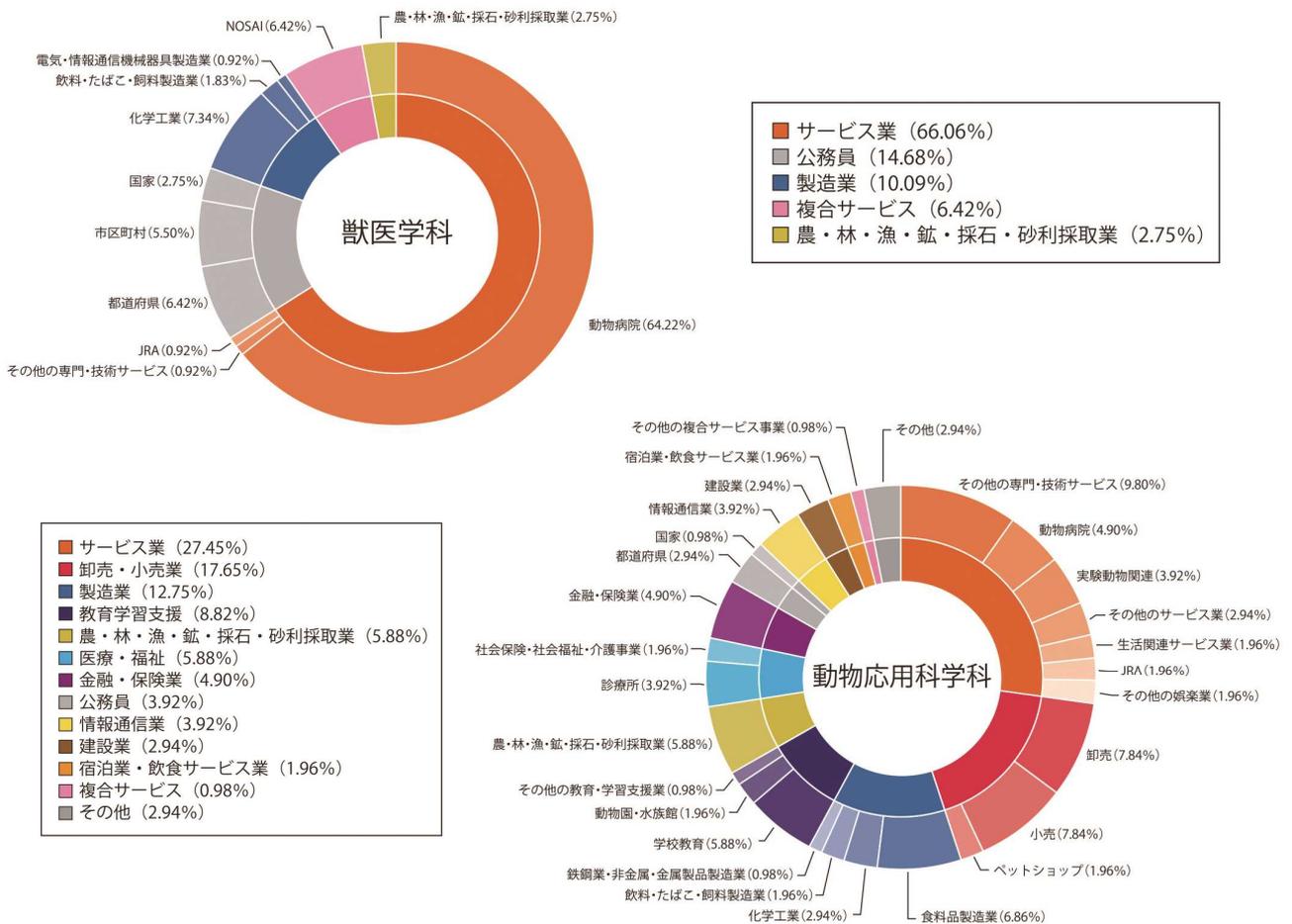
[進学先内訳]

自大学院	4	17	1	1	3	0	1	0	0	27
他大学院	4	1	0	2	3	0	1	0	0	11
自大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他大学	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門学校・各種学校	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
その他(留学等)	2	5	6	0	1	0	0	1	0	15

*麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻及び環境保健学研究科環境保健科学専攻の欄は、博士前期課程及び博士後期課程を合算した人数である。

*環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

● 就職先内訳 [麻布大学]

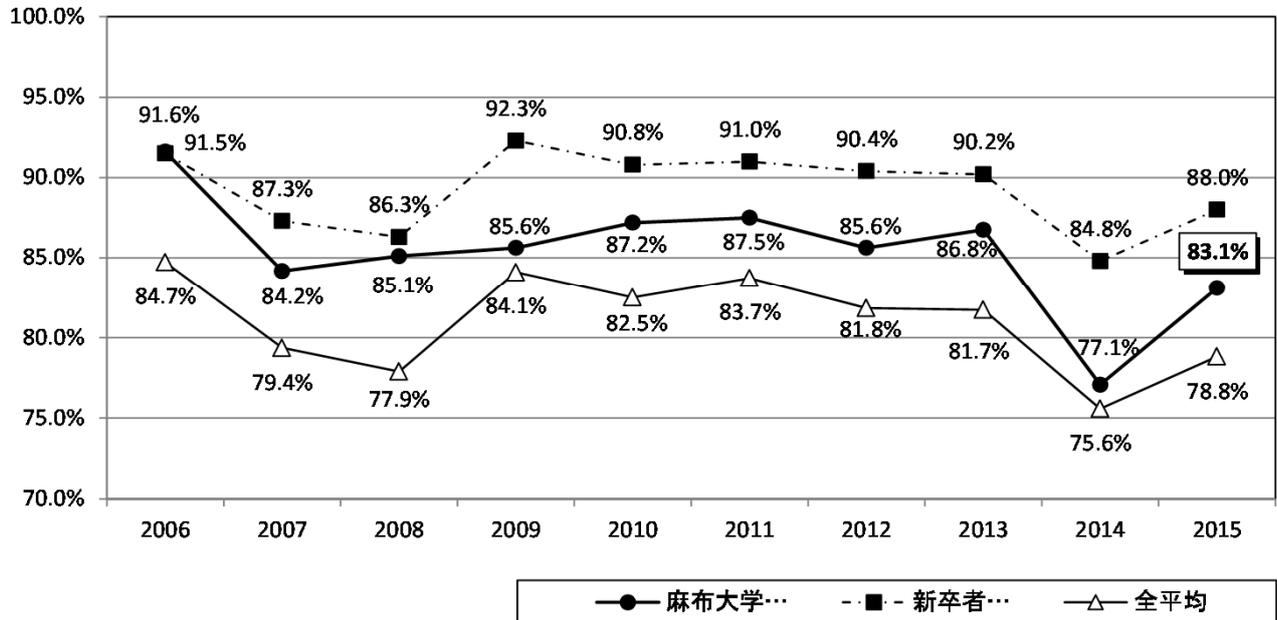


⑤ 国家試験合格率の推移

◆ 獣医師国家試験

(麻布大学 獣医学部獣医学科)

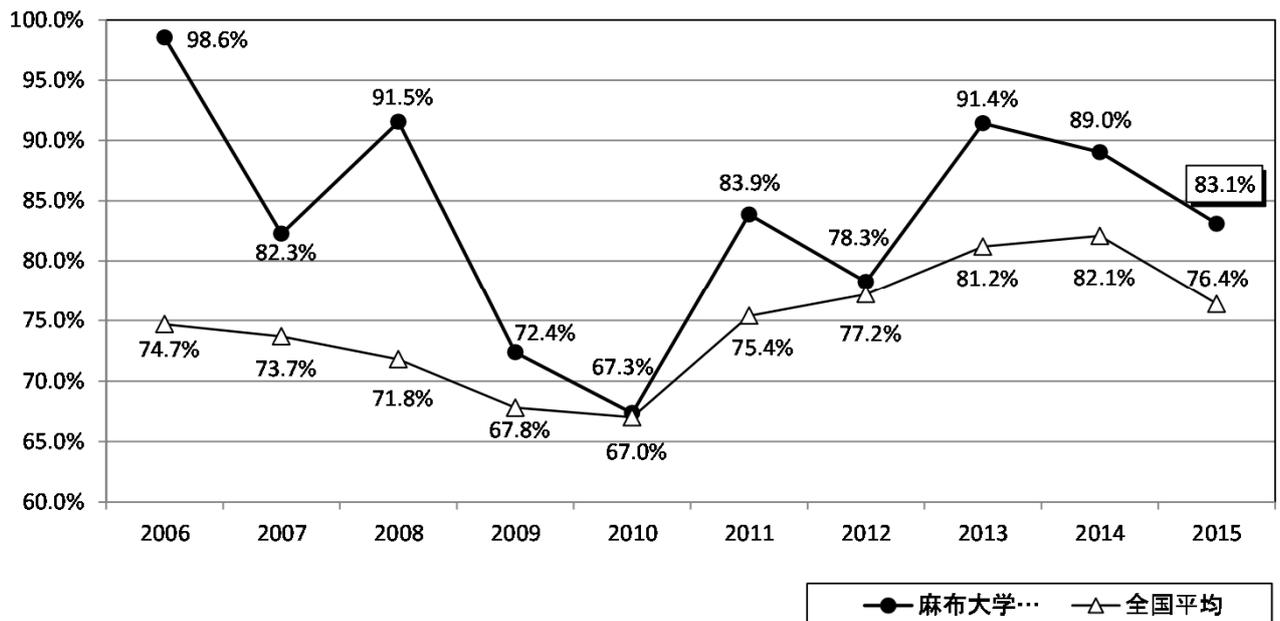
獣医師国家試験合格率推移



◆ 臨床検査技師国家試験

(麻布大学 環境保健学部衛生技術学科, 生命・環境科学部臨床検査技術学科)

臨床検査技師国家試験合格率推移



※ 2011(平成23)年度受験者から生命・環境科学部 臨床検査技術学科入学者が受験

⑥退学者数・中退率・留年者数

◆ 麻布大学

平成28年5月1日現在

● 退学者数

(人)

学部	区分	学科	獣医学部						生命・環境科学部							
			獣医学科			動物応用科学科			臨床検査技術学科			食品生命科学科			環境科学科	
年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
1年次	男	1	1	1	1	4	4	1	0	1	0	5	1	4	4	7
	女	0	0	0	2	3	1	1	3	2	1	1	2	0	1	3
	計	1	1	1	3	7	5	2	3	3	1	6	3	4	5	10
2年次	男	2	1	2	1	2	0	4	5	0	0	2	1	3	2	
	女	0	0	0	3	1	1	3	1	2	0	0	1	1	3	1
	計	2	1	2	4	3	1	7	6	2	0	0	3	2	6	3
3年次	男	1	1	2	2	0	1	1	0	1	3	1	1	1	0	0
	女	1	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0
	計	2	2	3	2	0	2	1	0	1	5	1	1	2	0	0
4年次	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
	女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
5年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5	6	6	9	10	8	11	9	6	6	7	7	8	13	15	

● 中退率 (平成27年度)

学部・学科	中退率
学 獣	0.6%
部 医	1.6%
境 生	3.0%
科 命	1.7%
学 部 環	1.9%

● 留年者数 (平成27年度)

(人)

学部・学科	留年者数
学 獣	37
部 医	6
境 生	15
科 命	6
学 部 環	19

※ 中退率＝平成28年5月1日現在での平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)退学者数÷平成27年度在籍学生数(平成27年5月1日現在)×100

◆ 麻布大学大学院

平成28年5月1日現在

● 退学者数

(人)

研究科	区分	専攻	獣医学研究科						環境保健学研究科									
			獣医学専攻博士課程			動物応用科学専攻博士前期課程			動物応用科学専攻博士後期課程			環境保健科学専攻博士前期課程			環境保健科学専攻博士後期課程			環境衛生政策専攻修士課程
年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
1年次	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	女	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
2年次	男	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3年次	男	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—
	女	1	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—
	計	1	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—
4年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2	2	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

● 中退率 (平成27年度)

研究科・専攻	中退率
研 獣	8.3%
究 医	0.0%
科 学	11.1%
環 境	0.0%
保 健	0.0%
科 健	0.0%

● 留年者数 (平成27年度)

(人)

研究科・専攻	留年者数
研 獣	1
究 医	0
科 学	1
環 境	1
保 健	0
科 健	0

※ 中退率＝平成28年5月1日現在での平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)退学者数÷平成27年度在籍学生数(平成27年5月1日現在)×100

⑦学習環境

平成28年3月31日現在

● キャンパス等

区分		敷地面積 (㎡)
淵野辺キャンパス	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71	110,078.31
敷地面積合計		110,078.31

● 建物

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建	
淵野辺キャンパス 麻布大学	獣医学部棟	獣医学部実習室, 研究室, 実験サポート室, 共用機器室	19,348.37	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根7階建	
	生命・環境科学部棟	生命・環境科学部実習室, 研究室, 高大共用講義室, 共用機器室, 自習室	10,323.25	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根6階建	
	6号館	研究室, 食肉加工場, 水生生物飼育室	2,685.03	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	
	7号館	研究室, 手術室, X線室	1,233.86	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	
	8号館	講義室, コンピュータ・LL教室, 百周年記念ホール, 事務局各課	6,387.84	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺8階建	
	9号館	メディアステーション, 講義室, 研究室	4,704.40	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	
	大教室		468.22	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	
	生物科学総合研究所	事務局, 飼育室, 実験室	3,423.22	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建	
	本館	事務局各課, 学生相談室, 就職相談室, 会議室	1,656.95	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	
	学術情報センター(図書館)	図書館	1,846.96	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建地下1階	
	獣医臨床センター	附属動物病院, 小動物飼育施設, ハイテク・リサーチセンター	5,583.43	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建	
	産業動物臨床教育センター	講義室, 実習室, 手術室, X線室, ゼミ室	2,911.30	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	「動物トレーニング実習」を本格的に行う施設	214.11	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	
	豚実習場		238.43	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建	
	教育用動物繋留施設		164.03	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	学生ホール	生協, 部室	1,276.08	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	クラブハウス1	部室, 音楽練習場, 土俵, ボクシング練習場	729.75	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	百十周年記念会館		764.01	鉄骨造ルーフィング葺2階建	
	カフェテリアさくら	学生食堂	578.81	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	
	テラスいちよう	学生食堂, 生協, 同窓会事務室, 会議室	1,868.96	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	ウィンドチャイム	ラウンジ, セミナールーム, 談話室	176.04	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建	
	空手道場		197.55	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	小動物舎1		280.50	鉄骨造陸屋根平家建	
	小動物舎2	手術室, 飼育室	213.84	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	
	鶏舎1		51.84	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	鶏舎2		25.92	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	厩舎		476.97	鉄骨造鉄板葺一部2階建	
	厩舎(小)		18.90	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	
	豚舎		597.34	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	牛舎		728.72	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	
	危険物倉庫		7.68	コンクリートブロック造波スレート葺平家建	
	倉庫(守衛所横)		38.66	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	
	正門守衛所		28.57	鉄筋コンクリート造平家建	
	東門守衛所		20.12	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	南門守衛所		8.82	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	特別高圧変電所		223.23	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建	
	標本保管庫		138.78	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建	
	ゴミ置場		55.29	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	喫煙室		11.71	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
	床面積小計			69,707.49	

※太字は新規施設

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス 附属高等学校	高校1号棟	教室, 食堂, 売店	4,325.82	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	高校2号棟	教室, 事務室	3,026.29	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	高校3号棟	教室, 職員室	1,091.98	軽量鉄骨造2階建
	麻布獣医学園アリーナ		3,547.81	鉄骨鉄筋コンクリート造ステンレス銅板葺2階建
	武道館		777.49	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	高校部室	部室	337.60	鉄骨造鉄板葺2階建
	高校倉庫		138.80	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建
	総合グラウンド管理棟	体育教員室, 更衣室	222.31	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	総合グラウンド倉庫棟	倉庫	280.80	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
		床面積小計	13,748.90	
床面積合計			83,456.39	

● 厚生補導施設等

施設等	概要
学生ホール	1階には談話室, シャワー室, 生協店舗(売店)等があり, 2階にはクラブ部室(25室)がある。学生は, 憩いとコミュニケーションの場として活用している。
クラブハウス1	学生ホールに隣接して建設しており, 1階には防音設備完備の音楽練習場, 弓道場, 相撲部土俵, ボクシング練習場があり, 2階には学生自治会及びクラブ部室(11室)がある。学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
麻布総合グラウンド	敷地面積は15,906㎡。各種球技(野球, サッカー, ラグビー等)及び陸上競技に使用できる総合グラウンドである。 学生は, クラブ活動等で利用するほか, 大学祭などの各種イベントの会場として活用している。また, 附属高等学校では, 授業や部活動等で大いに利用している。
麻布総合グラウンドの管理棟・倉庫棟	麻布総合グラウンド西側に大学と附属高等学校の共同施設として建設。管理棟2階には, 多目的室(2室)があり, クラブハウス2と同様の設備がそろう, 筋力トレーニングやミーティング等に利用できる。倉庫棟には広い収納スペースがある。
百十周年記念会館	創立百十周年を記念し, 平成14年10月に竣工した。創立125周年記念事業の一環として, 麻布大学の博物館に改修し, 平成27年9月に開館した。
バーベキュー場	テラスいちょうの北側に設置しており, 学生はルールを厳守の上, 懇親の場として活用している。
ラウンジ	獣医学部棟1階の一部を, ラウンジとして開放している。学生は, 授業の合間の休憩や懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
自習室	生命・環境科学部棟の自習室に加え, 獣医学部棟1階115室, 116室及び117室を学生用自習室として開放している。なお, 116室及び117室については, 11月初旬から2月下旬にかけて, 獣医師国家試験を控えた獣医学科6年次学生優先の自習室としている。
大学テニスコート	敷地面積は1,517.7㎡, 設置コートは2面。学生ホールの北側に設置しており, 学生は, クラブ活動等で利用している。
附属高等学校テニスコート	敷地面積は1,424.5㎡, 設置コートは2面。附属高等学校2号棟の北側に設置しており, 主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用される。
武道館	床面積は, 777.49㎡。1階には柔道場があり, 2階には剣道場がある。主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用されるほか, 大学の学生も, クラブ活動等で使用している。
附属高等学校食堂・売店	附属高等学校1号棟1階に設置しており, 食堂の収容数は120席である。また, 食堂の隣には生協が運営する売店を設置している。生徒等は, 昼食時に利用するほか, 憩いの場として活用している。
カフェテリアさくら	創立125周年記念事業の一環として, 平成26年3月に竣工した学生食堂(214席)であり, 昼食のほか朝食や午後の喫茶を利用することができる。また, 授乳室を設けており, 教職員や来客への福利厚生にも寄与している。
テラスいちょう	創立125周年記念事業の一環として, 平成27年3月に竣工した。生協が運営するカフェテリア方式の学生食堂(270席)と売店があり, 2階には学生が自習・談話できるホール(224席), セミナーやグループ学習といった様々な用途に利用可能な多目的室3室, 教職員用の会議室及び麻布大学同窓会の事務室がある。
ウインドチャイム	創立125周年記念事業の一環として, 平成27年8月に竣工した。ペットを同伴して利用が可能である。屋内には, プロジェクタ投影可能な壁, チョークボードとして利用できる壁, コンビニエンスストアの商品を陳列する自動販売機, バントリー, リードフック, 充電可能なコンセントが備えられ, 多目的に利用できる。屋外には, テラス席を設置し, リードフック, 足洗い用シャワーを備えている。また, 隣接するドッグランも活用することができる。

※太字は新規施設

⑧ 学生納付金

◆ 麻布大学

● 平成27年度以降入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科		年次	1年次		2年次以降	
			前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	食品生命科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	環境科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
実験実習費		100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。ただし、附属高等学校特別入学試験に合格して入学した場合の入学金は、免除とする。
 2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

● 平成20年度から平成26年度入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科・コース		年次	1年次		2年次以降		
			前期	後期	前期	後期	
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000		
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	食品生命科学科	食の安全コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	食品生命科学科	バイオの科学コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	環境科学科	環境技術コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	350,000	350,000	425,000	425,000
			実験実習費	—	—	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
		合計	800,000	550,000	675,000	675,000	
		環境科学科	環境と社会コース	入学金	250,000	—	—
施設設備費				150,000	150,000	100,000	100,000
授業料				350,000	350,000	350,000	350,000
実験実習費				—	—	—	—
教育充実費	50,000			50,000	50,000	50,000	
合計	800,000	550,000	500,000	500,000			

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。ただし、附属高等学校特別入学試験に合格して入学した場合の入学金は、免除とする。
 2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

● 平成19年度以前入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科		年次	1年次		2年次以降	
			前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		

- 【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。
 2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

◆ 麻布大学大学院

(単位 円)

項目	区分 年度	動物応用科学専攻 博士前期課程		獣医学専攻博士課程・ 動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻 (修士課程)		環境保健科学専攻 博士前期課程		環境保健科学専攻 博士後期課程	
		初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降
学納金	入学金	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—
	授業料	600,000	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	実験・実習費	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	施設設備費	150,000	—	150,000	—	150,000	150,000	150,000	—	150,000	—
	合計	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000	900,000	650,000	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付で廃止

- 【注】 1 施設設備費は本学を卒業した者に限り免除とする。
 2 本学の博士前期課程修了者が博士後期課程に入学した場合の入学金は免除する。

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学学則

第62条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認める場合、その他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費・教育充実費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

■ 麻布大学大学院学則

第19条の2 経済的理由によって学納金納付が困難であり、かつ学業が優秀と認めた場合又はその他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

⑨ 学生支援と奨学金

● 学生支援体制（麻布大学・麻布大学大学院）

支援内容	支援組織等	場所	具体的な支援内容等
就職支援・進路相談	キャリア支援・地域連携課	8号館1階	進路・就職についての相談、斡旋、就職相談室の受付、就職に必要な事務手続、キャリア形成支援、インターンシップ、就職活動関係講座等の開催、企業等説明会の開催など
	就職閲覧室	8号館1階	就職及び進学に関する資料の展示・配付、求人情報の提供など
	キャリア・就職相談室	8号館1階	相談員による就職相談、提出書類の添削、模擬面接など
教育支援・履修支援	附属教育・推進センター	8号館1階	リメディアル授業の開講、チューターによる個別指導、履修相談、学生による授業評価の実施など
	教務課	8号館1階	教職課程、各種資格、単位互換、転学部・転学科、学外実習に関すること。その他、履修・成績に関する教務全般、履修相談、休学、退学、各種証明書の発行に関すること
	学生支援・国際交流課	8号館1階	入学前教育、学生の個人情報の変更に関すること
研究支援	研究推進・支援本部 学術支援課	8号館2階	知的財産権等研究成果及び競争的資金を含む外部資金（共同研究、受託研究など）に関すること等の研究活動支援全般 特許や起業に関する学内セミナーの案内、大学院学生に対する日本学術振興会の特別研究員事業の案内
生活支援	学生支援・国際交流課	8号館1階	学生生活相談、各種証明書の発行、自転車・ロッカーの登録、課外活動支援など
経済支援	学生支援・国際交流課	8号館1階	各種奨学金の案内、学納金の徴収猶予・免除等の相談、アルバイト求人案内など
保健・衛生	健康管理センター	8号館1階	健康相談、応急処置、定期健康診断、健康診断証明書の発行、検査など
メンタルヘルス	学生相談室	本館2階	カウンセラー（学外の臨床心理士等）による相談
ハラスメント防止	ハラスメント防止委員会	—	セクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止と被害からの救済・回復、啓発活動
	セクシュアル・ハラスメント等相談員	—	学内相談員（教職員）によるハラスメント相談
	ハラスメント相談室	本館2階	学外相談員によるハラスメント相談

◇ クラス担任 ◇

麻布大学では、学生の最も身近な相談相手として、各学科各年次に2～3人の「クラス担任」を置いている。クラス担任は、クラス全体の問題を始め、学生生活で直面する学習上の問題、健康、生活、経済面などの個人的な悩みについても相談に応じ、助言等を行っている。

● 奨学金

種類	貸与の種類	対象・条件	金額
麻布大学奨学金	無利子	なし	学納金相当額
麻布大学父母会奨学金	無利子	なし	学納金相当額
麻布大学同窓会奨学金	無利子	なし	学納金半期相当額
日本学生支援機構 (JASSO)	第1種	学部学生	
		自宅通学者	54,000円又は30,000円より選択（月額）
		自宅外通学者	64,000円又は30,000円より選択（月額）
		大学院学生（修士・博士前期）	50,000円又は88,000円より選択（月額）
	大学院学生（博士後期）	80,000円又は122,000円より選択（月額）	
	第2種	有利子	学部学生
		大学院学生 （修士・博士前期・博士後期）	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円より選択（月額）

● 平成27年度 各種奨学金貸与状況

平成28年3月31日現在

■ 麻布大学

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	小計	合計
麻布大学奨学金		0	1	1	1	2	0		5
麻布大学父母会奨学金		1	0	1	1	0	0		3
麻布大学同窓会奨学金		0	0	0	0	0	0		0
日本学生支援機構奨学金(JASSO)		212	251	203	206	76	59		1,007
獣医学科 (学生数891人)	第1種	16	27	12	32	29	24	140	360
	第2種	28	37	36	37	47	35	220	
	(併用者)	(9)	(11)	(4)	(9)	(17)	(9)	(59)	
動物応用科学科 (学生数558人)	第1種	15	16	17	16	-	-	64	192
	第2種	29	45	26	28	-	-	128	
	(併用者)	(4)	(8)	(4)	(2)	-	-	(18)	
臨床検査技術学科 (学生数365人)	第1種	14	12	9	6	-	-	41	161
	第2種	30	42	25	23	-	-	120	
	(併用者)	(5)	(6)	(2)	(3)	-	-	(16)	
食品生命科学科 (学生数360人)	第1種	14	10	11	9	-	-	44	139
	第2種	28	25	19	23	-	-	95	
	(併用者)	(4)	(2)	(2)	(2)	-	-	(10)	
環境科学科 (学生数424人)	第1種	9	9	12	7	-	-	37	155
	第2種	29	28	36	25	-	-	118	
	(併用者)	(4)	(2)	(3)	(2)	-	-	(11)	
合計		213	252	205	208	78	59	-	1,015

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

■ 麻布大学大学院

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	小計	合計
日本学生支援機構奨学金(JASSO)							
獣医学専攻 博士課程	第1種	2	0	2	2	6	6
	第2種	0	0	0	0	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
動物応用科学専攻 博士課程前期	第1種	10	9	-	-	19	22
	第2種	2	1	-	-	3	
	(併用者)	(0)	(1)	-	-	(1)	
動物応用科学専攻 博士課程後期	第1種	2	0	2	-	4	4
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程前期	第1種	0	2	-	-	2	3
	第2種	0	1	-	-	1	
	(併用者)	(0)	(1)	-	-	(1)	
環境保健科学専攻 博士課程後期	第1種	0	0	0	-	0	0
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境衛生政策専攻 修士課程	第1種	0	0	-	-	0	0
	第2種	0	0	-	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
合計		16	13	4	2	-	35

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

⑩ 学生表彰制度

◆ 麻布大学

■ 学業成績優秀者

年度始めに、各学科から年次ごとに原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状・副賞及び奨学金が授与される。なお、この賞は複数回受賞することができる。また、卒業認定時に、越智賞受賞者を除く各学科から原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は卒業式に行われ、賞状及び副賞が授与される。

■ 越智賞

麻布獣医学園越智基金により、昭和63年度から設けられた制度で、毎年度の卒業生で最も学業成績及び人物が優秀な者に対して、各学科1人を表彰する。表彰は、卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

■ 増井光子賞

麻布獣医学園増井光子基金により、平成24年度から設けられた制度で、学部学生及び大学院学生で、専門領域において、各種の受賞など学会等で高く評価され、今後の可能性が期待されると認められる者及び社会活動等で顕著な功績を上げた者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状と副賞が授与される。(授与者数:若干名)

■ 古泉賞

麻布獣医学園古泉基金により、平成27年度から設けられた制度で、毎年度の学部の卒業生のうち、卒業論文の評価が最も高く、かつ人物が優秀な者を表彰する。(表彰開始は平成28年度から)

■ 学生功労賞

本学の学生及び団体が、スポーツ若しくは文化活動において、顕著な業績を上げ、又は社会に対して模範となることを行い、もって本学の名誉を著しく高めた場合に表彰する。表彰式は次年度6月に行われることとなり、賞状と副賞が授与される。(年間表彰予定数:個人5人, 3団体)

■ 日本獣医師会優等卒業生

日本獣医師会より、獣医学教育の振興のため、獣医学科において最も優秀な卒業生1人に対し、優等卒業生の表彰をする。表彰式は卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

⑪ 学生の課外活動の状況

● 学生団体・生徒会

■ 麻布大学全学学生自治会

麻布大学学部学生全員(獣医学科5, 6年次を除く。)で構成し、全員の民主的精神、自主的活動により、大学生活の維持充実を図り、学生自治の健全化に努め、学風・環境の刷新に資することを目的に活動している。主な活動内容としては、学生大会等で学生から提案された要望などについて、大学と話し合いを行い、学生生活がより充実したものになるように努めているほか、「大学祭」や「学生交流週間」に際し、学生自治会中央委員会が中心になって実行委員会を組織して取り組んでいる。



■ 獣医学科5・6年生会

全学学生自治会とは独立した固有の自治団体として、獣医学科5・6年次の学生によって、中央委員会、国家試験対策委員会、アルバム委員会等を構成し、獣医師国家試験対策、獣医学科卒業記念アルバム作製等を中心とした活動を行っている。

■ 謝恩会実行委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、毎年3月に実施されるそれぞれの謝恩会の企画・運営を行う。

■ 卒業アルバム委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、卒業アルバムの発行に向けて外部業者と共同作業で作製・編集に関する活動を行う。

⑫ 国際交流

平成28年5月1日現在

● 学術交流協定校・機関

■ 学術交流協定校・機関一覧

名称	国名	協定締結年	協定形態
1 アスンシオン大学	パラグアイ共和国	昭和61年	大学間
2 ペンシルヴァニア大学	アメリカ合衆国	平成2年	獣医学部間
3 国立中興大学	台湾	平成9年	大学間
4 全北大学校	大韓民国	平成16年	大学間
5 吉林農業大学	中華人民共和国	平成17年	大学間
6 北京農学院	中華人民共和国	平成18年	大学間
7 チェンマイ大学	タイ王国	平成19年	大学間
8 モンゴル大学	モンゴル国	平成20年	大学間
9 モンゴル科学アカデミー	モンゴル国	平成20年	機関間
10 フスタイ国立公園	モンゴル国	平成20年	機関間
11 モンゴル自然史博物館	モンゴル国	平成20年	機関間
12 国立台湾大学	台湾	平成25年	獣医学部間
13 ベルン大学	スイス連邦	平成27年	獣医学部間

■ 学術交流準協定校

名称	国名	協定締結年	協定形態
1 エディンバラ大学	スコットランド(英国)	平成20年	大学—獣医学部間

● 海外派遣学生数 (平成27年度)

(人)

学部・研究科等	海外派遣学生数	
学 獣 部 医	獣医学科	14
	動物応用科学科	4
生 命 科 学 ・ 部 環 境	臨床検査技術学科	0
	食品生命科学科	0
	環境科学科	0
学部計	18	
研 獣 究 医 科 学	獣医学専攻博士課程	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	0
環 境 研 究 保 健 科 学	環境保健科学専攻博士前期課程	0
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0
研究科計	0	
合計	18	

※ 学術交流協定校への派遣のみを対象としている。

※ 環境保健学研究科環境衛生政策専攻修士課程は、平成28年3月31日付けで廃止

⑬ 産官学連携

	連携機関	連携内容	協定締結年	備考
1	放送大学	単位互換	平成6年	
2	神奈川県内の大学間における学術交流協定 (県内26の大学キャンパスにおける大学院単位互換)	単位互換	平成13年	
3	神奈川県教育委員会	部活動支援学生ボランティア事業	平成17年	
4	相模原市立図書館 (市内7大学・短期大学)	相互協力	平成17年	
5	東京都町田市(町田市学長懇談会)	包括協定	平成18年	
6	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	地域貢献・生涯学習	平成19年	
7	公益財団法人日本盲導犬協会	包括協定	平成20年	
8	一般財団法人C. W. ニコル・アフアの森財団	学術交流	平成22年	
9	かながわ産学公連携推進協議会	産学官連携	平成22年	
10	日本水産株式会社	寄附講座	平成23年	
11	神奈川県(県及び県内農学系4大学)	都市農業振興	平成24年	
12	相模原市教育委員会, 座間市教育委員会	市民大学	平成25年	
13	一般社団法人日本養豚協会	包括協定	平成25年	
14	一般財団法人生物科学安全研究所	包括協定	平成25年	
15	特定非営利活動法人 緑のダム北相模	包括協定	平成25年	
16	大学図書館協力契約 (全国大学図書館)	資料複写	平成25年	
17	独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院	包括協定	平成25年	
18	株式会社日本産業動物管理センター	包括協定	平成25年	
19	愛媛県	就職活動支援	平成26年	
20	相模原市	災害時の動物救護活動	平成26年	
21	神奈川県衛生研究所	連携協力	平成26年	
22	一般社団法人東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会	連携協力	平成26年	平成32年12月 31日まで
23	相模原市	包括協定	平成26年	
24	一般社団法人日本養豚開業獣医師協会	包括協定	平成26年	
25	横浜市教育委員会	教員養成の連携・協働	平成27年	
26	神奈川県農業共済組合	連携協力	平成27年	

⑭ 高大連携協定校

	協定校	連携内容	協定締結年	備考
1	神奈川県立座間高等学校	【大学側】 聴講生徒・研究室体験生徒の受入れ 大学教員による高校への出張講義	平成15年	
2	神奈川県立城山高等学校		平成15年	
3	神奈川県立麻溝台高等学校		平成16年	
4	神奈川県立相原高等学校	【高校側】 教育実習生の受入れ	平成16年	
5	神奈川県立川崎工科高等学校		平成22年	
6	神奈川県立大和東高等学校	【双方】 教育についての情報交換及び交流 その他双方が協議した合意事項	平成22年	
7	神奈川県立相模原高等学校		平成23年	

(3) 研究に関する情報

① 競争的資金等受入状況 (平成27年度)

● 文部科学省及び厚生労働省 科学研究費補助金

交付元	研究種目	件数(件)		交付金額(千円)		
				直接経費	間接経費	計
文部科学省	新学術領域研究	新規	0	0	0	0
		継続	1	14,500	4,350	18,850
	基盤研究(A) 海外	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(A)	新規	1	8,900	2,670	11,570
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(B)	新規	1	3,100	930	4,030
		継続	2	5,700	1,710	7,410
	基盤研究(C)	新規	14	15,200	4,560	19,760
		継続	16	18,500	5,550	24,050
	挑戦的萌芽研究	新規	2	2,500	750	3,250
		継続	1	1,300	390	1,690
	若手研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	若手研究(B)	新規	3	4,900	1,470	6,370
		継続	2	4,200	1,260	5,460
	奨励研究	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	特別研究員奨励費	新規	0	0	0	0
		継続	2	2,000	330	2,330
小計	新規	21	34,600	10,380	44,980	
	継続	24	46,200	13,590	59,790	
厚生労働省	健康安全・危機管理 対策総合研究事業	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	小計	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
合計		45	80,800	23,970	104,770	

※本学教員等が「研究代表者」となっているもの。

● その他の競争的資金等

交付元/研究種目	件数(件)		受入額(千円)
文部科学省 (独立行政法人科学技術振興機構含む)	獣医学部	3	33,837
	生命・環境科学部	1	
経済産業省	獣医学部	1	685
農林水産省	獣医学部	4	11,937
厚生労働省	獣医学部	2	13,070
	生命・環境科学部	2	
受入金額合計(千円)			59,529

② 学内競争的資金の状況（平成27年度）

学内競争的資金	件数		金額(千円)
若手育成研究(パーソナル型)	獣医学部	6	2,330
	生命・環境科学部	2	1,100
	附属動物病院	1	500
若手育成研究(プロジェクト型)	獣医学部	2	3,000
学際型研究		3	3,000
知財展開研究経費	獣医学部	2	5,000
	生命・環境科学部	1	2,000

③ 知的財産データ

(件)

年度 出願・登録	平成27 年度	平成26 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成23 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成20 年度	平成19 年度	平成18 年度	合計
国内特許出願	10	7	7	4	7	3	3	5	4	2	52
海外特許出願	3	9	7	7	4	2	0	2	5	3	42
国内外審査請求	6	5	2	3	3	2	2	3	1	0	27
国内特許登録	3	3	0	1	0	0	0	0	0	1	8
特許登録	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
商標登録	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	4
技術移転(ライセンス, 譲渡等)	4	4	2	4	5	0	2	1	0	0	22

※ 平成18年度～平成27年度の職務発明を対象とする。

④ 受託研究等の受入状況（平成18年度～平成27年度までの推移）

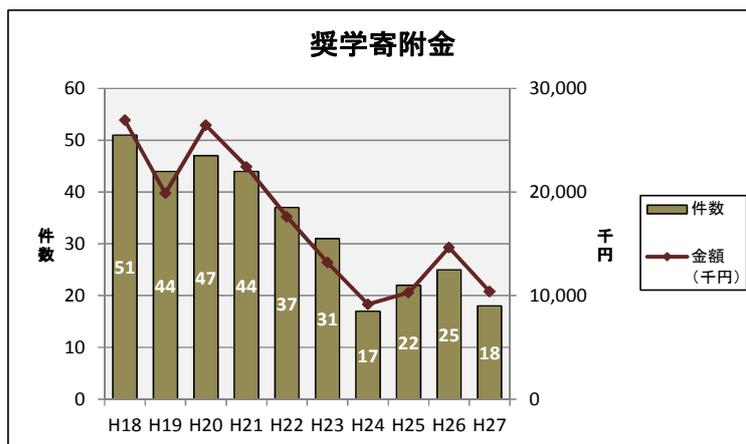
● 受託研究

年度	金額(千円)	件数
18	22,936	9
19	36,799	14
20	20,386	18
21	45,243	21
22	46,989	32
23	28,426	29
24	41,697	39
25	32,889	26
26	34,594	32
27	39,861	37



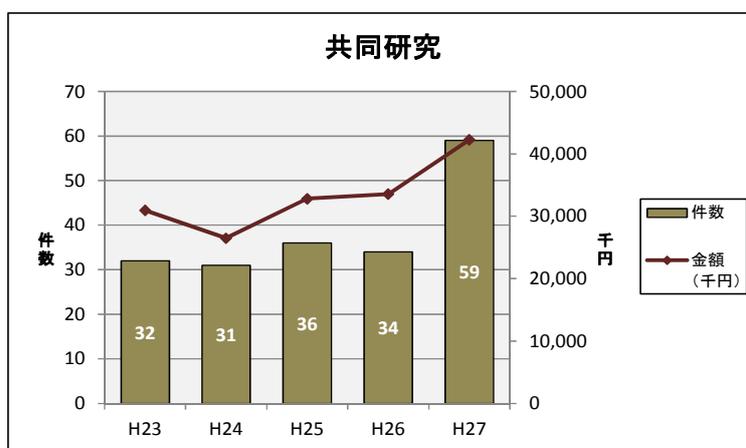
● 奨学寄附金

年度	金額(千円)	件数
18	26,932	51
19	19,864	44
20	26,445	47
21	22,421	44
22	17,612	37
23	13,192	31
24	9,165	17
25	10,295	22
26	14,639	25
27	10,400	18



● 共同研究

年度	金額(千円)	件数
23	30,947	32
24	26,489	31
25	32,830	36
26	33,583	34
27	42,281	59

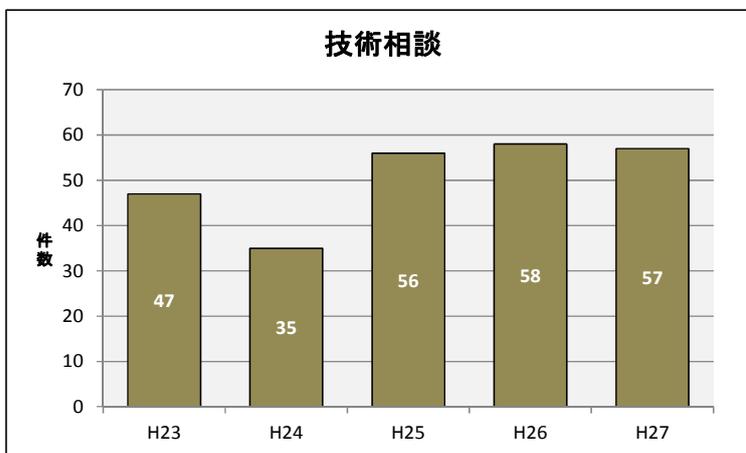


● 寄附講座

年度	金額(千円)	件数
25	20,000	1(継続)
26	10,500	1(継続)
27	10,500	1(継続)

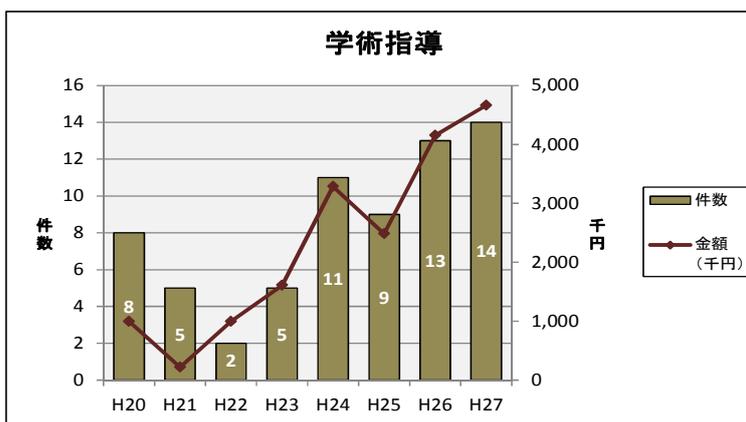
● 技術相談

年度	件数
23	47
24	35
25	56
26	58
27	57



● 学術指導

年度	金額(千円)	件数
20	1,000	8
21	220	5
22	1,000	2
23	1,612	5
24	3,288	11
25	2,485	9
26	4,153	13
27	4,665	14



※件数及び金額は、契約した年度をもって記載した。

(4) 麻布大学附属高等学校に関する情報

① 教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会の建設に貢献する。

② 教育方針

「未来を拓く力の育成」

高校の3年間は、人生の中でも最も多感で、社会人として必要な人格形成に重要な意味をもつ期間と捉え、生徒は、誠実な校風のもと、学業、部活等とともに仲間と学びあうことを通じて、「自己を知り、自らを磨く」ことにより、「自身の未来を拓く力(自らの進路をみつめ、学力の向上、人格的素養を磨く)」を育む。

③ 学校教育目標

- 個性を伸ばし、生徒一人ひとりの進路に応じた確かな学力の定着(学力)
- 基本的な生活習慣(あいさつ・時間厳守・マナーやルールの尊重)を育み、国際化の社会に対応できる能力(情報発信力、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力など)の育成(生きる力)
- 自ら課題をみつけ、自ら考え解決をめざす能力の養成(生きる力)
- 多様な価値観を認め合い、他者を思いやる心の育成(命の大切さ)
- あらゆる生命や自然環境を尊重する精神の涵養(命の大切さ)

④ 教職員数

平成27年5月1日現在

	校長	参与	教頭	教諭	契約講師	非常勤講師	専任職員	合計
教職員数	1	1	1	35	4	32	5	79

(人)

⑤ コース・クラス別生徒数及び必要単位修得数

平成27年5月1日現在

学年	コース・クラス	組	生徒数(人)	必修科目	選択必修科目	ホームルーム活動	単位数合計			
1年	特進クラス	A	39	32	0	1	33			
		B	39							
		C	39							
		D	39							
	進学クラス	E	39							
		F	39							
		G	39							
		H	39							
		I	39							
		J	39							
		K	40							
	L	39								
	M	39								
生徒数小計(人)			508							
2年	理系・特進クラス	A	37	25	7	1	33			
		B	37							
	文系・特進クラス	C	38	22	10					
		D	37							
	理系・進学クラス	E	38	25	7					
		F	38							
	文系・進学クラス	G	40	22	10					
		H	39							
I	40									
生徒数小計(人)			344							
3年	理系・特進クラス	A	35	15	16	1	32			
		B	34							
	理系・進学クラス	C	34							
		D	32							
	文系・特進クラス	E	35					24	6	31
		F	31							
	文系・進学クラス	G	30							
体育系コース		H	21	26	2	29				
生徒数小計(人)			252							
生徒数合計(人)			1,104							

※平成24年度入学者から教育課程を変更。

⑥ 学納金

(単位 円)

年度		初年度	次年度以降
項目			
学納金	入学金	200,000	—
	授業料	396,000	396,000
	教材充実料	24,000	24,000
	施設設備資金	200,000	—
	合計	820,000	420,000

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学附属高等学校学則

第25条の2 本校は、体育系コースに有為な人材確保と育成に資することを目的として、優秀であると認められた場合は、授業料及び入学金を免除することがある。

■ 麻布大学附属高等学校普通科体育系コース規則

第7条 学則第25条の2により、本コースの奨学生として決定され、本校に入学する者について授業料及び入学金を免除することができる。

⑦ 奨学金

種類	貸与・給付の別	対象・条件	金額	
麻布大学附属高等学校普通科体育系コース奨学生	給付(免除)	普通科体育系コースに入学を希望する者で中学校在学中におけるクラブ活動で一定の成績を修めた者	授業料相当額(3年間) 入学金相当額	
麻布大学附属高等学校特待生	給付	(第1学年) (1) 第1学年特進クラスに在籍し、入学試験時の成績が、特に優秀であって、品行方正で他の模範になる者 (第2, 3学年) (2) 第2学年特進クラス又は第3学年特進クラスに在籍し、第1学年及び第2学年の教科・科目の平均点が、原則として80点以上であって、常時出席して品行方正で他の模範になる者	授業料相当額給付(全部又は一部)	
高等学校等就学支援金(国の制度)	給付	高等学校等在学者(3年生全員) 保護者の基準税額(年額)市区町村課税所属割合額が304,200円未満の在学者(1,2年生)	月額9,900円(年額118,800円) 加算支給の場合あり	
神奈川県	私立高等学校等生徒学費補助金	給付	神奈川県内の私立の高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の住民税の内、市町村民税所得割額が一定の基準を満たす場合	入学金100,000円 授業料(年額)74,400円～158,400円 (市町村民税所得割額等の基準により異なる。)
	私立学校生徒学費緊急支援補助金	給付	神奈川県内の私立の小・中学校、高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の前年4月1日以降に生じた会社都合による退職、被災、倒産、障害認定、長期療養、死亡、離婚等により、家計が急変して当年中の所得金額が一定の所得基準に該当する場合	1, 2年生(178,200円～297,000円)(所得により異なる。) 3年生(59,400円～118,800円)(所得により異なる。)
	高等学校奨学金	貸与(無利子)	神奈川県在住で、県内の高等学校等在学者又は保護者が神奈川県在住で、高等学校等在学者 収入要件を満たし、1年生は、学校長が推薦する者、2年生以上は、進級、卒業の見込みがある者で学校長が推薦する者	私立 30,000円、40,000円より選択(月額)
	神奈川県高校生等奨学給付金	給付	生活保護受給世帯及び保護者全員の前年度市町村民税所得割が非課税である世帯で保護者が神奈川県在住の在学者 高等学校等就学支援金の受給資格の認定を受けている者(1,2年生)	生活保護世帯 52,600円 市町村民税取得割非課税世帯 39,800円又は138,000円 (世帯の家族構成により異なる。)
東京都私学財団	私立高等学校等授業料軽減助成	給付	生徒・保護者が共に東京都在住であり、私立の高等学校等に在学する者で、所得等が一定の基準を満たす場合	授業料(年額)104,400円～194,400円(3年生) 授業料(年額)90,000円～135,000円(1, 2年生) (所得等の基準により異なる。)
	私立高等学校等奨学給付金	給付	生徒・保護者が共に東京都在住であり、私立の高等学校等に在学する者で、生活保護受給世帯又は住民税が非課税又は均等割のみの世帯(1,2年生)	生活保護世帯 52,600円 住民税が非課税又は均等割のみの世帯 39,800円又は138,000円 (世帯の家族構成により異なる。)
	東京都育英資金	貸与(無利子)	生徒・保護者が共に東京都在住であり、高等学校等在学者で、経済的理由により修学が困難であること等	私立高等学校 35,000円(月額)

● 奨学金貸与・給付者数

(人)

平成28年3月31日現在

区分	1年次	2年次	3年次	小計	合計
麻布大学附属高等学校普通科体育系コース奨学生	—	—	4	—	4
麻布大学附属高等学校特待生	6	5	4	—	15
神奈川県					
私立高等学校等生徒学費補助金	195	139	70	404	493
私立学校生徒学費緊急支援補助金	1			1	
高等学校奨学金	12	7	8	27	
高校生奨学給付金	28	33	0	61	
公益財団法人東京都私学財団					
私立高等学校等授業料軽減助成	45	31	23	99	104
東京都育英資金	2	2	1	5	
合計	289	217	110	—	616

⑧ 生徒表彰

■ 成績優等賞

学年末成績において、教科・科目の平均点が原則として80点以上の者を対象とし、成績優等賞を授与する。ただし、多数の場合は10名程度以内とする。なお、選考に当たっては評定平均値・順位等を参考にしながら各学年で候補者を選考する。第2, 3学年について、対象者における理系・文系の比率は問わないが、双方から選抜されることが望ましい。

■ 特待生（第1学年）

中学時代、出席常にして品行方正で他の模範となる者で、一般入学試験3教科の合計点が特に高かった者から選考する。対象者は特進クラス入学者から選考する。選考にあたっては、入試委員会で原案を作成し、学校長が決定する。特待生は、第1学年次の学資に充てるため給付される金品を授与し、上限は3名分(1か年)とする。なお、員数内で分割給付することがある。

■ 特待生（第2, 3学年）

成績優等者の中から次年度における第2学年、第3学年次の学資に充てるため給付される金品を授与する生徒を選考する。対象者は特進クラス生徒とし、上限は各学年3名分(1か年)とする。なお、員数内で分割給付することがある。対象者における理系・文系の比率は問わないが、双方から選抜されることが望ましい。

■ 1か年精勤賞

各学年1か年を通じて欠席が1日以内又は欠課時数が年間7時間(SHRも含む)以内の者

■ 3か年精勤賞

各学年間で精皆勤の者を表彰する。

■ 皆勤賞(1か年・3か年)

各学年間欠席・遅刻・早退・欠課が皆無の者を、1・2学年にあつては学年末に、3学年は卒業式に表彰する。なお、3か年皆勤者には、特典として卒業時に記念品が授与される。

■ 特別功労賞

学校の名誉を著しく高めた生徒に対して授与する。

- (1) 運動部・・・関東大会・全国大会・国体・国際試合等の代表となった個人及びチーム
- (2) 文化部・・・研究、作品、発表等で優秀であり本校の名誉を著しく高めた者
- (3) 読書感想文等のコンクールで優秀であり本校の名誉を著しく高めた者
- (4) 人命救助等で善行賞に相当する荣誉又は評価を受けた者
- (5) その他のもので、選考委員会で選出された者

なお、選考委員会の座長は教頭とし、メンバーは学年主任・生徒会指導部長・当該クラブ顧問・事務長・その他座長が特に必要と認めた人員を持って充てる。

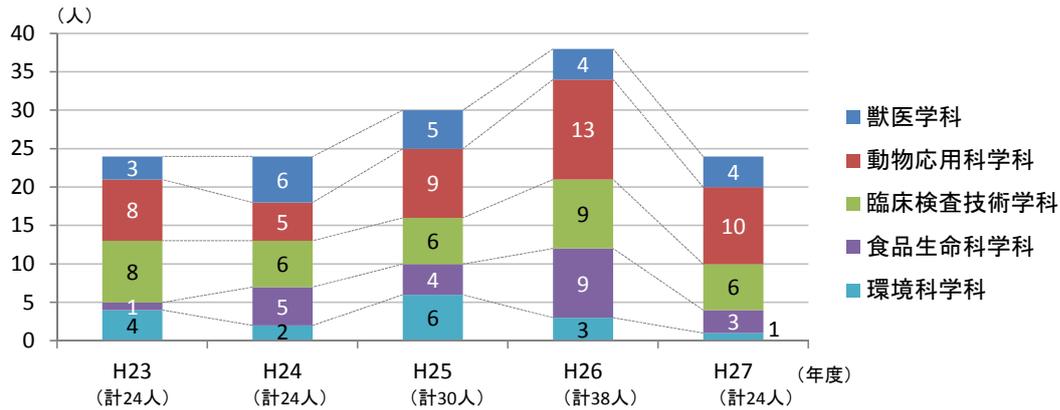
⑨ 平成27年度卒業生数及び進路状況

平成28年5月1日現在

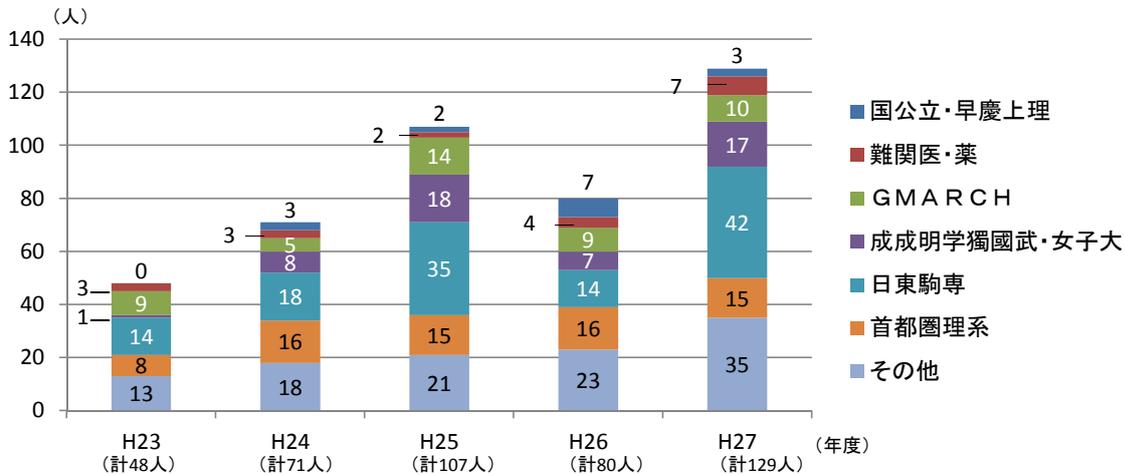
	卒業生数	就職	進学						その他(浪人等)
			麻布大学	国立大学	私立大学	短期大学	専門学校・各種学校	その他(留学等)	
一般コース	229	1	20	0	142	11	33	3	19
体育系コース	21	0	0	0	17	0	3	0	1
合計	250	1	20	0	159	11	36	3	20

(人)

⑩ 麻布大学合格人数の推移



⑪ 難関大学合格人数の推移



※ 国立・早慶上理・・・国立大学，早稲田，慶応義塾，上智，東京理科
 難関医・薬・・・獨協医科，昭和，昭和薬科，東京薬科，帝京薬科，帝京平成，横浜薬科
 GMARCH・・・明治，青山学院，立教，中央，法政，学習院
 成成明学獨國武・女子大・・・成蹊，成城，明治学院，國學院，獨協，武蔵
 日東駒専・・・日本，東洋，駒澤，専修
 首都圏理系・・・芝浦工業，北里，工学院，東京農業，東京都市，東京電機
 その他・・・南山，神奈川，東海

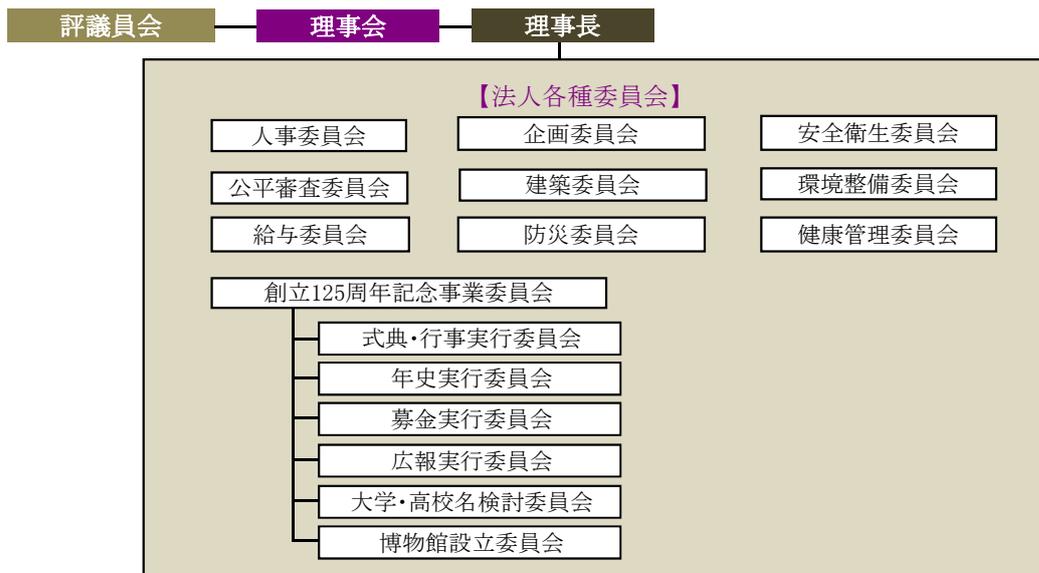
⑫ 平成28年度入学者選抜結果

平成28年5月1日現在

専攻	区分	募集人員	平成28年度												平成27年度			平成26年度			
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者						
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
全日制普通科	推薦入試	50	35	50	85	35	50	85	35	50	85	35	50	85	82	57	139	58	63	121	
	一般入試前期A	単願	40	44	84	40	44	84	40	44	84	40	44	84	78	24	102	54	28	82	
		併願	477	508	985	477	508	985	477	508	985	114	123	237	388	424	812	391	482	873	
		一般入試前期A計	517	552	1,069	517	552	1,069	517	552	1,069	154	167	321	466	448	914	445	510	955	
	一般入試前期B	併願	321	412	733	321	412	733	321	412	733	51	70	121	234	346	580			0	
	一般入試前期C	オープン	5	17	5	22	15	5	20	2	0	2	1	0	1	20	8	28	15	7	22
	一般入試後期(二次・オープン)	若干名	6	5	11	5	5	10	0	1	1	0	1	1	3	4	7	2	3	5	
一般入試前期・後期(二次)計		861	974	1,835	858	974	1,832	840	965	1,805	206	238	444	723	806	1,529	462	520	982		
計		258	896	1,024	1,920	893	1,024	1,917	875	1,015	1,890	241	288	529	805	863	1,668	520	583	1,103	

3. 管理運営の概要

(1) 学園運営に係る会議等



(2) 会議等の開催状況

① 理事会

月 日	会議等	議 事 内 容
4月28日	第1回 理事会	I 審議事項 1) 学校法人麻布獣医学園評議員選任規程等の一部改正(案)について 2) (仮称)ドッグラン・ドッグカフェ(案)について II 報告事項 1) 職員の人事異動について 2) 平成26年度麻布大学・大学院及び附属高等学校の卒業生数及び修了者数について 3) 平成27年度麻布大学・大学院及び附属高等学校の入学生数について 4) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 5) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 6) テラスいちょうの竣工について 7) 附属動物病院(小動物診療部)における課題・問題と対応策について 8) 平成27年度法人各種委員会委員について 9) 第61回臨床検査技師国家試験結果について 10) 大学評議会報告について 11) 高等学校報告について III その他 1) 獣医学部の教員の退職に伴う補充について 2) 平成27年度私立大学等改革総合支援事業への取組について 3) 平成27年度第1回(通算第5回)創立125周年記念事業委員会開催予定について 4) 平成27年8月の役員懇談会の開催について

月 日	会議等	議 事 内 容
5月28日	第2回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻の学生募集停止(案)について 2) 中期目標・中期計画(平成27年度～平成32年度)(案)について 3) 平成26年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 4) 麻布大学附属高等学校における平成28年度教員要望(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 創立125周年記念事業委員会及び実行委員会報告について 2) 競争的資金等(公的機関)の獲得状況について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 4) 豚実習場の竣工について 5) (公財)大学基準協会の大学評価(認証評価)結果に対する改善報告書の検討結果について 6) 高等学校運営会議報告について 7) 大学報告について 8) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校法人麻布獣医学園評議員選任規程等の一部改正(案)について
5月28日	第3回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校法人麻布獣医学園評議員選任規程等の一部改正(案)について 2) 中期目標・中期計画(平成27年度～平成32年度)(案)について
6月30日	第4回 理事会	<p>I 審議事項</p> <p>なし</p> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 4) 学校法人における会計処理等に関する実態調査について 5) 大学報告について 6) 高等学校報告について 7) 大学教員の注意処分について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「(仮称)AZABU Pig Research Center」構想の経過について

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
7月28日	第5回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 学校法人麻布獣医学園事務組織の改組(案)について 3) 高校校舎建築工事(案)について 4) 学校法人麻布獣医学園情報セキュリティ基本方針(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員(大学教員)の長期出張について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 3) 第1・四半期の財務状況等報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 5) 神奈川県による私立学校検査の実施結果について 6) 平成27年度東日本大震災被災学生への支援について 7) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 8) 大学報告について 9) 高等学校報告について 10) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①有限責任監査法人トーマツ「平成26年度監査覚書」について ②古泉巖基金の創設について ③附属高等学校から麻布大学への受験制度について ④学園の情報システムのリプレースに係る進捗状況について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 臨時理事会の開催について 2) 役員懇談会について
8月26日	第1回 臨時理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学いのちの博物館の設置に伴う関係規程の制定及び一部改正(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 高校校舎建築工事の入札結果について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①創立125周年記念式典・祝賀会及び記念講演開催日の予定等について ②在日米国陸軍施設「相模総合補給廠」で発生した火災事案について ③動物病院支援に関するワーキンググループ報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学生生活協同組合との懇談会の開催について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①施設利用について ②増井光子基金について ③9月の役員懇談会の議題について
9月29日	第6回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特任教員の採用日変更(案)について 2) 「非常勤職員の手当に係る取扱いについて」の一部改正(案)について 3) 平成28年度予算編成大綱(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学教員の学外活動実績について 2) 創立125周年記念式典等の実施結果報告について 3) ウィンドチャイムの竣工について 4) 神奈川県による私立学校検査の実施結果通知について 5) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 6) 麻布大学と神奈川県農業共済組合との連携協力に関する包括協定の締結について 7) 情報セキュリティ委員会及び情報化グランドデザイン検討委員会の発足について 8) 大学報告について 9) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各学部学科の基本方針について

月 日	会議等	議 事 内 容
10月23日	第7回 理事会	I 審議事項 1) 麻布大学大学院学則及び関係諸規程の一部改正(案)について 2) 平成27年度補正予算(案)について II 報告事項 1) 職員の人事について 2) 第2・四半期の財務状況報告について (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 3) 創立125周年記念事業報告について 4) 平成27年度麻布大学東日本大震災被災特別措置について 5) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 6) 大学報告について 7) 高等学校報告について III その他 1) 評議員選挙管理委員会委員について 2) 地域連携への取組について
10月23日	第8回 理事会	I 審議事項 1) 平成27年度補正予算(案)について II その他 1) 高等学校校舎建築の進捗状況について 2) ドッグラン・ドッグカフェの利用状況について
11月24日	第9回 理事会	I 審議事項 1) 教員の人事(案)について II 報告事項 1) 職員の人事について 2) 創立125周年記念募金状況報告について 3) 高等学校校舎建築工事の進捗状況について 4) 獣医学部棟及び生命・環境科学部棟の杭打ち工事調査結果について 5) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 6) 高等学校運営会議報告について 7) 大学報告について 8) 高等学校報告について 9) 麻布大学附属高等学校の収容定員・人員計画・施設整備について III その他 1) 附属動物病院における獣医療衛生・教育・作業者の安全確保等管理態勢・対応状況について 2) 麻布大学附属高等学校の教頭の人事について 3) 平成27年12月理事会等の開催日程について

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
12月22日	第10回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 依願退職者の取扱いについて 3) 麻布大学附属高等学校学則及び関係規程の一部改正(案)について 4) 「麻布大学の収容定員・入学定員の見直し」及び「学生生徒等納付金(高等学校を含む。)の値上げ」について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 平成28年度麻布大学推薦等入学試験・編入学試験結果について 3) 創立125周年記念募金状況報告 4) 高等学校校舎建築工事の進捗状況について 5) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 6) 平成27年度「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果について 7) 高等学校運営会議報告について 8) 大学報告について 9) 高等学校報告について 10) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①麻布大学附属高等学校の教頭の人事について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「(仮称)AZABU Pig Research Center」構想の経過について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①本学園近隣の動物病院の動向について
1月26日	第11回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属高等学校教頭の人事(案)について 2) 平成28年度予算要望(人員)(案)について 3) 7号館改修工事及び豚舎建築工事の予算の繰越しについて <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事について 2) 平成28年度麻布大学一般入学試験等の志願者状況について 3) 第3・四半期の財務状況報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 4) 創立125周年記念募金状況報告について 5) 高等学校校舎建築工事の進捗状況について 6) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 7) 大学報告について 8) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成28年度予算概要について 2) 「麻布大学収容定員・入学定員の見直し」及び「学生生徒等納付金の値上げ」について

月 日	会議等	議 事 内 容
2月23日	第12回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 収容定員の変更に係る麻布大学学則の一部改正(案)について 3) 学校法人麻布獣医学園古泉基金運用規程の制定(案)について 4) 平成28年度事業計画(案)について 5) 平成28年度予算(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成28年度麻布大学入学試験結果について 2) 平成28年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について 3) 創立125周年記念募金状況報告について 4) 高等学校校舎建築工事の進捗状況について 5) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 6) 大学報告について 7) 高等学校報告について 8) 大学教員の学外活動実績について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特別表彰について 2) 平成28年度理事会・評議員会開催予定(案)について
2月23日	第13回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成28年度事業計画(案)について 2) 平成28年度予算(案)について <p>II その他【※平成27年度第12回理事会からの持ち越し事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特別表彰について 2) 平成28年度理事会・評議員会開催予定(案)について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①麻布大学附属高等学校副校長の設置について ②学園評議員選挙に係る意見について
3月22日	第14回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 契約職員の継続(案)について 2) 麻布大学附属高等学校副校長の人事(案)について 3) 麻布大学附属高等学校における人員要望について 4) 学長代行(案)について 5) 学生生徒等納付金の変更に係る学則の一部改正(案)について (麻布大学学則, 麻布大学大学院学則及び麻布大学附属高等学校学則) 6) 麻布大学いのちの博物館規則の一部改正(案)について 7) 生命・環境科学部の寄附講座の継続設置について 8) 豚舎及び更衣室棟建築工事(案)について 9) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①教員の人事(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 平成28年度麻布大学一般入学試験等結果について 3) 平成28年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について 4) 創立125周年記念募金状況報告について 5) 高等学校校舎建築工事の進捗状況について 6) 第67回獣医師国家試験結果について 7) 動物病院支援に関するワーキンググループ報告について 8) 高等学校運営会議報告について 9) 大学報告について 10) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成28年度麻布大学・麻布大学附属高等学校の行事予定について

II 事業の概要

② 評議員会

月 日	行 事	議 事 内 容
5月28日	第1回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻の学生募集停止について 2) 創立125周年記念事業委員会及び実行委員会報告について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 4) その他 <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校法人麻布獣医学園評議員選任規程等の一部改正(案)について 2) 中期目標・中期計画(平成27年度～平成32年度)(案)について 3) 平成26年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 4) 評議員選挙管理委員会委員の選出(案)について 5) その他
10月23日	第1回 臨時評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻の廃止及び麻布大学大学院の収容定員変更について 2) 創立125周年記念事業報告について 3) 平成28年度予算編成大綱について 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の竣工について 5) その他 <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度補正予算(案)について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) その他
2月23日	第2回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成28年度麻布大学入学試験結果について 2) 平成28年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について 3) 創立125周年記念募金状況報告について 4) 高等学校校舎建築工事の進捗状況について 5) 収容定員の変更に係る麻布大学学則の一部改正について <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成28年度事業計画(案)について 2) 平成28年度予算(案)について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学教員の学外活動実績ほかについて 2) 平成28年度評議員会開催予定(案)について 3) その他

③ 創立125周年記念事業委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
5月27日	第1回(通算第5回) 創立125周年記念 事業委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創立125周年記念事業の検討及び実施経過について 2. 記念式典・祝賀会のプログラム(案)について 3. 記念式典・祝賀会の招待者(案)について 4. 荒天時の対応(案)について 5. その他
7月21日	第2回(通算第6回) 創立125周年記念 事業委員会 (持ち回り)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前麻布大学同窓会長小野口勝巳氏の「創立125周年記念事業委員会顧問」委嘱について

④ 式典・行事実行委員会

月日	行事	議事内容
5月18日	第1回(通算第6回) 式典・行事実行委員会 (持ち回り)	1. 創立125周年記念式典・祝賀会における招待者(案)

⑤ 博物館設立委員会

月日	行事	議事内容
5月18日	第1回(通算第4回) 博物館設立委員会 (持ち回り)	「麻布大学いのちの博物館」英文名称(案)について
7月20日	第2回(通算第5回) 博物館設立委員会 (持ち回り)	百十周年記念会館改修完了報告(写真) 1. 麻布大学いのちの博物館運営規則(案) 2. 麻布大学いのちの博物館運営委員会規則(案)
9月25日	第3回(通算第6回) 博物館設立委員会 (持ち回り)	1. 前回議事要旨の確定

⑥ 動物病院支援に関するワーキンググループ議事要旨

月日	行事	議事内容
6月30日	第1回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 委員の任期について 2. 支援方法について 3. 専門部会について 4. 動物病院のあり方について 5. 獣医師会との関連について
7月16日	第2回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 麻布大学附属動物病院の諸課題・問題について 2. 専門部会の設置について 3. 附属動物病院の見学について
7月28日	第3回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 動物病院の運営状況について 2. 動物病院診療料金の改正について 3. その他
8月19日	第4回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 動物病院についての風評・意見・事例について 2. このグループとしての産業動物・小動物の方向性について 3. 病院見学での検討課題について 4. 院内教員との意見交換について 5. 動物病院診療料金の改正について 6. 今後の活動について
9月16日	第5回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 動物病院についての風評・意見・事例について(継続) 2. 院内職員との意見交換について(継続) 3. 地域獣医師会・非会委員動物病院への連携・告知について 4. その他
10月16日	第6回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	I 報告事項 1. 附属動物病院職員との意見交換について 2. 動物病院の職員の給与体系・身分・採用体系 3. 現在の求人状況について II 協議事項 1. 今後の附属動物病院教員との意見交換会について(ベテラン・中堅・若手) 2. 報告事項1・2についての今後の対応について 3. 附属動物病院の自己点検・自己評価について 4. 理事会への報告について 5. その他
11月24日	第7回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 附属動物病院教職員との意見交換内容について 2. 地域獣医師会との懇談会について 3. 特任教員等の規則について
12月22日	第8回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 附属動物病院教職員との意見交換内容について
1月27日	第9回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 附属動物病院教職員との意見交換内容について 2. 施設拡充問題について 3. その他
2月24日	第10回 動物病院支援に関する ワーキンググループ	1. 附属動物病院における緊急対応を要する問題点について 2. 近隣獣医師会との交流会の開催について

II 事業の概要

⑦ 給与委員会

月日	行事	議事内容
9月16日	第1回 給与委員会	1. 委員の交代について 2. 平成27年10月1日付け採用者の格付について
1月26日	第2回 給与委員会	1. 平成28年4月1日付け採用者の格付について
3月9日	第3回 給与委員会	1. 平成28年4月1日付け採用者の格付について
3月22日	第4回 給与委員会	1. 平成28年4月1日付け採用者の格付について

⑧ 安全衛生委員会

月日	行事	議事内容
4月27日	第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成27年3月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
5月25日	第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成27年4月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
6月29日	第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成27年5月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
7月27日	第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 職員会推薦委員の任期について 2. 労働災害について 3. 平成27年6月の事務職員の超過勤務状況について 4. 学内巡視の状況について 5. その他
8月31日	第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 職員会からの委員の推薦について 2. 平成27年7月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
9月25日	第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 労働災害について 2. 平成27年8月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
10月26日	第7回 安全衛生委員会	1. 副委員長の指名について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
11月30日	第8回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成27年10月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
12月28日	第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 労働災害について 2. 平成27年11月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
1月25日	第10回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成27年12月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
2月29日	第11回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成28年1月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
3月28日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成28年度安全衛生委員会開催日程及び職場巡視日程(案)について 2. 平成28年度安全衛生管理活動計画表(案)について 3. 平成28年2月の事務職員の超過勤務状況について 4. 学内巡視の状況について 5. その他

⑨ 健康管理委員会

月日	行事	議事内容
10月15日	第1回 健康管理委員会 (持ち回り)	1. 平成28年度事業計画案及び予算案について

⑩ 環境整備委員会

月日	行事	議事内容
6月25日	第1回 環境整備委員会	1. 委員の一部変更について 2. 構内喫煙所の取扱いについて 3. 平成27年度 夏期の節電対策について 4. その他
12月21日	第2回 環境整備委員会 (持ち回り)	1. 学生ホール南側フェンスへの通用門の設置及び通路整備について

⑪ 動物飼育エリア将来構想等検討委員会

月日	行事	議事内容
2月2日	第1回 動物飼育エリア将来 構想等検討委員会	1. 現状と将来構想 2. 各動物舎等の配置案について 3. 豚舎の建物概要案について 4. 整備計画案について 5. その他
3月3日	第2回 動物飼育エリア将来 構想等検討委員会	1. 小動物舎の建築場所及び整備計画案について 2. 豚舎の建築概要について 3. その他
3月28日	第3回 動物飼育エリア将来 構想等検討委員会 (持ち回り)	1. 整備計画の修正について 2. 学長への答申について

⑫ 評議員選挙管理委員会

月日	行事	議事内容
10月30日	第1回 評議員選挙管理委員会	1. 正・副委員長の互選について 2. 評議員選挙に係る変更事項等について 3. 選挙日程(案)について 4. 選挙関連書類(案)について 5. その他
11月25日	第2回 評議員選挙管理委員会	1. 候補者推薦届の「取り消し・内容変更届」(様式第3号)における候補者の承諾について 2. 選挙関連書類の最終確認について 3. 有権者名簿(学内)の確認について 4. 1号評議員選挙実施に係る選挙公示資料(案)の確認について 5. 期日前投票日及び選挙期日(投票日)の担当者について 6. 開票立会人について 7. 有権者登録後の転居者の取扱いについて 8. 2号評議員選挙に係る卒業生への連絡先届出の呼びかけについて 9. 2号評議員選挙に係る麻布大学同窓会への協力依頼について 10. その他
1月21日	第3回 評議員選挙管理委員会	1. 1号評議員選挙候補者の確認について 2. 1号評議員選挙候補者の公示・資料の確認について 3. 期日前投票日及び選挙期日(投票日)の担当者について 4. 開票立会人について 5. 2号評議員選任に係る選挙関連書類の発送状況について 6. その他
1月28日	第4回 評議員選挙管理委員会	1. 1号評議員選挙の開票に当たっての確認事項について 2. 開票及び開票結果の確認について 3. 当選者の公示(案)及び当選通知(案)の確認について 4. 2号評議員選挙に係る卒業生等からの問い合わせに対する取扱いについて 5. その他
2月18日	第5回 評議員選挙管理委員会	1. 各ブロック別有権者登録数の確認について 2. 2号評議員選挙公示資料の確認について 3. 有権者名簿の確認及び閲覧方法について 4. 「立候補・候補者推薦届出」用紙の請求数について 5. 本学園の高校卒業生から選任する評議員について 6. その他
3月18日	第6回 評議員選挙管理委員会	1. 2号評議員選挙候補者の確認について 2. 2号評議員選挙候補者の公示・資料の確認について 3. 選挙ブロックに対する投票のお知らせについて 4. 無投票ブロックに対する通知等について 5. 有権者名簿の閲覧に係る手続書類の確認について 6. 開票立会人について 7. その他

(3) 平成27年度 行事報告

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
4 月	27日 第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 定期健康診断 (～6日)	6日 教授会	3日 学部教務委員会 (持ち回り)	1日 定期健康診断 (～3日)	6日 始業式
	28日 第1回理事会	2日 入学式	8日 情報システム 基礎講習会	7日 教授会	6日 入学者オリエンテーション	7日 入学式
		2日 教職課程委員会 (持ち回り)	27日 学部教務委員会	14日 情報システム 基礎講習会	6日 在学者ガイダンス	7日 全体会議
		3日 入学者オリエンテーション (～7日)		27日 学部教務委員会	6日 情報システム 基礎講習会	8日 オリエンテーション①
		7日 在学者、編入学者 ガイダンス			8日 環境保健学 研究科教授会	8日 在校生授業開始
		8日 授業開始			27日 獣医学研究科 教授会	9日 オリエンテーション②
		13日 生物研運営委員会				10日 健康診断
		15日 部局長連絡会議				11日 後援会役員会
		15日 教学会議				13日 入学者授業開始
		20日 動物病院運営会議				14日 部長会議
		20日 キャリア・就職支援 対策委員会				16日 職員会議
		23日 学生委員会				21日 部長会議
		23日 研究推進・支援 本部会				23日 学年会議
		23日 生涯学習委員会 (持ち回り)				28日 部長会議
		27日 合同地方自治体等 (公務員)説明会 (就職)				30日 部会議
		28日 教職課程委員会				
5 月	18日 第1回(通算第6回) 式典・行事実行委員会 (持ち回り)	6日 就職活動対策 講座(～7/8 毎週水曜日)	6日 教授会	11日 教授会	12日 環境保健学 研究科教授会	7日 学年会議
	18日 第1回(通算第4回) 博物館設立委員会 (持ち回り)	7日 大学院奨学生 選考委員会	20日 学部教務委員会 (持ち回り)		25日 獣医学研究科 教授会	12日 部長会議
	19日 平成26年度決算に 係る学内監査	9日 父母会理事会				14日 職員会議
	20日 第1回学園広報委員会	11日 生物研運営委員会				16日 後援会総会
	25日 第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	13日 教学会議(臨時)				19日 中間試験 (～22日)
	27日 第1回(通算第5回) 創立125周年 記念事業委員会	15日 公務員対策 直前講座(～6/19 毎週金曜日)				21日 部長会議
	28日 第2・3回理事会	20日 学術情報委員会				21日 部会議
	28日 第1回評議員会	20日 部局長連絡会議				28日 体育祭
	20日 教学会議				28日 運営委員会	
	22日 高大連携推進委員会 (持ち回り)				30日 後援会役員会	

	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	
5月		22日 学芸員課程委員会 23日 卒業生子女対象 大学説明会 25日 キャリア・就職支援 対策委員会 25日 国際交流委員会 (持ち回り) 26日 高大一貫推進委員会 27日 研究推進・支援本部会 29日 キャリア形成支援講座 (就職)			
6月	25日 第1回 環境整備委員会 29日 第3回 安全衛生委員会 (持ち回り) 30日 第4回理事会 30日 第2回学園広報委員会 (持ち回り) 30日 第1回動物病院支援に 関するワーキンググループ	1日 情報システム委員会 3日 バイオセキュリティ教育講演 5日 合同NOSAI説明会 (就職) 7日 オープンセミナー 8日 生物研運営委員会 8日 学術情報センター 運営委員会 9日 学業成績優秀者・ 学生功労賞・ 増井光子賞表彰式 12日 高校教員対象 大学説明会 13日 父母会定期 総会・代議員会 15日 動物病院運営会議 16日 競争的資金等管理委員会 17日 教育推進センター 運営委員会 17日 部局長連絡会議 17日 教学会議 22日 キャリア・就職支援 対策委員会 25日 教学会議(臨時) 26日 組換えDNA実験委員会 26日 教務委員会 26日 麻布大学奨学生 選考委員会 29日 研究推進・支援本部会 29日 合同動物病院 説明会(就職)	1日 教授会 16日 学部教務委員会 8日 教授会	5日 学部教務委員会 10日 環境保健学 研究科教授会 22日 獣医学研究科 教授会	2日 部長会議 4日 部会議 9日 部長会議 11日 職員会議 16日 部長会議 18日 学年会議 19日 一般コース 修学旅行 (～24日)1班 (～25日)2班 19日 社会見学 テーブルマナー

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
7 月	16日 第2回動物病院支援に関するワーキンググループ	1日 職務発明審査委員会	6日 教授会	2日 学部教務委員会	8日 環境保健学研究科教授会	2日 部会議
	20日 第2回(通算第5回)博物館設立委員会(持ち回り)	5日 オープンセミナー	7日 学部教務委員会(持ち回り)	13日 教授会	22日 獣医学研究科入学試験(第1期)	2日 期末試験(～8日)
	21日 第2回(通算第6回)創立125周年記念事業委員会(持ち回り)	8日 教職員健康診断	22日 学部教務委員会(持ち回り)		22日 獣医学研究科入学試験(10月期)	9日 運営委員会
	27日 第4回安全衛生委員会	13日 生物研運営委員会			22日 環境保健学研究科入学試験(第1期)	13日 部長会議
	28日 第5回理事会	14日 臨時学生委員会			22日 環境保健学研究科入学試験(10月期)	15日 学年会議
	28日 第3回動物病院支援に関するワーキンググループ	15日 部局長連絡会議			22日 環境保健学研究科入学試験(10月期)	16日 職員会議
		15日 教学会議			27日 獣医学研究科教授会	17日 前期終業式
		15日 研究推進・支援本部セミナー			27日 大学院学位記授与式	18日 後援会役員会
		15日 動物病院運営会議(持ち回り)			27日 大学院学位記授与式	21日 夏期休業(～8月31日)
		17日 学術情報センター運営委員会(持ち回り)			29日 環境保健学研究科臨時教授会	
		20日 高大連携推進委員会(持ち回り)				
		23日 メンタルヘルスセミナー				
		24日 学生委員会				
		27日 教務委員会				
		27日 キャリア・就職支援対策委員会				
		29日 市民大学(～9/2, 毎週水曜全5回)				
		30日 前期定期試験(～8/5)				
	30日 研究推進・支援本部会					
	30日 市民大学(～9/3, 毎週木曜全5回)					
	31日 教員合同研修会					
8 月	19日 第4回動物病院支援に関するワーキンググループ	7日 教学会議(持ち回り)	3日 教授会	3日 学部教務委員会	7日 課程論文発表会(獣医学研究科)	1日 後援会役員会
	26日 第1回臨時理事会	8日 オープンキャンパス(～9日)	29日 AO入試(2次講義レポート)	6日 教授会	7日 課程論文中間発表会(～10日)(獣医学研究科)	1日 部会議
	26日 役員・教職員教育講演会	10日 生物研運営委員会		20日 教授会(持ち回り)	10日 課程論文中間発表会(環境保健学研究科)	6日 公私合同説明会
	31日 第5回安全衛生委員会(持ち回り)	12日 夏期休業(～9/11)				22日 学校説明会
		21日 ヒトゲノム倫理委員会				
		21日 組換えDNA実験委員会				
		22日 父母会仙台会場地区懇談会				
		23日 父母会さいたま会場地区懇談会				
		24日 動物病院運営会議				
		29日 父母会博多会場地区懇談会				
	30日 父母会大阪会場地区懇談会					

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
9 月	10日 麻布獣医学園 創立125周年記念講演会	10日 麻布獣医学会運営委員会	17日 AO入試 (2次面接) (～21日)	1日 教授会 (持ち回り)	9日 環境保健学 研究科教授会	1日 全体会議
	12日 麻布獣医学園 創立125周年記念式典・祝賀会	14日 前期追再試験 (～18日)	24日 学部教務委員会 (持ち回り)		14日 獣医学研究科 教授会	1日 授業開始 3日 部会議
	16日 第1回給与委員会	14日 研究推進・支援 本部取扱補助金 パネル報告会			30日 大学院学位記 授与式	5日 文化祭(～6日)
	16日 第5回動物病院支援に 関するワーキンググループ	16日 部局長連絡会議				15日 部長会議
	17日 第3回学園広報委員会 (持ち回り)	16日 教学会議				17日 職員会議
	25日 第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	17日 ハラスメント防止 研修会(事務職員) (～18日)				24日 学年会議
	25日 第3回(通算第6回) 博物館設立委員会 (持ち回り)	24日 後期授業開始				29日 部長会議
	25日 第6回 博物館設立委員会 (持ち回り)	28日 キャリア・就職支援 対策委員会				
	28日 第1回動物病院支援に 関するワーキンググループ 委員と附属動物病院職員 との意見交換会	28日 動物病院運営会議				
	29日 第6回理事会	30日 麻布大学いのちの 博物館運営委員会				
		30日 就職活動実践 講座(～12/9 毎週水曜日)(就職)				
10 月	15日 健康管理委員会 (持ち回り)	1日 研究推進・支援本部会	5日 教授会	2日 学部教務委員会	14日 環境保健学 研究科教授会	3日 後援会役員会
	16日 第6回動物病院支援に 関するワーキンググループ	1日 競争的資金等管理委員会	10日 附属高特別入試	10日 附属高特別入試	26日 獣医学研究科 教授会	6日 部長会議
	23日 第7・8回理事会	2日 教職課程委員会 (持ち回り)	10日 獣医学科 卒業生後継者 特別入学試験	13日 教授会		10日 麻布大特別入試
	23日 第1回臨時評議員会	4日 麻布環境科学研究会	11日 獣医学科編入学 試験(1次選抜)			13日 中間試験A (～16日)
	26日 第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	4日 オープンセミナー	16日 臨時教授会			15日 部会議
	29日 第4回 学園広報委員会	5日 研究推進・支援本部 セミナー	26日 学部教務委員会			17日 学校説明会
	30日 第1回 評議員選挙管理委員会	7日 組換えDNA実験委員会				20日 部長会議
		8日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				22日 職員会議
		8日 防災訓練				29日 学年会議
		9日 学芸員課程委員会 (持ち回り)				30日 芸術鑑賞会
		9日 教育推進センター運営委員会 (持ち回り)				
		12日 生物研運営委員会				
		13日 研究推進・支援本部セミナー				
		13日 国際交流委員会				
		15日 国際交流委員会 (持ち回り)				
		15日 教職課程委員会				
		15日 合同企業面接会(就職)				
	15日 学術情報委員会					

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部		大学院
10 月		17日 父母会関東甲信越地区個人面談				
		17日 グループ・ディスカッション 対策実習(就職)				
		19日 動物病院運営会議				
		19日 情報システム委員会				
		21日 部局長連絡会議				
		21日 教学会議				
		21日 学術情報センター 運営委員会				
		22日 学生委員会				
		23日 動物慰霊祭				
		24日 大学祭(～25日)				
		25日 ホームカミングデー				
		26日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		27日 ヒトゲノム倫理委員会 (持ち回り)				
		27日 ハラスメント防止 教育講演会				
		28日 組換えDNA実験委員会				
	29日 職務発明審査委員会					
	29日 研究推進・支援本部会					
	30日 業界セミナー:食肉 業界編(就職)					
11 月	4日 予算ヒアリング(～11/30)	1日 プレ入試	2日 教授会	2日 学部教務委員会	4日 環境保健学 研究科教授会	5日 部会議
	24日 第9回理事会	2日 動物病院運営会議 (持ち回り)	3日 獣医学部 編入学試験	9日 教授会	23日 獣医学研究科 教授会	7日 後援会もつ煮会
	24日 第2回動物病院支援に 関するワーキンググループ 委員と附属動物病院職員 との意見交換会	6日 業界セミナー:飲料 業界編(就職)	14日 獣医学部 推薦・特別 入学試験	14日 指定校特別 推薦入学試験		12日 運営委員会
	24日 第7回動物病院支援に 関するワーキンググループ	9日 女子学生リクルート メイクセミナー(就職)	20日 臨時教授会	14日 生命・環境科学部 推薦・特別入学 試験, 編入学試験		17日 部長会議
	25日 第2回 評議員選挙管理委員会	9日 生物研運営委員会	23日 学部教務委員会	19日 臨時教授会		19日 職員会議
	30日 第8回 安全衛生委員会 (持ち回り)	9日 研究推進・支援本部セミナー				20日 球技大会
		16日 研究推進・支援本部セミナー				21日 学校説明会
		16日 学生リクルート ファッションセミナー (就職)				24日 部長会議
		17日 臨時学生委員会				26日 学年会議
		18日 部局長連絡会議				28日 入試個別相談
		18日 教学会議				29日 入試個別相談
		20日 業界セミナー:トイレタリー 業界編(就職)				

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
11月		21日 面接練習会(就職) 23日 キャリア・就職支援 対策委員会 24日 研究倫理啓発セミナー				
12月	21日 第2回 環境整備委員会 (持ち回り) 22日 第10回理事会 22日 第8回動物病院支援に 関するワーキンググループ 25日 第5回学園広報委員会 (持ち回り) 28日 第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	2日 国際交流委員会 (持ち回り) 3日 麻布大学父母会 奨学生選考委員会 4日 業界セミナー:製薬 業界編(就職) 4日 キャリア・就職支援 対策委員会 10日 研究倫理啓発セミナー 12日 父母会理事会 14日 生物研運営委員会 15日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 16日 大学院奨学金返還免除 候補者選考委員会 (持ち回り) 16日 競争的資金等管理委員会 16日 教学会議 16日 部局長連絡会議 16日 麻布大学ファカルティ ディベロップメント委員会 17日 組換えDNA実験委員会 (持ち回り) 17日 麻布大学いのちの 博物館運営委員会 21日 動物病院運営会議 24日 研究推進・支援本部会 24日 動物実験委員会 25日 国際交流委員会 28日 冬期休業(~1/8)	7日 教授会	1日 後期臨床検査技術 学科3・4年次定期 試験(~3日) 3日 学部教務委員会 14日 教授会 14日 後期臨床検査技術 学科3・4年次追再 試験(~16日) 19日 臨床検査技術学科 入学前準備教育の ための学科説明会 19日 環境科学科 入学前準備教育の ための学科説明会 23日 食品生命科学科 入学前準備教育の ための学科説明会	2日 環境保健学 研究科教授会 21日 獣医学研究科 教授会	1日 部長会議 4日 中間試験B (~10日) 10日 職員会議 16日 臨時職員会議 16日 1回内選会議 18日 全校集会 18日 避難訓練 24日 冬期休業(~1/7)
1月	21日 第3回 評議員選挙管理委員会 25日 第10回 安全衛生委員会 (持ち回り) 26日 第2回給与委員会 26日 第11回理事会 27日 第9回動物病院支援に 関するワーキンググループ 28日 第4回 評議員選挙管理委員会	11日 模擬面接実習(就職) 12日 授業開始 13日 麻布大学いのちの 博物館運営委員会 (持ち回り) 16日 大学入試センター 試験(~17日) 18日 生物研運営委員会 18日 動物病院運営会議 20日 部局長連絡会議 20日 教学会議	8日 教授会 23日 動物応用科学科 入学前準備教育の ための学科説明会 25日 学部教務委員会	12日 教授会	13日 環境保健学 研究科教授会 25日 獣医学研究科 教授会	8日 授業開始 8日 全体会議 9日 後援会役員会 12日 部長会議 14日 部会議 21日 学年会議 22日 部長会議 22日 推薦入学試験 22日 入試判定会議 28日 卒業認定会議

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
1月		20日 就活サイト(マイナビ)活用セミナー(就職) 21日 研究推進・支援本部会 21日 学生委員会 25日 キャリア・就職支援対策委員会 26日 生涯学習委員会				
2月	18日 第5回 評議員選挙管理委員会 23日 第12・13回理事会 23日 第2回評議員会 24日 第10回動物病院支援に関するワーキンググループ 29日 第11回 安全衛生委員会(持ち回り)	1日 国際交流委員会 1日 高大一貫推進委員会 1日 後期定期試験(～10日) 2日 第1回動物飼育エリア 将来構想等検討委員会 8日 生物研運営委員会 8日 生物研ワークショップ 9日 動物病院運営会議(持ち回り) 13日 バーチャル採用試験講座(就職) 15日 公務員ガイダンス(就職) 17日 教学会議 17日 部局長連絡会議 17日 メンタルヘルスセミナー 17日 麻布大学いのちの博物館企画委員会 22日 教務委員会 22日 後期追再試験(～26日) 27日 グループ・ディスカッション 対策実習(就職) 26日 学生委員会 26日 動物病院運営会議(持ち回り) 29日 キャリア・就職支援対策委員会	3日 獣医学科 一般入学試験 4日 動物応用科 学科一般入学試験 9日 教授会 29日 学部教務委員会	4日 学部教務委員会 5日 生命・環境科学部 一般入学試験(A日程) 6日 生命・環境科学部 一般入学試験(B日程) 7日 生命・環境科学部 一般入学試験(C日程) 15日 教授会 17日 学部教務委員会(持ち回り)	10日 環境保健学研究科教授会(持ち回り) 10日 課程論文発表会(獣医学研究科)(～12日) 12日 課程論文審査会(環境保健学研究科) 12日 課程論文中間発表会(獣医学研究科) 17日 大学院学位記授与式 27日 獣医学研究科 入学試験(第2期) 27日 環境保健学研究科 入学試験(第2期) 29日 獣医学研究科 教授会	2日 部長会議 4日 部会議 10日 一般入学試験 11日 入試判定会議 12日 一般入学試験合格発表 13日 後援会役員会 16日 部長会議 17日 ハラスメント防止研修会 18日 職員会議 22日 臨時職員会議 23日 部長会議 25日 運営委員会
3月	9日 第3回給与委員会 18日 第6回 評議員選挙管理委員会 22日 第14回理事会 22日 第4回給与委員会 24日 第6回 学園広報委員会(持ち回り) 28日 第12回 安全衛生委員会(持ち回り)	2日 組換えDNA実験委員会(持ち回り) 3日 第2回動物飼育エリア 将来構想等検討委員会 3日 研究推進・支援本部会 3日 研修獣医師修了式 7日 大学院奨学金 返還免除候補者 選考委員会 7日 推薦入試等合格者 対象「入学前準備教育プログラム」(～25日)	1日 教授会 2日 獣医学部転 学部・転学 科試験 4日 地域産産業動物 獣医師育成特別 入学試験 4日 動物応用科学科 センター試験利用 入試(Ⅱ期) 10日 臨時教授会 16日 臨時教授会 28日 学部教務委員会	2日 教授会 4日 臨床検査技術学科 大学入試センター 試験利用入試(Ⅱ期) 4日 食品生命科学科 一般入学試験(第Ⅱ) 4日 環境科学科 一般入学試験(第Ⅱ) 6日 生命・環境科学部 転学部・転学 科試験	3日 環境保健学 研究科教授会 8日 獣医学研究科 教授会 14日 環境保健学研究科 臨時教授会(持ち回り)	1日 卒業式 3日 一般入学試験(二次) 3日 部会議 7日 学年末試験(～15日) 10日 職員会議 12日 新入生召集日 17日 学年会議 18日 進級会議 23日 終了式・離任式 24日 新年度準備会議

麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
	全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
3 月	7日	公務員対策集中 講座(～18日)(就職)		9日 臨時教授会	24日 春期休業
	8日	国際交流委員会 (持ち回り)		11日 学部教務委員会	
	9日	麻布大学雑誌編集委員会		16日臨時教授会	
	14日	ヒトゲノム倫理委員会			
	14日	生物研運営委員会			
	15日	卒業式			
	15日	学術情報委員会 (持ち回り)			
	16日	競争的資金等管理委員会			
	17日	動物実験委員会			
	17日	模擬面接実習(就職)			
	17日	部局長連絡会議			
	17日	教学会議			
	18日	合同企業説明会 直前対策講座(就職)			
	18日	学術情報センター 運営委員会(持ち回り)			
	22日	合同企業説明会 (～24日)(就職)			
	23日	生物研プロジェクト報告会			
	24日	新クラス担任連絡会			
	24日	臨時学生委員会			
	25日	春期休業(～31日)			
	27日	ミニ・オープンキャンパス			
	28日	国際交流委員会			
	28日	第3回動物飼育エリア 将来構想等検討委員会 (持ち回り)			
	28日	麻布大学ファカルティ ディベロップメント委員会 (持ち回り)			
	28日	動物病院運営会議			
	28日	キャリア・就職支援 対策委員会			
	31日	卒延者対象卒業式			

III 財務の概要

1. 財務状況の推移

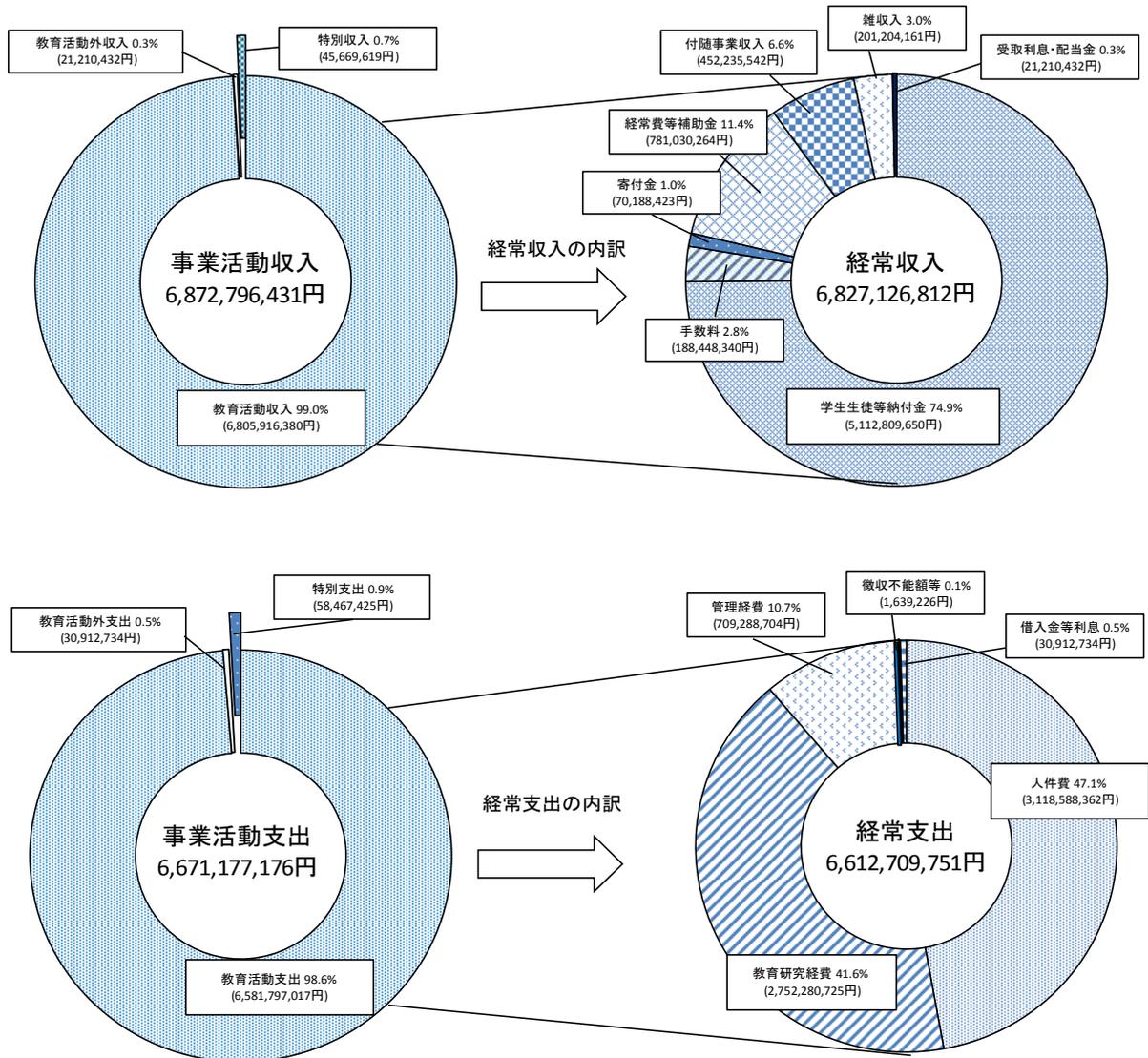
○事業活動収支の構成比率

【事業活動区分別構成比率】

【経常収入・経常支出科目別構成比率】

※ 経常収入 = 教育活動収入 + 教育活動外収入

※ 経常支出 = 教育活動支出 + 教育活動外支出



● 学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度より、『消費収支』は『事業活動収支』に改められることとなった。
『事業活動収支』は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び「特別収支」の3つに区分され、経常的な活動及び
臨時的な活動における収支内容が明らかとなった。

○事業活動収支計算書の推移

学校法人会計基準【改正前】(消費収支) (単位:円)					
消費収入関係	科目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	学生生徒等納付金	4,931,975,950	4,978,265,550	4,936,470,200	4,994,001,700
	手数料	173,519,570	181,186,880	191,821,115	192,797,650
	寄付金	92,244,332	60,291,565	84,834,965	90,241,174
	補助金	974,965,992	827,752,915	777,433,536	740,605,538
	資産運用収入	111,309,358	36,173,728	36,324,246	31,116,730
	資産売却差額	0	0	0	2,653,963
	事業収入	461,673,139	443,840,349	410,880,258	435,783,190
	雑収入	154,886,599	383,227,195	150,990,208	287,244,465
	帰属収入計	6,900,574,940	6,910,738,182	6,588,754,528	6,774,444,410

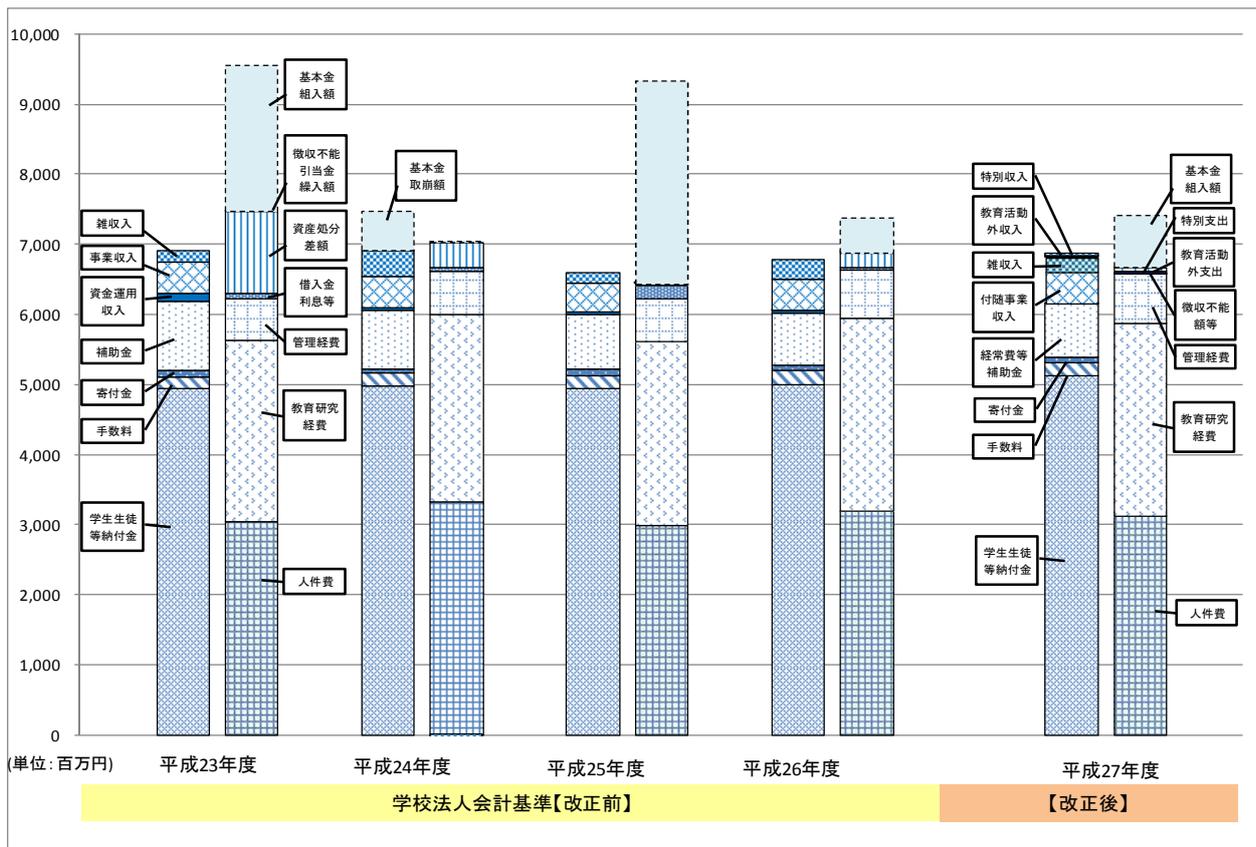
消費支出関係	科目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	人件費	3,053,666,492	3,328,407,577	2,988,066,683	3,198,510,536
	教育研究経費	2,577,650,530	2,678,395,529	2,623,276,994	2,757,594,306
	管理経費	601,539,136	613,669,571	615,500,953	692,815,627
	借入金等利息	68,125,283	65,903,083	182,014,558	32,912,714
	資産処分差額	1,180,177,044	342,561,899	31,175,026	197,137,411
	徴収不能額	0	0	0	0
	徴収不能引当金繰入額	1,312,024	1,114,250	413,982	1,655,812
	消費支出計	7,482,470,509	7,030,051,909	6,440,448,196	6,880,626,406

基本金組入額(平成24年度は基本金取崩額)	2,083,469,281	△ 613,524,712	2,895,538,495	495,854,834
-----------------------	---------------	---------------	---------------	-------------

【改正後】(事業活動収支) (単位:円)		
事業活動収入関係	科目	平成27年度
	学生生徒等納付金	5,112,809,650
	手数料	188,448,340
	寄付金	70,188,423
	経常費等補助金	781,030,264
	付随事業収入	452,235,542
	雑収入	201,204,161
教育活動外収入計	21,210,432	
特別収入計	45,669,619	
事業活動収入計	6,872,796,431	

事業活動支出関係	科目	平成27年度
	人件費	3,118,588,362
	教育研究経費	2,752,280,725
	管理経費	709,288,704
	徴収不能額等	1,639,226
	教育活動外支出計	30,912,734
特別支出計	58,467,425	
事業活動支出計	6,671,177,176	

基本金組入額	741,760,042
--------	-------------



※ 基本金組入額とは、学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして事業活動収入のうちから組み入れた金額で、組み入れるべき金額としては、教育の用に供される固定資産額で、以下のようなものがある。
 建物、構築物、教育研究用機器備品、図書などの取得価額の合計

2. 財務比率の推移

区分	比率名	算式	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
消費 収 支 計 算 書 関 係	人件費比率	人件費 ÷ 帰属収入	44.3 (54.0)	48.2 (52.8)	45.4 (52.4)	47.2 (50.9)	45.7
	人件費依存率	人件費 ÷ 学生生徒等納付金	61.9 (74.4)	66.9 (71.9)	60.5 (72.4)	64.0 (73.3)	61.0
	教育研究経費比率	教育研究経費 ÷ 帰属収入	37.4 (30.9)	38.8 (31.2)	39.8 (31.5)	40.7 (31.2)	40.3
	管理経費比率	管理経費 ÷ 帰属収入	8.7 (8.7)	8.9 (9.2)	9.3 (8.8)	10.2 (9.0)	10.4
	借入金等利息比率	借入金等利息 ÷ 帰属収入	1.0 (0.4)	1.0 (0.3)	2.8 (0.3)	0.5 (0.2)	0.5
	消費収支比率	消費支出 ÷ 消費収入	155.3 (109.2)	101.7 (107.9)	174.4 (107.8)	109.6 (107.5)	108.8
	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 ÷ 帰属収入	71.5 (72.7)	72.0 (73.4)	74.9 (72.4)	73.7 (69.5)	74.9
	寄付金比率	寄付金 ÷ 帰属収入	1.3 (2.3)	0.9 (2.0)	1.3 (2.2)	1.3 (3.9)	1.3
	補助金比率	補助金 ÷ 帰属収入	14.1 (12.4)	12.0 (12.6)	11.8 (12.8)	10.9 (12.2)	11.7
	基本金組入率	基本金組入額 ÷ 帰属収入	30.2 (11.6)	0.0 (11.7)	43.9 (12.1)	7.3 (13.6)	10.8
貸 借 対 照 表 関 係	帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出 ÷ 帰属収入	△8.4 (3.4)	△1.7 (4.8)	2.3 (5.2)	△1.6 (7.2)	2.9
	固定比率	固定資産 ÷ 自己資金	114.6 (100.1)	112.2 (99.5)	105.8 (99.2)	105.7 (98.8)	104.1
	固定長期適合率	固定資産 ÷ 自己資金＋固定負債	93.1 (92.2)	92.5 (91.9)	92.2 (91.7)	92.5 (91.3)	91.4
	流動比率	流動資産 ÷ 流動負債	232.7 (230.3)	206.4 (237.1)	229.9 (245.9)	202.2 (253.2)	230.1
	総負債比率	総負債 ÷ 総資産	22.8 (13.1)	23.0 (12.8)	17.8 (12.6)	18.5 (12.5)	17.6
	負債比率	総負債 ÷ 自己資金	29.5 (15.1)	29.9 (14.7)	21.7 (14.4)	22.7 (14.3)	21.4
	自己資金構成比率	自己資金 ÷ 総資産	77.2 (86.9)	77.0 (87.2)	82.2 (87.4)	81.5 (87.5)	82.4
	消費収支差額構成比率	消費収支差額 ÷ 総資産	△21.4 (△10.5)	△19.7 (△11.2)	△30.7 (△12.2)	△32.7 (△12.9)	△34.7
	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 ÷ 総負債＋純資産					
	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 ÷ 総負債＋純資産					

注) 1. ()内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」「日本私立学校振興・共済事業団編」に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

2. 総資産＝負債＋基本金＋消費収支差額 自己資金＝基本金＋消費収支差額

3. ↑:高い値がよい。↓:低い値がよい。～:どちらともいえない。

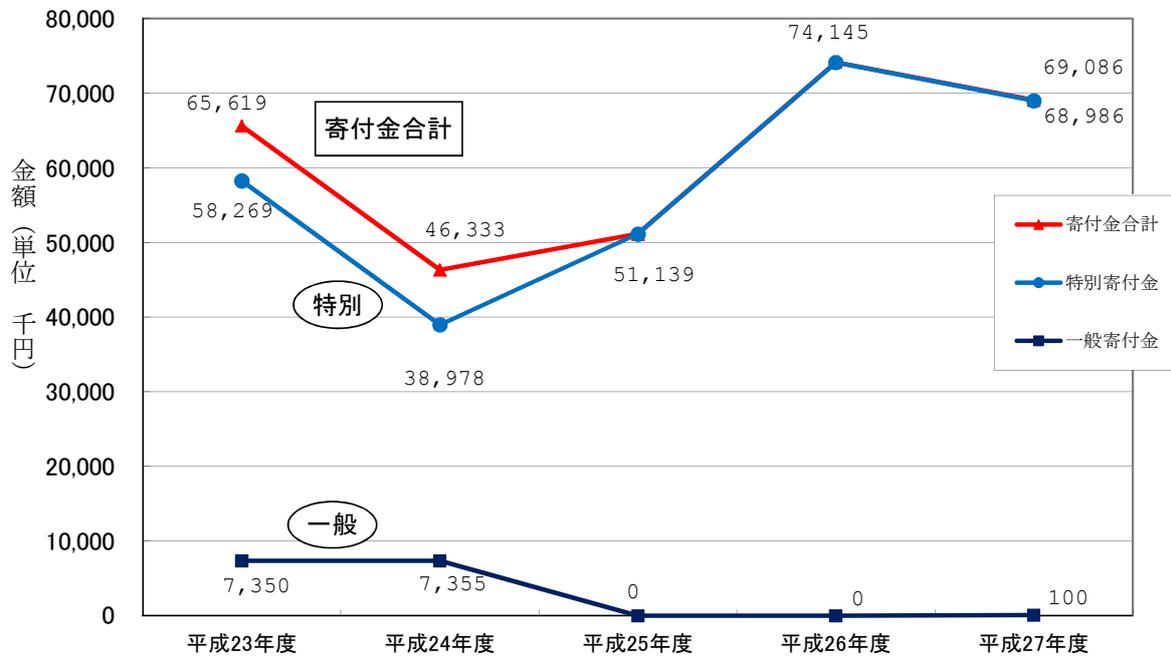
4. 学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度以降の財務比率の算式等が変更された。

事業活動収入＝帰属収入 経常収入＝教育活動収入＋教育活動外収入

3. 寄付金収入の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般寄付金	7,350,000	7,355,000	0	0	100,000
特別寄付金	58,269,310	38,977,662	51,138,600	74,145,323	68,986,288
寄付金合計	65,619,310	46,332,662	51,138,600	74,145,323	69,086,288

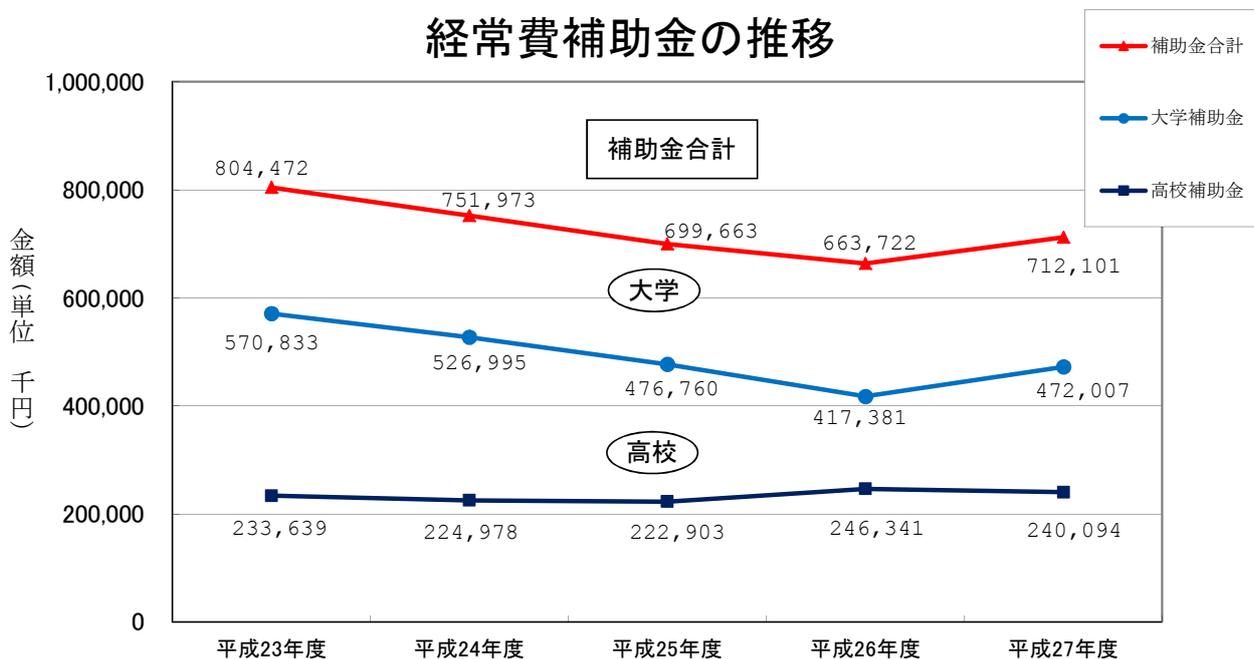
寄付金収入の推移



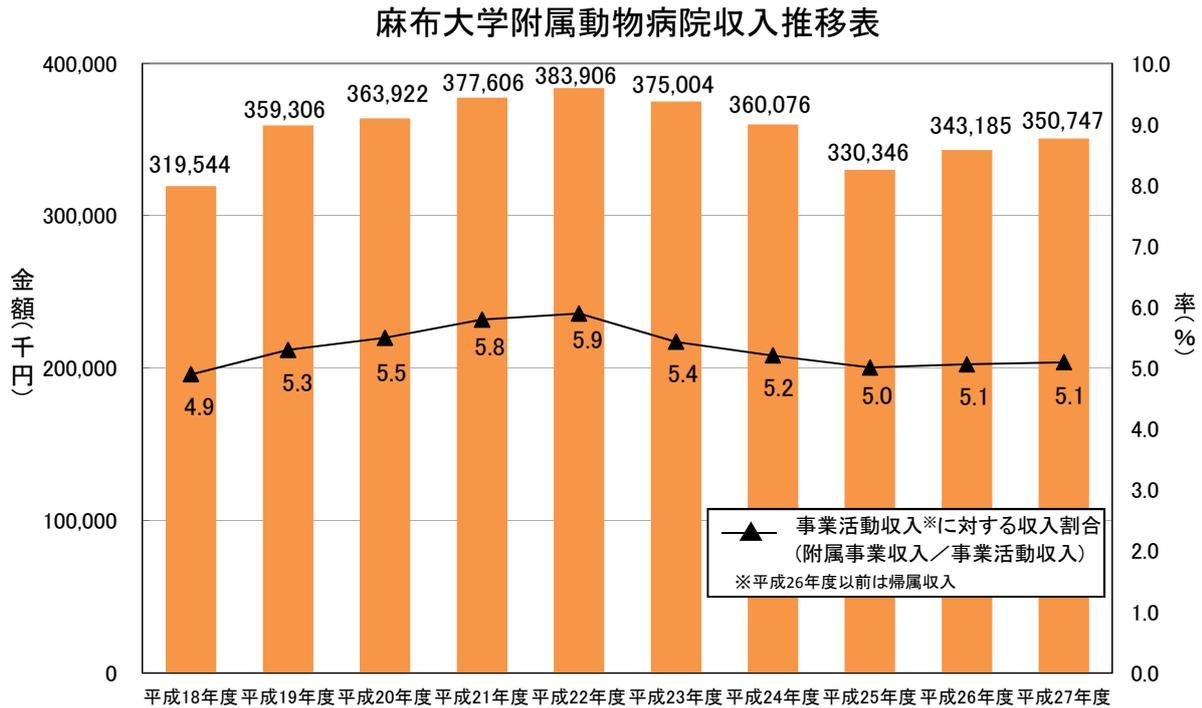
4. 経常費補助金の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大学補助金	570,833,000	526,995,000	476,760,000	417,381,000	472,007,000
高校補助金	233,639,000	224,978,000	222,903,000	246,341,000	240,094,000
補助金合計	804,472,000	751,973,000	699,663,000	663,722,000	712,101,000

経常費補助金の推移



5. 動物病院収入の推移



* 動物病院は、平成19年4月に獣医学部附属から麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更

6. 資金残高

平成27年度末 資金残高表 (単位 円)

